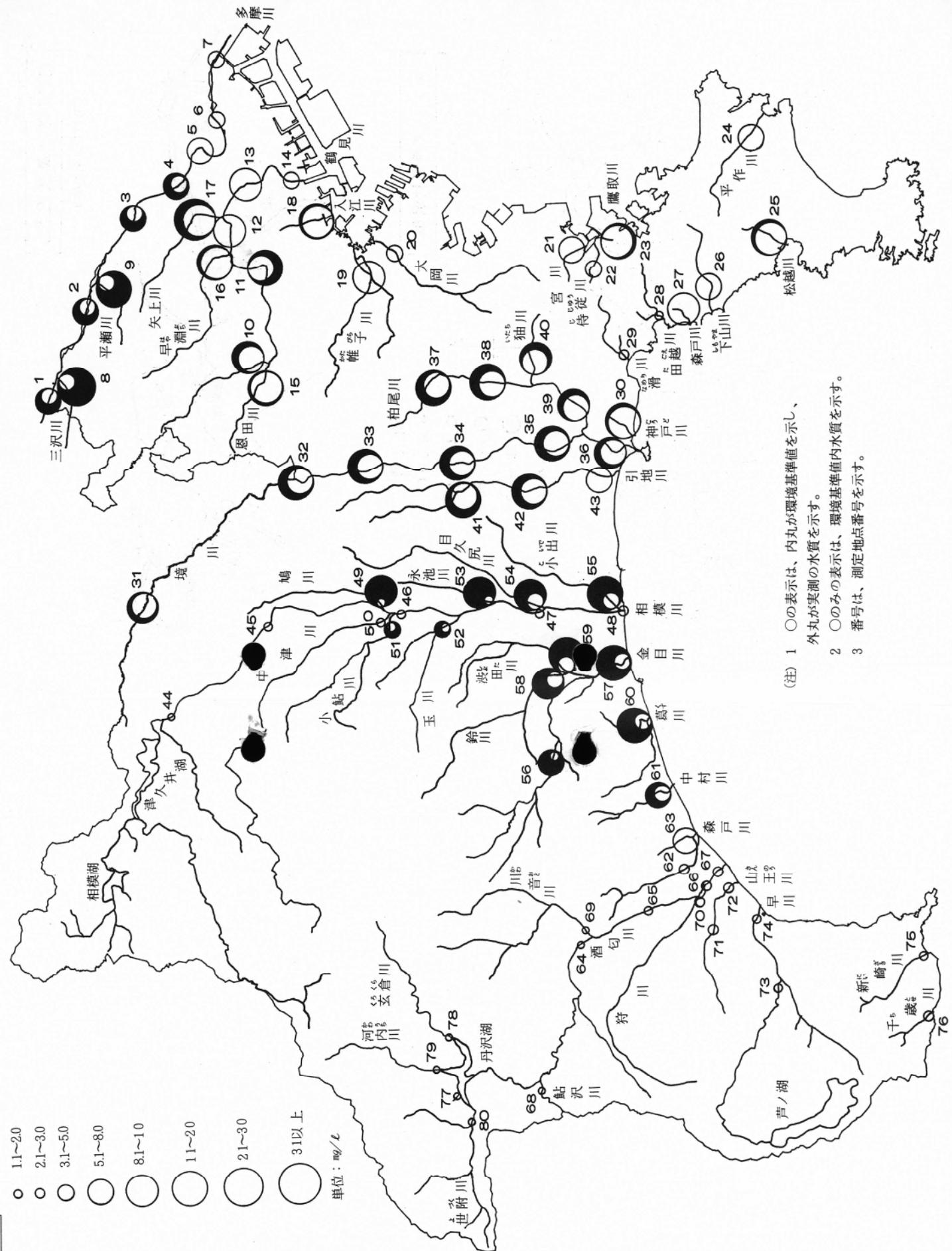


昭和 62 年度

公共用水域水質測定結果

神奈川県・横浜市・川崎市

横須賀市・藤沢市・相模原市



凡

- 1.0 以下
- 1.1~2.0
- 2.1~3.0
- 3.1~5.0
- 5.1~8.0
- 8.1~10
- 11~20
- 21~30
- 31以上

×

(BOD年平均値)

×

○ 1.1~3.0

×

○ 3.1~5.0

×

○ 5.1~8.0

×

○ 8.1~10

×

○ 11~20

×

○ 21~30

×

○ 31以上

×

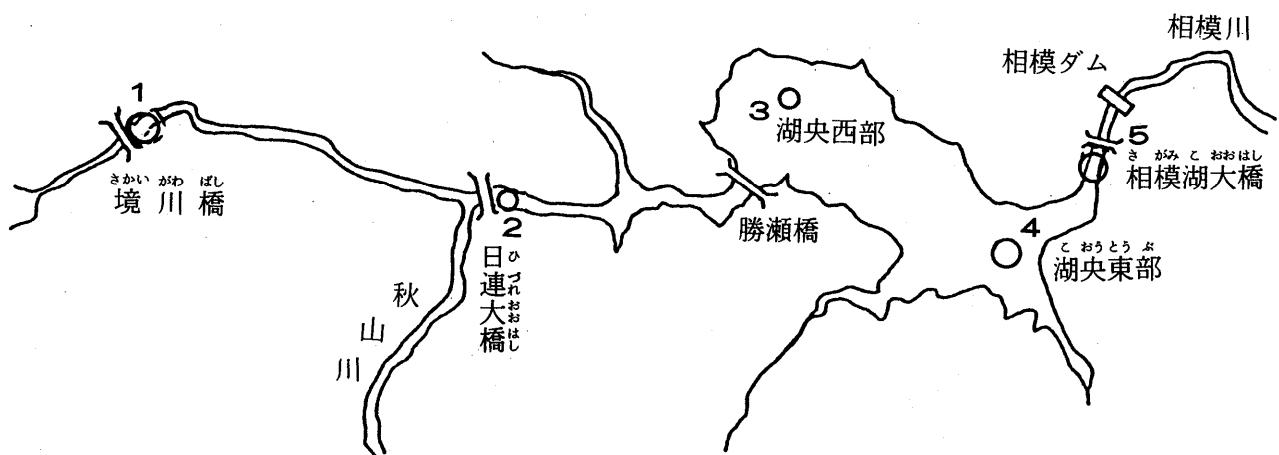
(注) 1 ○の表示は、内丸が環境基準値を示し、外丸が実測の水質を示す。

2 ○のみの表示は、環境基準値内水質を示す。

3 番号は、測定地点番号を示す。

## 相模湖汚濁状況図

(BOD年平均値)



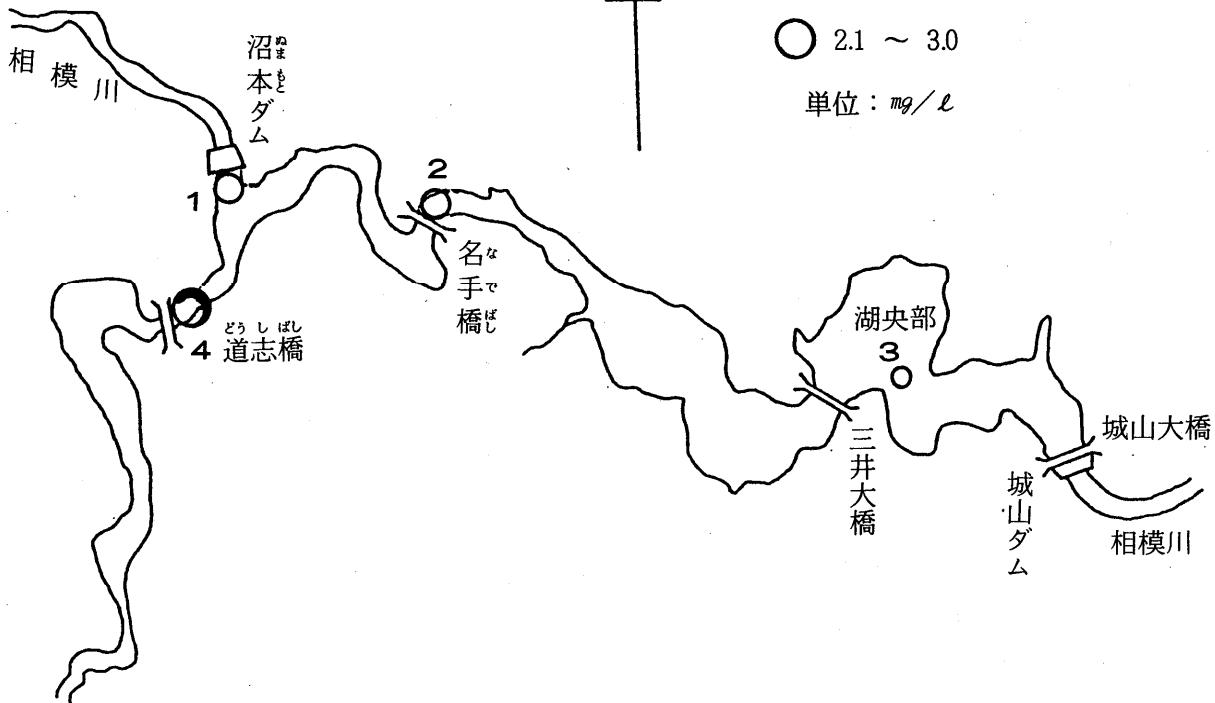
## 津久井湖汚濁状況図

(BOD年平均値)

### 凡例

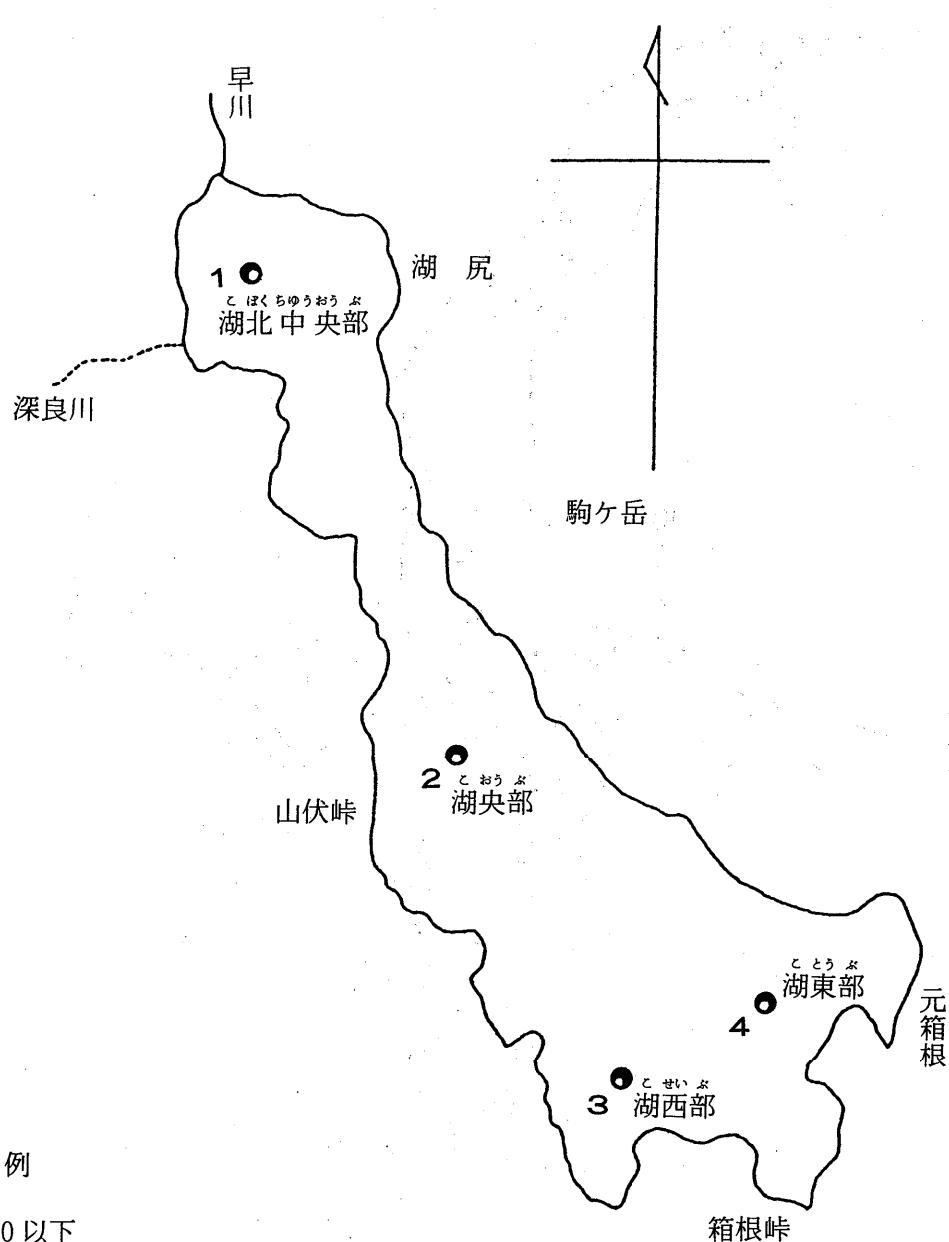
- 1.0 以下
- 1.1 ~ 1.5
- 1.6 ~ 2.0
- 2.1 ~ 3.0

単位: mg/l



## 芦ノ湖汚濁状況図

(C O D年平均値)



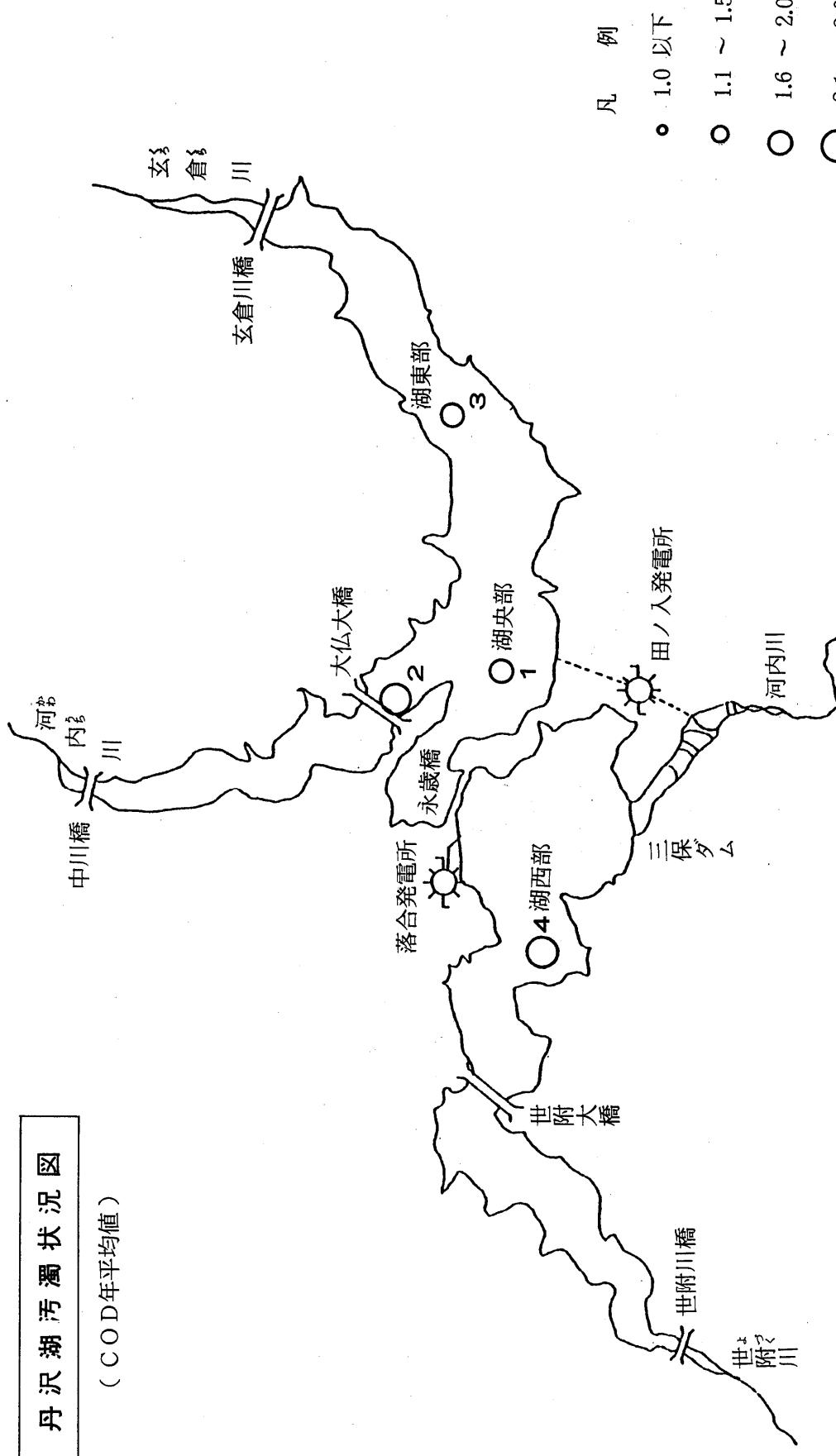
### 凡 例

- 1.0 以下
- 1.1 ~ 1.5
- 1.0 ~ 2.0 以下

単位: mg/l

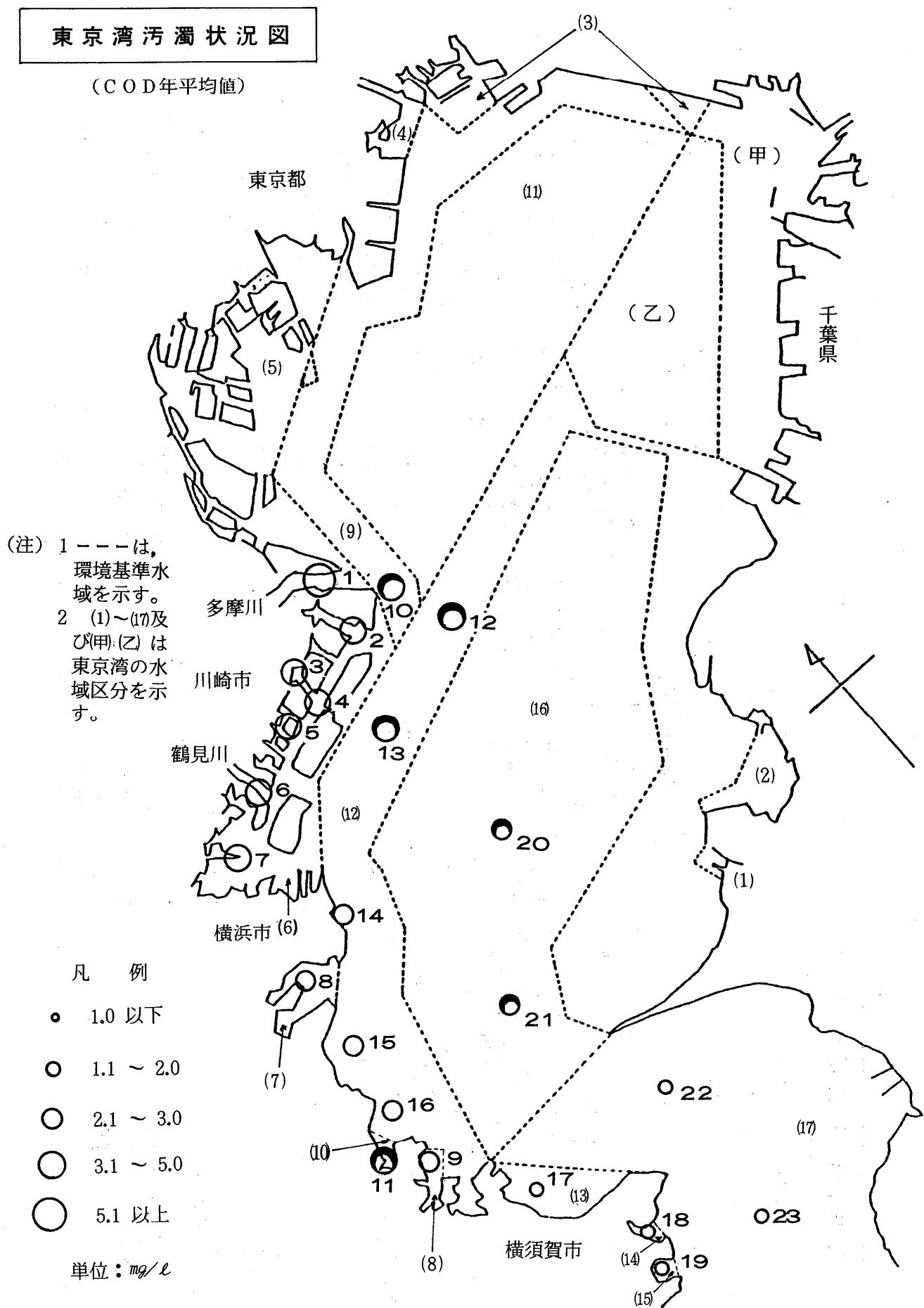
丹沢湖汚濁状況図

(COD年平均値)



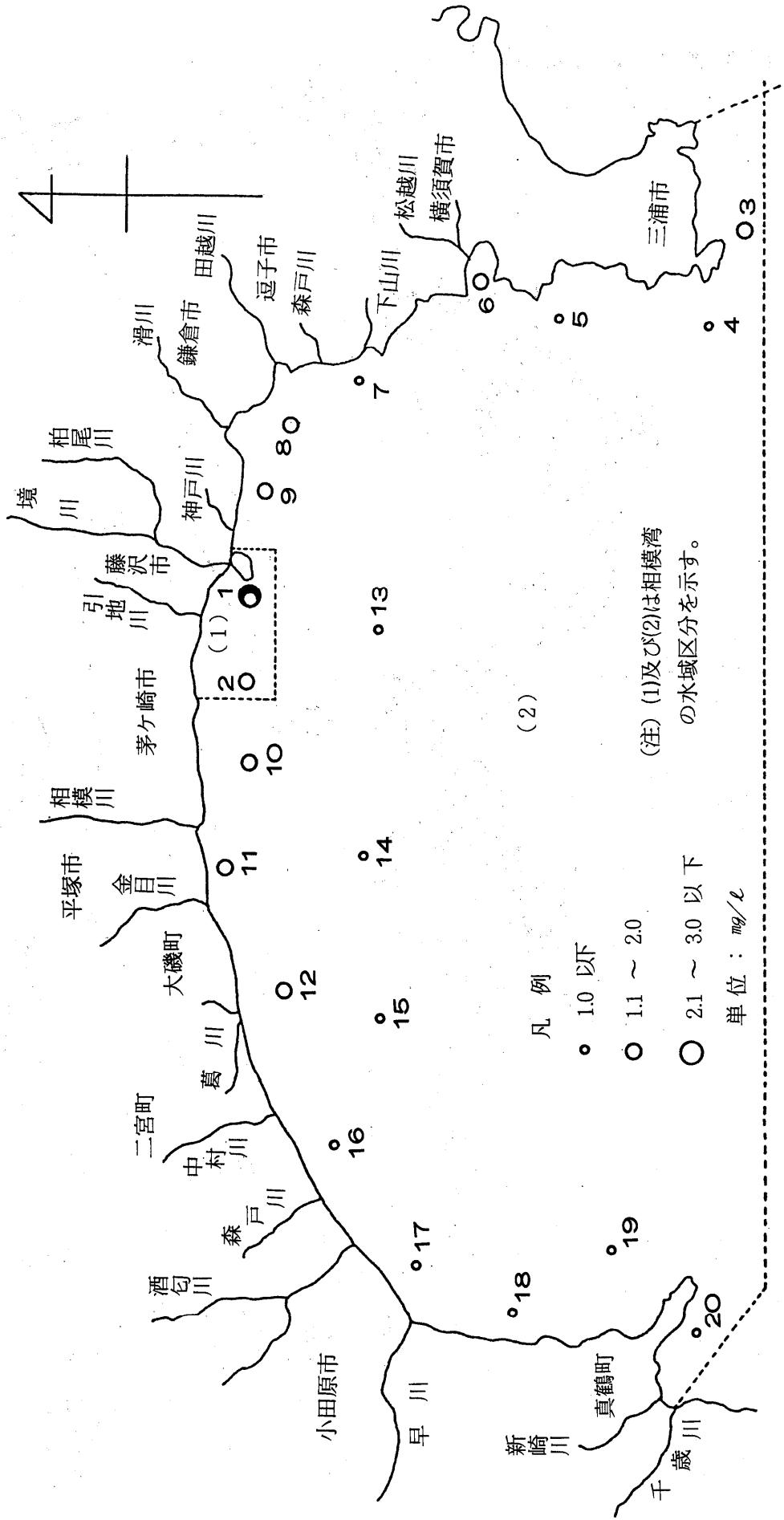
## 東京湾汚濁状況図

(C O D年平均値)



相模湾汚濁状況図

(COD年平均値)



## 目 次

I 測定結果の概要 .....	1
II 測 定 結 果 .....	8
1 測 定 内 容 .....	8
(1) 測定水域及び測定地点 .....	8
(2) 測 定 機 関 .....	8
(3) 測 定 頻 度 .....	8
(4) 測定方法及び分析項目 .....	9
2 測定結果の考察 .....	9
(1) 河 川 .....	9
(2) 湖 沼 .....	13
ア 相 模 湖 .....	13
イ 津久井湖 .....	13
ウ 芦 ノ 湖 .....	14
エ 丹 泽 湖 .....	14
(3) 海 域 .....	15
ア 東 京 湾 .....	15
イ 相 模 湾 .....	16
(4) ま と め .....	17
III 図 .....	
1 河 川 .....	18
BOD縦断変化図 図1 .....	18
年平均値の推移 図2 .....	23
月 別 推 移 図3 .....	26
2 湖 沼 .....	29
年平均値の推移 図4, 5 .....	29
月 別 推 移 図6 .....	37

3 海 域 .....	41
(1) 東京湾 .....	41
年平均値の推移 図7,8 .....	41
月別推移 図9 .....	50
(2) 相模湾 .....	56
年平均値の推移 図10,11 .....	56
月別推移 図12 .....	63

#### IV 表

表1 各測定地点におけるBOD(COD)年平均値の推移 .....	69
表2 各測定地点におけるBOD(COD)75%値の推移 .....	78
表3 生活環境項目類型別総括表 .....	87
表4 生活環境項目の環境基準値を超えた割合 .....	89
表5 健康項目の環境基準値を超えた割合 .....	91
表6 特殊項目の判定値を超えた割合 .....	93
表7 BOD(COD)の環境基準達成状況 .....	95
表8 BOD(COD)の環境基準達成率 .....	98

V 公共用水域水質測定結果表 .....	99
----------------------	----

#### VII 参考資料

1 昭和62年度公共用水域水質測定計画 (抜粋) .....	199
2 水質汚濁に係る環境基準について (抜粋) .....	210
3 特殊項目の判定値について .....	217
4 県内公共用水域が該当する水質汚濁に係る環境基準の水域類型 .....	218
5 県内公共用水域の概要 .....	220
6 県内公共下水道の普及状況 .....	227

# I 測定結果の概要

( )

( )



## I 昭和62年度公共用水域水質測定結果の概要

昭和62年度の公共用水域水質測定計画に基づく水質測定は、県内の河川、湖沼、沿岸海域などの公共用水域、合計140地点について、建設省、神奈川県、横浜市、川崎市、横須賀市、藤沢市及び相模原市が共同で実施した。

この測定は、水質汚濁防止法の規定により昭和46年度から行っているもので、あらかじめ知事が定める公共用水域水質測定計画に従って、毎月、一定の地点を定められた方法によりそれぞれの機関が分担して測定しているものである。

昭和62年度の測定結果を全般的にみると、人の健康の保護に係る物質であるカドミウムなど9項目の有害物質からなる「健康項目」については、すべての測定地点において環境基準値に適合している。

表-1 健康項目の調査結果

健 康 項 目		調査検体数	環境基準値不適合率(%)
1	カドミウム	2,235	0
2	シアソン	2,235	0
3	有機燐	196	0
4	鉛	2,235	0
5	クロム(6価)	2,235	0
6	ヒ素	2,235	0
7	総水銀	2,445	0
8	アルキル水銀	182	0
9	P C B	196	0
計		14,194	0

生活環境を保全するうえで維持することが望ましい基準として定められた、pH(水素イオン濃度)やDO(溶存酸素量)などの「生活環境項目」について、調査検体数に対する環境基準値(利用目的の適応性により定められた基準値)を超えた検体数の割合は、河川で20%、湖沼で24%、海域で11%となっており、それぞれ前年度の19%、22%、11%と比べて河川、湖沼ではやや高くなっているが、海域では同様である。

表-2 生活環境項目の調査結果

水域区分	生活環境項目		調査検体数	環境基準値を超えた検体数	環境基準値不適合率(%)
河川	1	水素イオン濃度(pH)	3,668	28	0.8%
	2	生物化学的酸素要求量(BOD)	3,668	1,702	46
	3	浮遊物質量(SS)	3,668	132	3.6
	4	溶存酸素量(DO)	3,668	508	14
	5	大腸菌群数	869	760	88
	計		15,541	3,130	20
湖沼 芦相ノ模湖 丹津沢 久井湖	1	水素イオン濃度(pH)	204	14	6.9
	2	生物化学的酸素要求量(BOD)	108	24	22
	3	化学的酸素要求量(COD)	96	45	47
	4	浮遊物質量(SS)	204	34	17
	5	溶存酸素量(DO)	204	57	28
	6	大腸菌群数	204	75	37
	計		1,020	249	24
海域	1	水素イオン濃度(pH)	516	7	1.4
	2	化学的酸素要求量(COD)	516	76	15
	3	溶存酸素量(DO)	516	142	28
	4	大腸菌群数	288	18	6.3
	5	n-ヘキサン抽出物質	408	0	0
	計		2,244	243	11
合 計			18,805	3,622	19

また、水質を示す代表的な指標であるBOD（生物化学的酸素要求量）又はCOD（化学的酸素要求量）の年平均値について環境基準値と比べると、全測定地点140地点のうち環境基準値を超えている地点は53地点（38%）で、前年度の52地点（37%）とほぼ同様であり、河川、湖沼、海域とも大きな変化がみられない。

表-3 BOD・CODの環境基準値を超えた地点数の推移

区分		58年度	59年度	60年度	61年度	62年度
河川	測定地点数	79	79	79	80	80
	超過地点数	41	45	37	41	41
	超過地点数の割合	52%	57%	47%	51%	51%
湖沼	測定地点数	17	17	17	17	17
	超過地点数	5	6	4	5	5
	超過地点数の割合	29%	35%	23%	29%	29%
海域	測定地点数	43	43	43	43	43
	超過地点数	5	7	10	6	7
	超過地点数の割合	12%	16%	23%	14%	16%
計	測定地点数	139	139	139	140	140
	超過地点数	51	58	51	52	53
	超過地点数の割合	37%	42%	37%	37%	38%

（年平均値による。）

河川、湖沼、海域の別では次のとおりである。

## 1 河 川

県内50河川（支川を含む）の80の測定地点のうちBODの環境基準値を超えているのは41地点（51%）と前年度と同様である。

主な河川についてみると、多摩川は、本川7地点のBOD年平均値が3.7～7.6mg/lと前年度の3.0～6.0mg/lに比べて高くなっている、4地点で環境基準値を超えている。流入支川では三沢川で22mg/l、平瀬川では15mg/lと、本川に比べて高い値となっている。

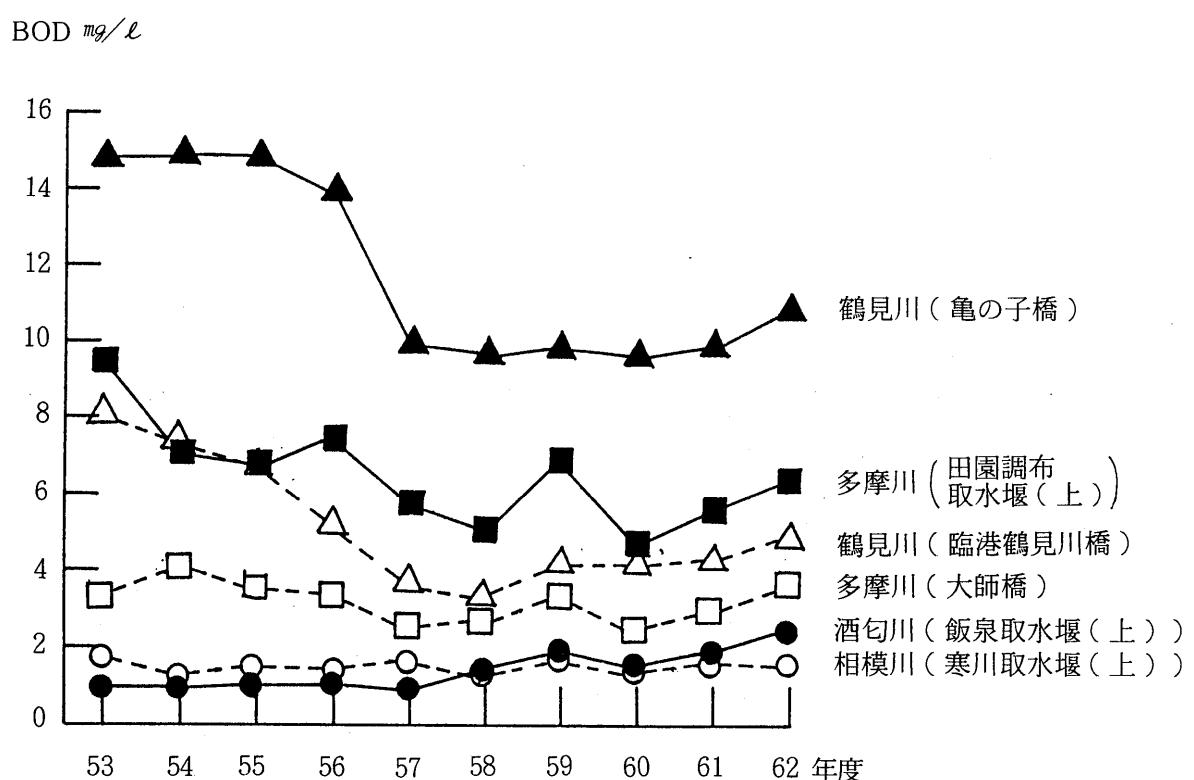
鶴見川は、本川5地点のBOD年平均値が4.9～11mg/lと前年度の4.3～10mg/lとほぼ同様であり、2地点で環境基準値を超えている。流入支川では恩田川で11mg/l、早淵川で12mg/lとなっており、生活排水の影響の大きい矢上川では33mg/lと、依然として高い値となっている。

相模川は、県民の主要な飲料水源となっているが、本川5地点のBOD年平均値は、1.0～2.8mg/lと前年度の1.0～2.6mg/lとほぼ同様であり、すべての地点で環境基準値以下となっている。流入支川では鳩川の9.1mg/l、永池川の10mg/lなど中津川を除きいずれも本川と比べて高い値を示している。

酒匂川も飲料水源であるが、本川4地点のBOD年平均値は0.9～2.4mg/lと前年度の0.8～2.1mg/lに比べてわずかに高くなっている。飲泉取水堰（上）では2.4mg/lとなっている。

これらの河川の主要地点におけるBOD年平均値の推移は次のとおりである。

図-1 河川の主要地点におけるBOD年平均値の推移



その他の主要な河川については、境川の本川6地点のBOD年平均値が10～20mg/lと、中流域を中心として高い値を示し、金目川の本川2地点では5.9～11mg/lとなっている。

この他の中小河川をみると、大岡川（横浜市）、平作川（横須賀市）、田越川（逗子市）、滑川（鎌倉市）などの河川が環境基準値に適合しており、新たに森戸川（葉山町）が環境基準値に適合するなど、いくつかの河川で良化がみられる。なお、玄倉川（山北町）、千歳川（湯河原町）、新崎川（湯河原町）などは従来と同様良好な水質が保たれている。

県内河川の水質の地域的な特徴は、従来と同様に金目川以東の都市とその近郊を流域とする一部の都市河川で汚濁が著しく、BODが10mg/lを超えている河川が多いが、これに対して箱根、丹沢などを水源とする県西部の河川では清浄な水質となっている。

## 2 湖 沼

県内 4 湖沼の 17 の測定地点のうち、BOD (COD) の環境基準値を超えているのは 5 地点 (29%) と前年度と同様である。

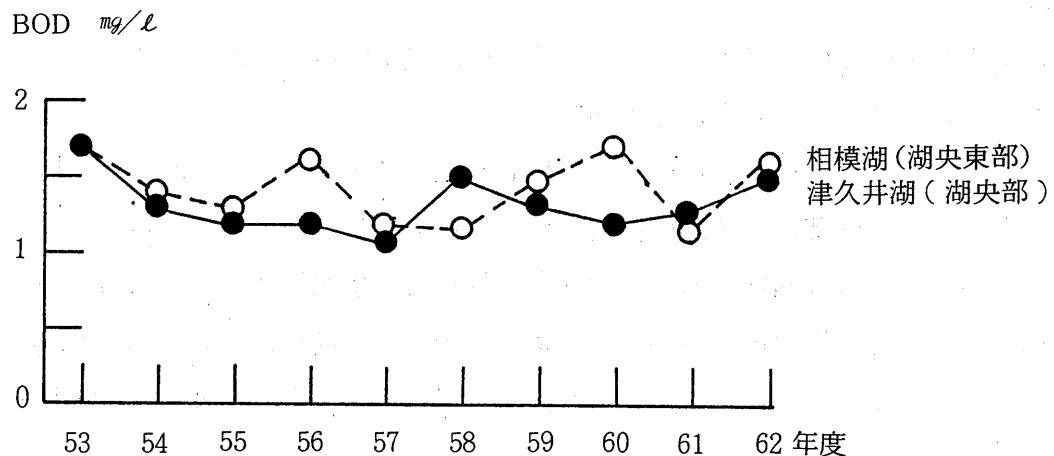
### (1) 相模湖、津久井湖

相模湖の測定地点 5 地点の BOD 年平均値は、 $1.3 \sim 1.9 \text{ mg/l}$  と前年度の  $1.0 \sim 1.2 \text{ mg/l}$  に比べて高くなっているが、すべての地点で環境基準値以下となっている。

津久井湖の測定地点 4 地点の BOD 年平均値は、 $1.5 \sim 3.0 \text{ mg/l}$  と前年度の  $1.1 \sim 2.2 \text{ mg/l}$  に比べて高くなっているが、1 地点で環境基準値を越えている。

なお、相模湖、津久井湖の主要地点における BOD 年平均値の推移は次のとおりである。

図-2 相模湖、津久井湖の主要地点における BOD 年平均値の推移



相模湖、津久井湖とも前年度と同様に富栄養化の要因物質である窒素・磷が高い値を示し、夏季には、植物性プランクトンが多く発生し、上層の pH 及び COD が下層に比べて高くなるなどの現象を呈している。

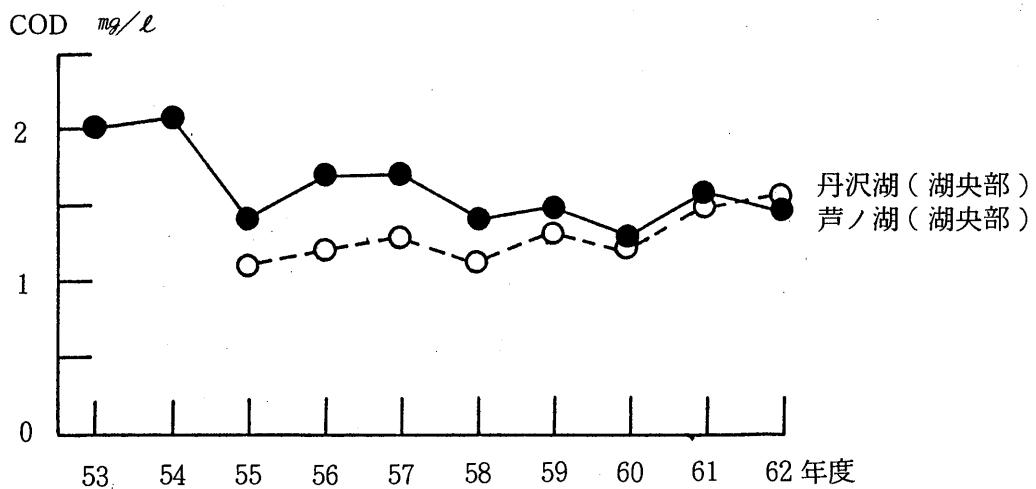
### (2) 芦ノ湖、丹沢湖

芦ノ湖の測定地点 4 地点の COD 年平均値は、 $1.3 \sim 1.5 \text{ mg/l}$  と前年度の  $1.6 \sim 1.7 \text{ mg/l}$  に比べてわずかに低くなっているが、芦ノ湖は自然環境の保全を目的に厳しい環境基準値が適用されているため、全地点でこれを超えている。

丹沢湖の測定地点 4 地点の COD 年平均値は、 $1.6 \sim 2.9 \text{ mg/l}$  と前年度の  $1.4 \sim 2.7 \text{ mg/l}$  に比べてわずかに高くなっているが、秋には淡水赤潮がみられたが、すべての地点で環境基準値以下となっている。

なお、芦ノ湖、丹沢湖の主要地点における COD 年平均値の推移は次のとおりである。

図-3 芦ノ湖、丹沢湖の主要地点におけるC O D年平均値の推移



### 3 海 域

本県の沿岸海域の43測定地点のうち、C O Dの環境基準値を超えているのは7地点(16%)と前年度の6地点(14%)を上回っている。

東京湾の測定地点23地点のC O D年平均値を地域的にみると、川崎市から横浜市、横須賀市にかけての沿岸部のC類型に指定された9地点では、 $2.3 \sim 5.6 \text{ mg/l}$ と前年度の $2.5 \sim 5.3 \text{ mg/l}$ とほぼ同様であり、すべての地点で環境基準値以下となっている。

川崎市の千鳥町沖、横浜市の平潟湾沖、横須賀市の大津湾などのB類型の10地点では、 $1.9 \sim 4.4 \text{ mg/l}$ と前年度の $1.8 \sim 4.3 \text{ mg/l}$ とほぼ同様であり、4地点で環境基準値を超えてい。

湾央部のA類型4地点は、 $1.3 \sim 2.5 \text{ mg/l}$ と前年度の $1.4 \sim 2.4 \text{ mg/l}$ とほぼ同様であり、2地点で環境基準値を超えてい。

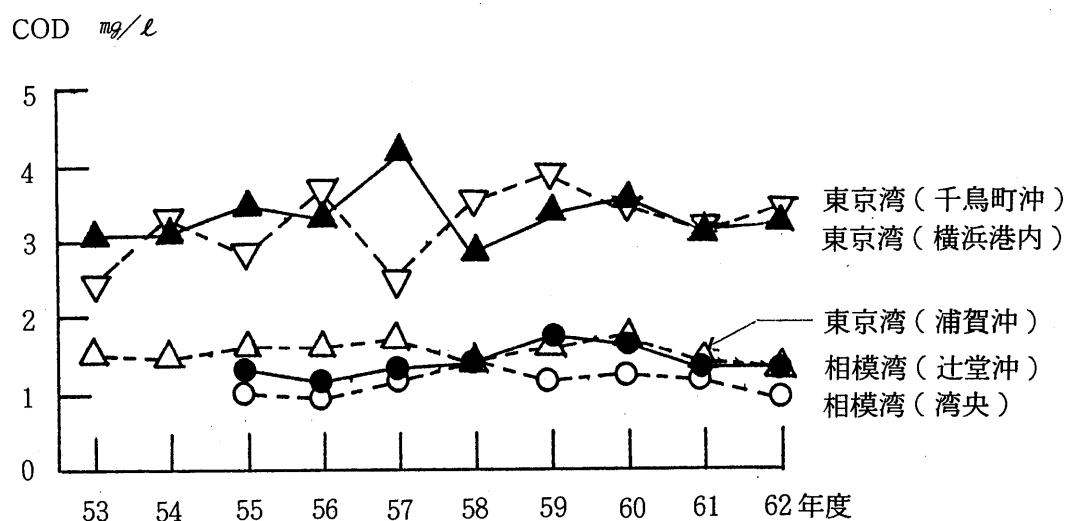
また、富栄養化の要因物質である窒素・燐についてみると、測定地点によって差異はあるものの全体として前年度とほぼ同様であるが、海域としては依然として高い値にあり、春から秋にかけて赤潮の発生がみられた。

相模湾の測定地点20地点のC O D年平均値は、 $0.7 \sim 2.4 \text{ mg/l}$ となっており、1地点で環境基準値を超えてい。

また、窒素・燐は測定地点によって差異はあるものの全体として前年度とほぼ同様である。

なお、東京湾、相模湾の主要地点におけるC O D年平均値の推移は次のとおりである。

図-4 東京湾、相模湾の主要地点におけるC O D 年平均値の推移





## II 測 定 結 果



# 1 測 定 内 容

## (1) 測定水域及び測定地点

測定水域 27 河川、4 湖沼、2 海域の計 33 水域  
測定地点 140 地点

水域・類型別測定地点数内訳

水 域	類 型	測定地点数
河 川	A	22
	B	3
	C	14
	D	21
	E	20
	小 計	80
湖 沼	河 川 A	9
	AA	4
	A	4
	小 計	17
海 域	A	24
	B	10
	C	9
	小 計	43
合 計		140

## (2) 測 定 期 間

測定期間は、昭和 62 年 4 月から昭和 63 年 3 月まで

## (3) 測 定 頻 度

測定頻度は、原則として次のとおりである。

河 川 每月、1 日 6 時間間隔で 4 回  
湖 沼 } 每月、1 日 1 回 2 層  
海 域 }

#### (4) 分析方法及び分析項目

分析方法は、環境基準及び排水基準に定められた方法等によった。

分析項目は原則として毎月、環境基準の健康項目（河川及び海域それぞれ6項目、湖沼1項目）、生活環境項目（河川8項目、湖沼9項目、海域7項目）及び環境基準以外の項目（河川12項目、湖沼7項目及び海域7項目）について分析した。

なお、8月及び2月には、上記の項目以外の健康項目（河川及び海域3項目、湖沼8項目）、生活環境項目（河川1項目）及び環境基準以外の項目（河川2項目、湖沼8項目、海域7項目）についても分析した。

## 2 測定結果の考察 注( )内の数値は、前年度を示す。

### (1) 河 川

健康項目については、80地点、延10,364検体について測定した。この結果すべての項目が環境基準値に適合している。

生活環境項目については、80地点、延23,520検体について測定した。このうち環境基準値が定められているものは延15,541検体で、環境基準値を超えたものは延3,130検体、環境基準値を超えた割合(以下「不適合率」という。)は、20.1% (18.7%)となっており、前年度に比べて高くなっている。

項目別に不適合率をみると、pHは0.8% (1.5%)、SSは3.6% (3.7%)といずれも低い状況にあり、DOは13.8% (10.4%)と前年度に比べて高くなっている。BOD、大腸菌群数についてはそれぞれ46.4% (42.7%)、87.5% (87.8%)といずれも高い割合となっている。

特に河川の水質を示す代表的指標であるBODについて利用目的に応じて定められた環境基準の類型別の不適合率をみると、A類型の地点で39.3% (34.5%)、B類型で12.5% (5.6%)、C類型で77.5% (69.4%)、D類型で54.9% (52.7%)、E類型で27.5% (26.9%)となっており、各類型とも前年度に比べて高くなっている。

特殊項目については、80地点延5,880検体について測定した。このうち判定値\*を超えたものは、溶解性鉄1検体、弗素4検体であった。

\*判定値については、ページ217を参照

### ア 多 摩 川

本川7地点のBOD年平均値は、3.7～7.6mg/l (3.0～6.0mg/l)と、前年度

に比べて高くなっている。これは、前年度に比べて流量が約20~50%減少したためと考えられる。経年的には、ここ数年大きな変化は見られず、4地点で環境基準値を超えている。

上流から下流へかけての水質変化をみると、上流部の多摩川原橋で $7.6 \text{ mg/l}$ であったものが、多摩水道橋では $5.7 \text{ mg/l}$ と低くなり、中流部の二子橋では人口密集地を流れる平瀬川等の流入支川の影響を受け、 $7.2 \text{ mg/l}$ と再び高くなっている。

潮汐の影響を受ける下流部では、河口に近づくほど低い値を示し、ガス橋、六郷橋及び大師橋では環境基準値以下となっている。

流入支川の三沢川及び平瀬川は、それぞれ $2.2 \text{ mg/l}$  ( $2.3 \text{ mg/l}$ )、 $1.5 \text{ mg/l}$  ( $1.5 \text{ mg/l}$ )と、前年度とほぼ同様で、生活排水等が原因となり、本川に比べて高くなっている。

#### イ 鶴 見 川

本川5地点のBOD年平均値は、 $4.9 \sim 11 \text{ mg/l}$  ( $4.3 \sim 10 \text{ mg/l}$ )と前年度とほぼ同様であり、経年的にはここ数年大きな変化は見られず2地点で環境基準値を超えてている。

上流から下流にかけての水質変化をみると、上流部の千代橋で $8.7 \text{ mg/l}$ であったものが中流部の亀の子橋で $11 \text{ mg/l}$ 、大綱橋で $10 \text{ mg/l}$ となり、潮汐の影響を受ける末吉橋、臨港鶴見川橋では、それぞれ $8.3 \text{ mg/l}$ 、 $4.9 \text{ mg/l}$ と低く環境基準値以下となっている。

流入支川では、恩田川、早淵川がそれぞれ $11 \text{ mg/l}$  ( $11 \text{ mg/l}$ )、 $12 \text{ mg/l}$  ( $13 \text{ mg/l}$ )と、前年度とほぼ同様であり、矢上川は、 $33 \text{ mg/l}$  ( $28 \text{ mg/l}$ )と前年度に比べて高くなり、生活排水の影響が大きく、依然として高い値となっている。

また、早淵川では夏季に植物性プランクトンの異常発生で河川が黄緑色となり、透視度が10以下となっている。

#### ウ 横浜市内河川

大岡川、宮川、侍従川のBOD年平均値は、それぞれ $5.0 \text{ mg/l}$  ( $6.1 \text{ mg/l}$ )、 $6.5 \text{ mg/l}$  ( $7.1 \text{ mg/l}$ )、 $4.2 \text{ mg/l}$  ( $6.0 \text{ mg/l}$ )と前年度に比べて低くなってしまい、3地点とも環境基準値以下となっている。経的には、下水道の整備とともに水質の改善が見られている。

入江川は $18 \text{ mg/l}$  ( $15 \text{ mg/l}$ )と前年度に比べて高くなっています。依然として環境基準値を超えている。帷子川は $9.8 \text{ mg/l}$  ( $10 \text{ mg/l}$ )と前年度とほぼ同様である。

#### エ 横須賀市内河川

鷹取川、松越川のBOD年平均値は、ともに $14 \text{ mg/l}$  ( $14 \text{ mg/l}$ 、 $13 \text{ mg/l}$ )といずれも前年度とほぼ同様であり、両河川とも生活排水の影響を受け環境基準値を超えています。

ているが、経年的にみると、ここ数年やや良化してきている。

平作川は  $5.1 \text{ mg/l}$  ( $5.7 \text{ mg/l}$ ) と前年度に比べてやや低くなっている。環境基準値以下となっている。経年的にみると、流域の下水道整備が進み、水質の良化の傾向がうかがえる。

#### オ 湘南河川

田越川、滑川のBOD年平均値は、それぞれ  $1.9 \text{ mg/l}$  ( $2.9 \text{ mg/l}$ )、 $2.5 \text{ mg/l}$  ( $3.0 \text{ mg/l}$ ) と前年度に比べて低くなっている。両河川とも下水道の整備が進み、経年的にみるとここ数年安定した水質を保っている。

下山川、森戸川は、それぞれ  $7.9 \text{ mg/l}$  ( $9.4 \text{ mg/l}$ )、 $9.2 \text{ mg/l}$  ( $11 \text{ mg/l}$ ) と前年度に比べて低くなっている。いずれも環境基準値以下となっている。

神戸川は、 $13 \text{ mg/l}$  ( $17 \text{ mg/l}$ ) と前年度に比べて低くなっている。経年的にみるとやや良化の傾向がうかがえるが、環境基準値を超えている。

引地川は、上流の下土棚大橋では  $13 \text{ mg/l}$  ( $9.7 \text{ mg/l}$ ) と前年度と比べて高くなっているが、下流の石川橋、富士見橋では、それぞれ  $11 \text{ mg/l}$  ( $10 \text{ mg/l}$ )、 $8.0 \text{ mg/l}$  ( $8.3 \text{ mg/l}$ ) と前年度とほぼ同様で、いずれも環境基準値を超えている。

#### カ 境川

本川6地点のBOD年平均値は、 $10 \sim 20 \text{ mg/l}$  ( $9.5 \sim 22 \text{ mg/l}$ ) と前年度とほぼ同様であり、経年的には大きな変化はみられず、すべての地点で環境基準値を超えている。

上流から下流にかけての水質変化をみると、上流部の境橋で  $12 \text{ mg/l}$  であったものが、中流部の鶴間橋で  $20 \text{ mg/l}$  と高くなり、高鎌橋で  $17 \text{ mg/l}$  となり、下流部の境川橋で  $10 \text{ mg/l}$  と低くなっている。

流入支川の柏尾川では吉倉橋、鷹匠橋、本川合流前の川名橋でそれぞれ  $11 \text{ mg/l}$  ( $11 \text{ mg/l}$ )、 $12 \text{ mg/l}$  ( $12 \text{ mg/l}$ )、 $9.8 \text{ mg/l}$  ( $9.0 \text{ mg/l}$ ) と前年度とほぼ同様である。また、猪川では、 $8.3 \text{ mg/l}$  ( $9.7 \text{ mg/l}$ ) と前年度に比べて低くなっている。

#### キ 相模川

本川5地点のBOD年平均値は、 $1.0 \sim 2.8 \text{ mg/l}$  ( $1.0 \sim 2.6 \text{ mg/l}$ ) と前年度とほぼ同様であり、すべての地点で環境基準値以下となっており、経年的には、ここ数年大きな変化は見られない。

上流から下流へかけての水質変化をみると、上流部の小倉橋で  $1.0 \text{ mg/l}$  であったものが、中流部の昭和橋で  $1.5 \text{ mg/l}$ 、相模大橋で  $1.8 \text{ mg/l}$ 、寒川取水堰（上）で  $1.6 \text{ mg/l}$  となり、下流部の馬入橋では  $2.8 \text{ mg/l}$  とやや高くなっている。

流入支川では、中津川が  $1.2 \text{ mg/l}$  ( $1.1 \text{ mg/l}$ ) と前年度とほぼ同様であり、小鮎川、玉川で

も  $4.2 \text{mg/l}$  ( $4.6 \text{mg/l}$ )、 $4.6 \text{mg/l}$  ( $4.6 \text{mg/l}$ ) と前年度とほぼ同様である。永池川は、 $1.0 \text{mg/l}$  ( $1.3 \text{mg/l}$ ) と前年度に比べて低くなっているが、鳩川では、 $9.1 \text{mg/l}$  ( $7.8 \text{mg/l}$ ) と前年度に比べて高くなっている。これらの流入支川の水質は、寒川取水堰において飲料水源として取水されていることを考慮すると、良好とはいえない状況となっている。また、寒川取水堰より下流で本川に合流する 2 河川については、目久尻川では、 $9.9 \text{mg/l}$  ( $10 \text{mg/l}$ ) と前年度とほぼ同様であり、小出川では  $13 \text{mg/l}$  ( $17 \text{mg/l}$ ) と前年度に比べて低くなっている。

#### ク 県西河川

金目川本川 2 地点の BOD 年平均値は、上流の小田急鉄橋で  $5.9 \text{mg/l}$  ( $4.8 \text{mg/l}$ )、花水橋で  $11 \text{mg/l}$  ( $8.0 \text{mg/l}$ ) と前年度に比べて高くなっています。2 地点とも、経年的にここ数年大きな変化が見られず、環境基準値を超えており、

中村川、葛川では、それぞれ  $5.3 \text{mg/l}$  ( $4.9 \text{mg/l}$ )、 $13 \text{mg/l}$  ( $11 \text{mg/l}$ ) と前年度に比べてやや高く、2 河川とも環境基準値を超えており、経年的には、ここ数年高くなる傾向がうかがえる。

森戸川の 2 地点は、 $2.7 \text{mg/l}$  ( $2.5 \text{mg/l}$ )、 $6.3 \text{mg/l}$  ( $6.4 \text{mg/l}$ ) と前年度とほぼ同様であり、いずれも環境基準値以下となっている。

早川の 2 地点は、 $1.5 \text{mg/l}$  ( $1.5 \text{mg/l}$ )、 $1.9 \text{mg/l}$  ( $1.7 \text{mg/l}$ ) と前年度とほぼ同様であり、いずれも環境基準値以下となっている。

新崎川、千歳川では、それぞれ  $1.5 \text{mg/l}$  ( $1.5 \text{mg/l}$ )、 $2.1 \text{mg/l}$  ( $2.1 \text{mg/l}$ ) と前年度と同様であり、いずれも環境基準値以下となっている。

#### ケ 酒匂川

本川 4 地点の BOD 年平均値は、 $0.9 \sim 2.4 \text{mg/l}$  ( $0.8 \sim 2.1 \text{mg/l}$ ) と前年度に比べてやや高くなっています。飯泉取水堰（上）では環境基準値を超えており、

上流から下流へかけての水質変化をみると、十文字橋では、 $0.9 \text{mg/l}$  と良好な水質が保たれているが、報徳橋、飯泉取水堰（上）では、それぞれ  $1.4 \text{mg/l}$  ( $0.9 \text{mg/l}$ )、 $2.4 \text{mg/l}$  ( $2.1 \text{mg/l}$ ) と前年度に比べてやや高くなっています。下流の酒匂橋でも、 $2.2 \text{mg/l}$  ( $1.6 \text{mg/l}$ ) と前年度に比べて高くなっています。

流入支川についてみると、鮎沢川、川音川はそれぞれ  $1.0 \text{mg/l}$  ( $0.8 \text{mg/l}$ )、 $0.9 \text{mg/l}$  ( $0.6 \text{mg/l}$ ) と良好な水質が保たれているが、狩川では  $2.8 \text{mg/l}$  ( $2.2 \text{mg/l}$ ) と前年度に比べて高くなっています。経年的にも、ここ数年高くなる傾向がうかがえる。

## (2) 湖 沼

### ア 相 模 湖

健康項目については、5地点、延140検体について測定した。この結果すべて環境基準値に適合している。

生活環境項目については、5地点、延540検体について測定した。このうち環境基準値が定められているのは延300検体で、環境基準値を超えたものは71検体、不適合率は23.7%（16.0%）となっており、前年度に比べて高くなっている。

項目別に不適合率をみると pH 3.3%（0%）、SSは8.3%（15.0%）と低い状況にあるが、BODは18.3%（1.7%）、DOは20.0%（33%）と前年度に比べて高くなっているが、大腸菌群数は、63.3%（50.0%）と依然として高い割合になっている。

特殊項目については、5地点延80検体について測定した。この結果すべての検体が判定値以下になっている。

湖内5地点のBOD年平均値は、1.3～1.9mg/lと前年度の1.0～1.2mg/lに比べて高くなっているが、全地点で環境基準値以下となっており、経年的には大きな変化は見られない。

湖沼の水質を示す代表的指標であるCODの年平均値は、2.7～3.1mg/lと前年度の2.2～2.9mg/lと比べてわずかに高くなっている。

富栄養化の要因物質である窒素・磷についてみると、窒素の年平均値は1.3～1.6mg/l、磷は0.091～0.15mg/lと依然として高い値にある。このため夏季を中心に植物性プランクトンが多量に発生し、上層のpH、COD、クロロフィルaの値が高くなっている。また、一部の水域では、下層のDOの値が著しく低くなり、貧酸素状態の現象がみられている。

### イ 津久井湖

健康項目については、4地点、延112検体について測定した。この結果すべて環境基準値に適合している。

生活環境項目については、4地点、延432検体について測定した。このうち環境基準値が定められているのは延240検体で、環境基準値を超えたものは51検体、不適合率は21.2%（16.7%）となっており、前年度に比べてやや高くなっている。

項目別に不適合率をみると、SSは4.2%（6.3%）と低い状況にあるが、DO 18.8%（2.1%）、pH 25.0%（18.8%）、BODは27.1%（20.8%）と、いずれも前年度に比べて高くなっている。大腸菌群数は、31.3%（35.4%）と前年度同様高い割合となっている。

特殊項目については、4地点、延64検体について測定した。この結果すべての検体

が判定値以下になっている。

湖内4地点のBOD年平均値は、 $1.5 \sim 3.0 \text{ mg/l}$ と前年度の $1.1 \sim 2.2 \text{ mg/l}$ と比べて高くなっているが、1地点で環境基準値を超えており、経年的には大きな変化は見られない。COD年平均値は $2.7 \sim 7.7 \text{ mg/l}$ と前年度の $2.3 \sim 3.2 \text{ mg/l}$ と比べて高くなっている。

窒素・燐についてみると、窒素の年平均値は、 $1.3 \sim 1.8 \text{ mg/l}$ 、燐は、 $0.050 \sim 0.11 \text{ mg/l}$ と依然として高くなっている。このため夏季を中心としてアオコが発生し、相模湖同様上層のpH、COD、クロロフィルaの値が高くなっている。また、一部の水域では、下層のDOの値が著しく低くなり、貧酸素状態の現象がみられている。

### ウ 芦 ノ 湖

健康項目については、4地点、延112検体について測定した。この結果、すべて環境基準値に適合している。

生活環境項目については、4地点、延432検体について測定した。このうち環境基準値が定められているのは延240検体で、環境基準値を超えたものは延100検体、不適合率は41.7%（44.2%）となっており、前年度とほぼ同様である。

項目別に不適合率をみると、pHは0%（2.1%）と低い状況にあるが、大腸菌群数39.6%（43.8%）、SS43.8%（29.2%）、DO45.8%（45.8%）、CODは79.2%（100%）といずれも高い状況にある。

特殊項目については、4地点、延64検体について測定した。この結果すべての検体が判定値以下になっている。

湖内4地点のCOD年平均値は、 $1.3 \sim 1.5 \text{ mg/l}$  ( $1.6 \sim 1.7 \text{ mg/l}$ )と前年度に比べて低くなっているが、経年にみると、大きな変化はみられず、自然環境保全の目的から厳しい環境基準（AA類型）が適用されているためすべての地点で環境基準値を超えていている。

窒素・燐についてみると、窒素の年平均値は $0.15 \sim 0.18 \text{ mg/l}$ と前年度の $0.21 \sim 0.31 \text{ mg/l}$ と比べて低くなっているが、燐は $0.008 \sim 0.009 \text{ mg/l}$ と前年度と同様である。

### エ 丹 沢 湖

健康項目については、4地点、延112検体について測定した。この結果、すべて環境基準値に適合している。

生活環境項目については、4地点、延432検体について測定した。このうち環境基準値が定められているものは延240検体で、環境基準値を超えたものは延27検体、不適合率は11.3%（11.3%）となっており、前年と同様である。

項目別に不適合率をみると、pH 0% (0%)、大腸菌群数 0% (0%) といずれもここ数年すべての検体が環境基準値に適合している。SSは 12.5% (14.6%) と前年度に比べて低くなっているが、CODは 14.6% (12.5%) と前年度に比べて高くなっている。また、DOは前年度と同様の 29.2% (29.2%) となっている。

特殊項目については、4地点、延 64 検体について測定した。この結果、すべての検体が判定値以下となっている。

湖内 4 地点の COD 年平均値は、 $1.6 \sim 2.9 \text{ mg/l}$  ( $1.4 \sim 2.7 \text{ mg/l}$ ) と前年度とほぼ同様であり、すべての地点で環境基準値以下となっている。

また、窒素・磷についてみると、窒素の年平均値は、 $0.59 \sim 0.77 \text{ mg/l}$  ( $0.53 \sim 0.72 \text{ mg/l}$ ) と前年度とほぼ同様であるが、磷の年平均値は  $0.013 \sim 0.026 \text{ mg/l}$  と前年度の  $0.007 \sim 0.022 \text{ mg/l}$  に比べてやや高くなっている。なお、9月、10月には淡水赤潮の発生が見られた。

流入河川の玄倉川、河内川等の BOD 年平均値は、 $0.4 \sim 0.6 \text{ mg/l}$  ( $0.5 \sim 0.6 \text{ mg/l}$ )、COD 年平均値は  $0.8 \sim 1.2 \text{ mg/l}$  ( $0.8 \sim 1.2 \text{ mg/l}$ ) と前年度とほぼ同様である。

### (3) 海域

#### ア 東京湾

健康項目については、23地点、延 1,794 検体について測定した。この結果、すべて環境基準値に適合している。

生活環境項目については、23地点、延 1,932 検体について測定した。このうち環境基準値が定められているものは延 1,044 検体で、環境基準値を超えたものは延 80 検体、不適合率は 7.7% (9.0%) と前年度に比べて低くなっている。

項目別の不適合率をみると、n-ヘキサン抽出物質(油分等) 0% (0%)、大腸菌群数 0% (6.3%)、pH 1.4% (1.8%) といずれも低い状況にあるが、CODは 21.7% (22.5%) と高くなっている。

このうち、海域の水質を示す代表的指標である COD の不適合率を類型別にみると、A類型の地点が 35.4% (37.4%)、B類型が 35.0% (36.7%)、C類型が 0.9% (0%) となっており、A類型およびB類型で高い割合となっている。

特殊項目については、23地点、延 322 検体について測定した。その結果、すべての検体が判定値以下となっている。

A類型に指定されている湾中央部の4地点の COD 年平均値は、 $1.3 \sim 2.5 \text{ mg/l}$  ( $1.4 \sim 2.4 \text{ mg/l}$ ) となっており、これらの平均値は  $1.8 \text{ mg/l}$  ( $1.9 \text{ mg/l}$ ) と前年度と

ほぼ同様で、中の瀬北、中の瀬南では環境基準値を超えている。

川崎市から横須賀市の沖合にかけてのB類型に指定された10地点では、 $1.9 \sim 4.4 \text{ mg/l}$  ( $1.8 \sim 4.3 \text{ mg/l}$ ) となっており、これらの平均値は  $2.8 \text{ mg/l}$  ( $2.8 \text{ mg/l}$ ) と前年度と同様である。このうち4地点で環境基準値を超えており、湾口部から湾奥部の水質をみると、湾奥部になるにしたがって高くなる傾向がうかがえる。

川崎市から横浜市の沿岸部を中心とするC類型に指定された9地点では、 $2.3 \sim 5.6 \text{ mg/l}$  ( $2.5 \sim 5.3 \text{ mg/l}$ ) となっており、これらの平均値は  $3.6 \text{ mg/l}$  ( $3.4 \text{ mg/l}$ ) と前年度とほぼ同様で、すべての地点で環境基準値以下となっている。

窒素・燐についてみると、窒素の年平均値は  $0.40 \sim 4.6 \text{ mg/l}$  ( $0.45 \sim 4.1 \text{ mg/l}$ ) で、全23地点の平均値は  $1.2 \text{ mg/l}$  ( $1.3 \text{ mg/l}$ ) となっている。また、燐の年平均値は  $0.030 \sim 0.27 \text{ mg/l}$  ( $0.034 \sim 0.25 \text{ mg/l}$ ) で、全地点の平均値は  $0.092 \text{ mg/l}$  ( $0.089 \text{ mg/l}$ ) と、窒素・燐とも前年度とほぼ同様であるが、いずれも海域としては依然として高い値となっている。そのため、春から秋にかけて赤潮が発生し、上層のpH、COD、クロロフィルaが高く、透明度も1m程度まで低下する現象が見られた。

東京湾は、奥行きが深く湾口部が狭い閉鎖性水域であるため、外洋水との交換が悪く、さらに多量の汚濁物が流入することから、その水質改善ははかばかしくない。

## イ 相 模 湾

健康項目については、20地点、延1,560検体について測定した。この結果、すべて環境基準値に適合している。

生活環境項目については、20地点、延1,680検体について測定した。このうち環境基準値が定められているのは延1,200検体で環境基準値を超えたものは延163検体、不適合率は13.6% (12.3%) となっており、前年度に比べて高くなっている。

項目別に不適合率をみるとn-ヘキサン抽出物質0% (0%)、pH 1.3% (1.3%)、COD 6.7% (8.8%)、大腸菌群数は7.5% (10.0%)と低い状況にあるが、DOは52.5% (41.3%)と高い割合になっている。

特殊項目については、20地点、延280検体について測定した。この結果、すべての検体が判定値以下となっている。

湾内20地点のCOD年平均値は、 $0.7 \sim 2.4 \text{ mg/l}$  ( $1.0 \sim 1.9 \text{ mg/l}$ ) となっており、流入河川の影響を受ける1地点だけが環境基準値を超えており、全20地点の平均値は、 $1.0 \text{ mg/l}$  ( $1.2 \text{ mg/l}$ ) と前年度に比べて低くなっている。

窒素・燐についてみると、窒素の年平均値は  $0.24 \sim 1.3 \text{ mg/l}$  ( $0.24 \sim 0.92 \text{ mg/l}$ ) で、全20地点の平均値は  $0.30 \text{ mg/l}$  ( $0.33 \text{ mg/l}$ ) と前年度とほぼ同様

である。

また、燐の年平均値は、 $0.016\sim0.11\text{ mg/l}$  ( $0.016\sim0.065\text{ mg/l}$ ) であり、全20地点の平均値は、 $0.023\text{ mg/l}$  ( $0.024\text{ mg/l}$ ) と前年度とほぼ同様である。

#### (4) ま と め

以上、BOD年平均値を中心に公共用水域の汚濁状況について述べてきたが、環境基準の達成状況をみると、次のとおりである。

健康項目は、すべての地点で環境基準を達成している。

生活環境項目 (BOD又はCOD) は、全あてはめ水域49水域中27水域 (55%) で環境基準を達成しており、前年度の28水域 (57%) をやや下回っている。

これを河川、湖沼、海域別にみると、河川は32水域中15水域 (47%) が達成しており、前年度の16水域 (50%) を下回っている。湖沼、海域はそれぞれ4水域中3水域 (75%)、13水域中9水域 (69%) と前年度と同様である。

昭和62年度においては、河川で、環境基準達成水域数が前年度より1水域減少し、経年的にもここ数年大きな変化がみられないため、水質改善の対策をより一層推進する。

III

図

)

)



# 1 河 川

)

)



## 主要河川におけるBOD縦断変化図（年平均値）

図1-1 多摩川におけるBOD縦断変化図

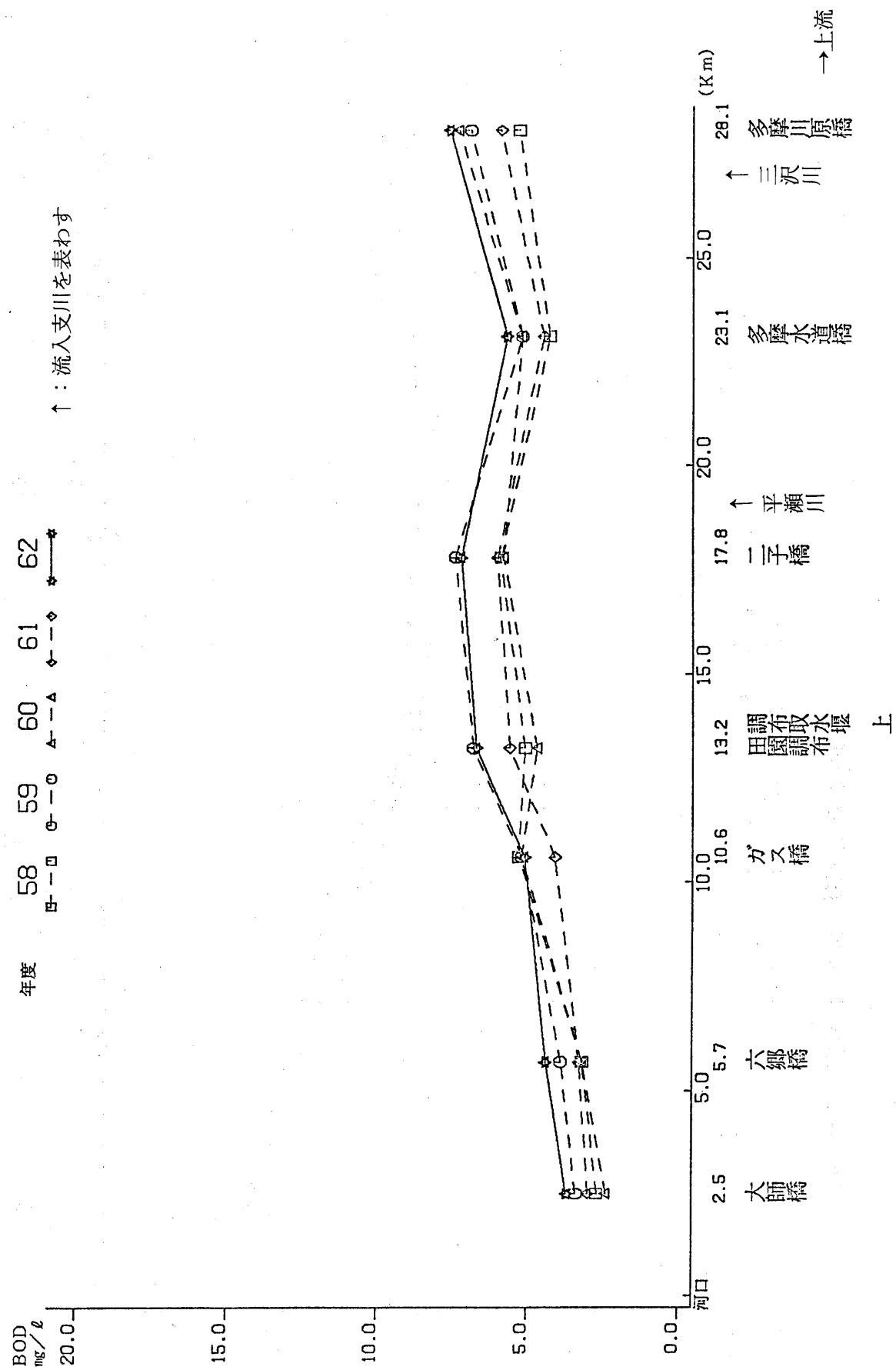


図 1-2 鶴見川におけるBOD縦断変化図

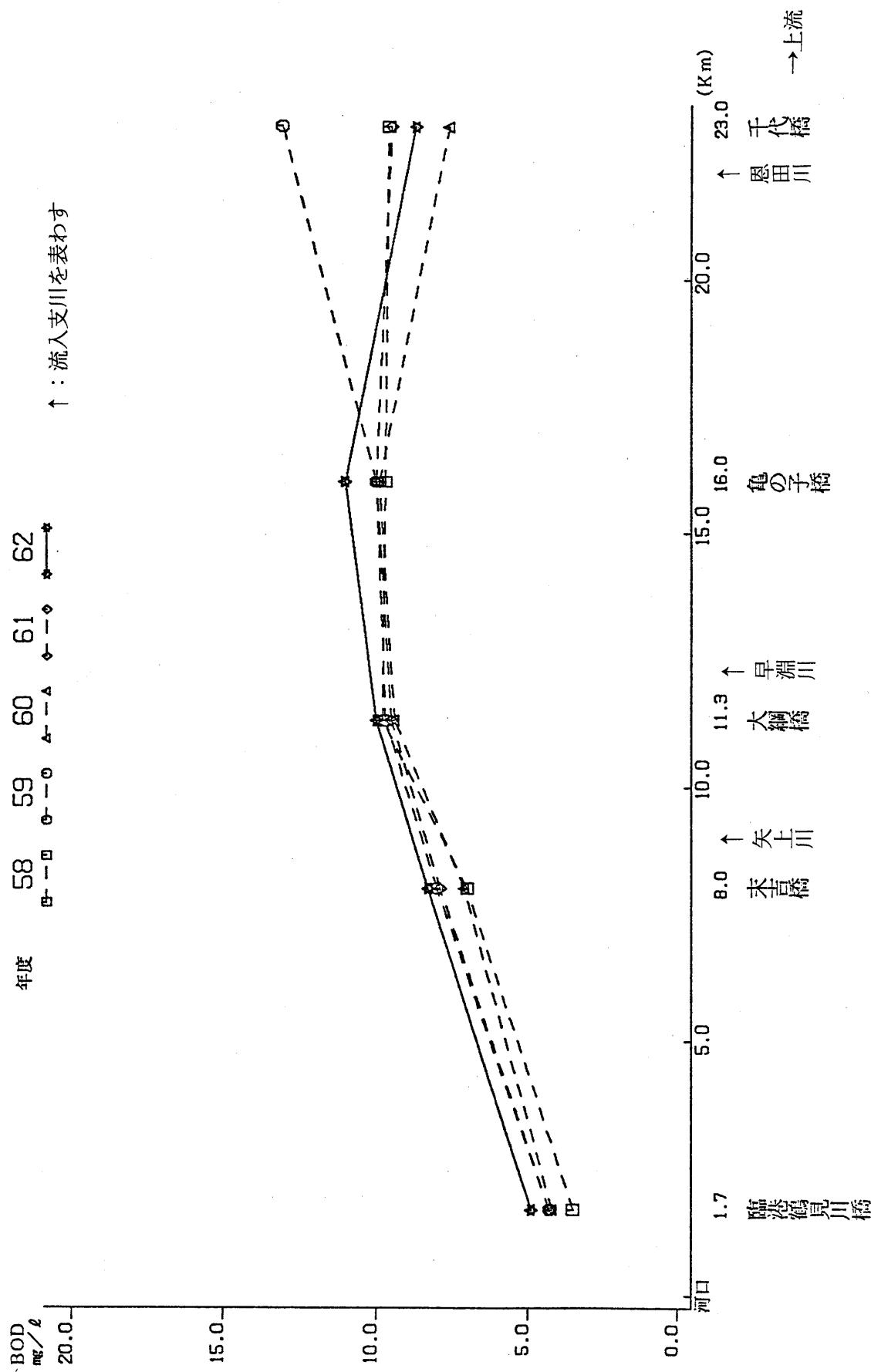


図1-3 境川におけるBOD継続変化図

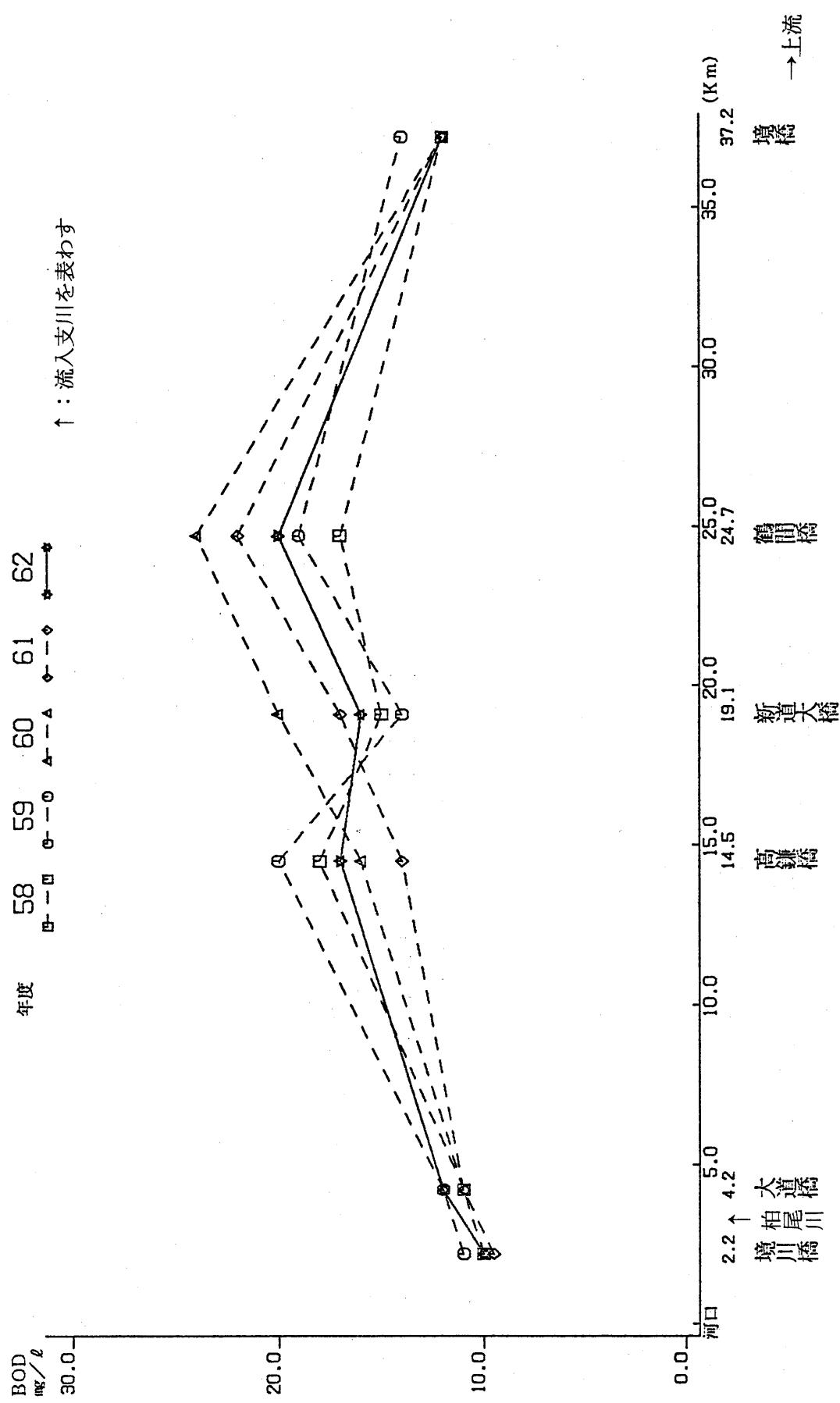


図 1-4 相模川におけるBOD縦断変化図

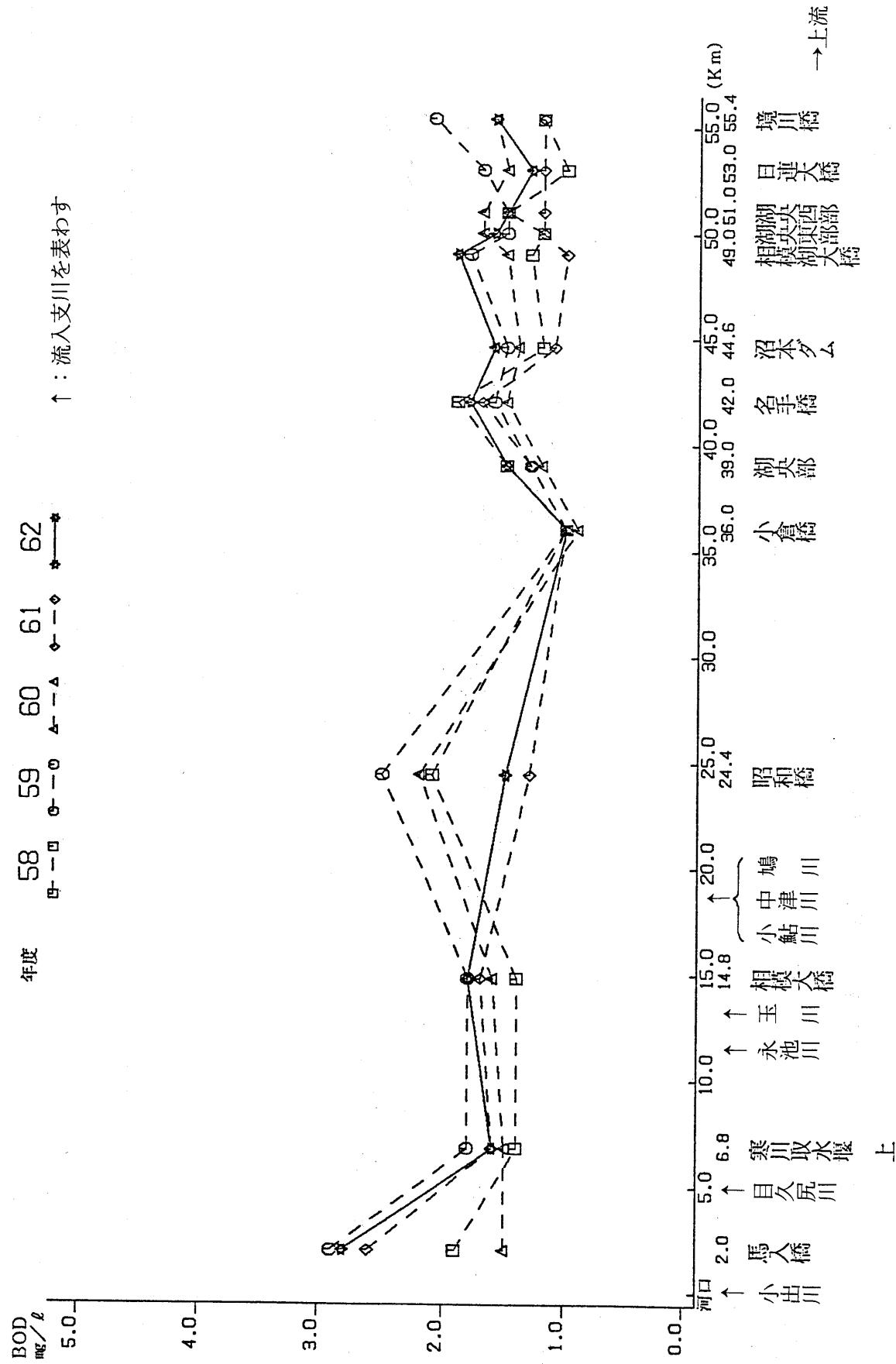
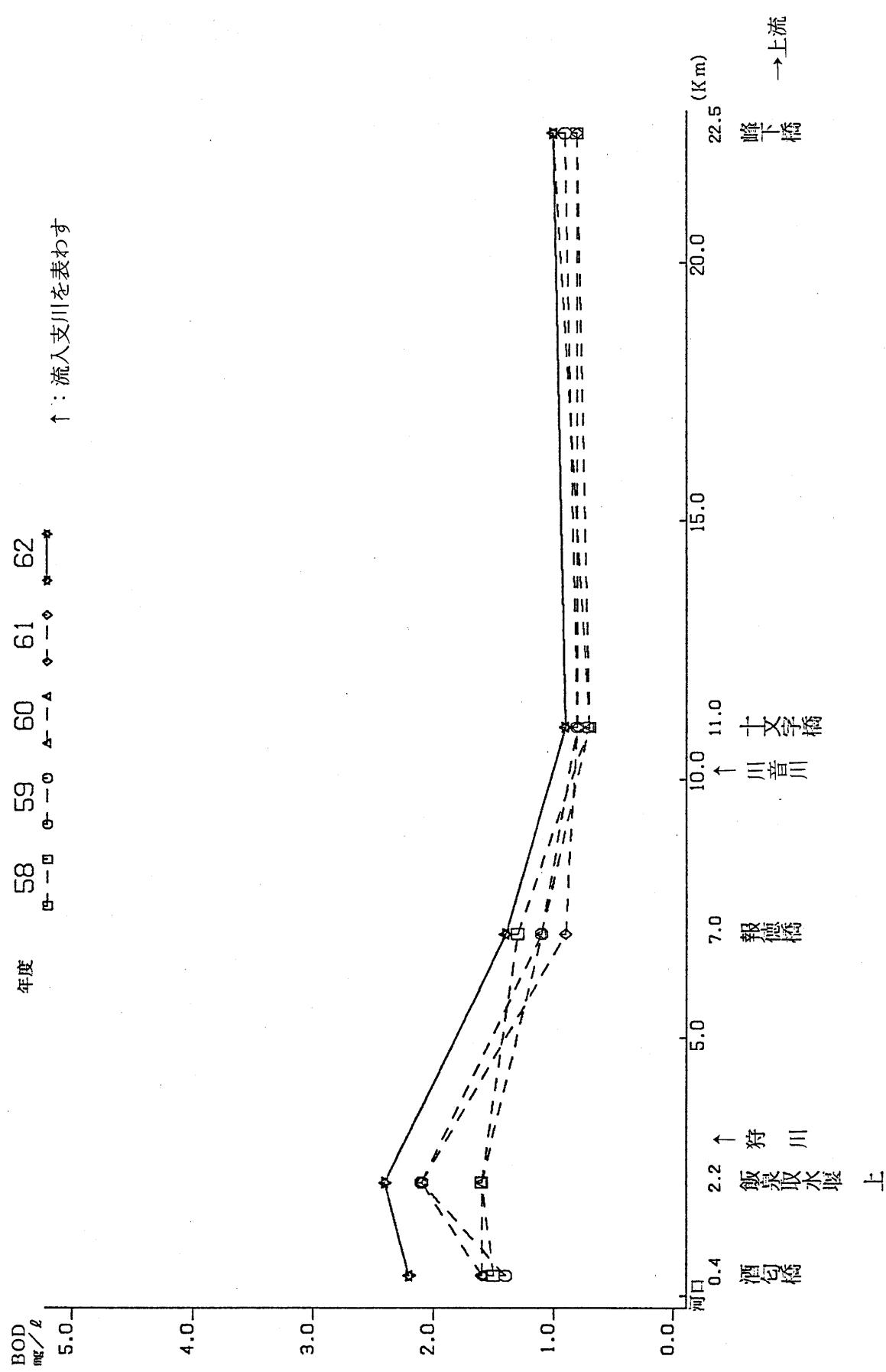


図 1-5 酒匂川におけるBOD綫断変化図



## 河川の主要地点における年平均値の推移 (pH・BOD・COD・DO)

図 2-1 多摩川(田園調布取水堰(上))

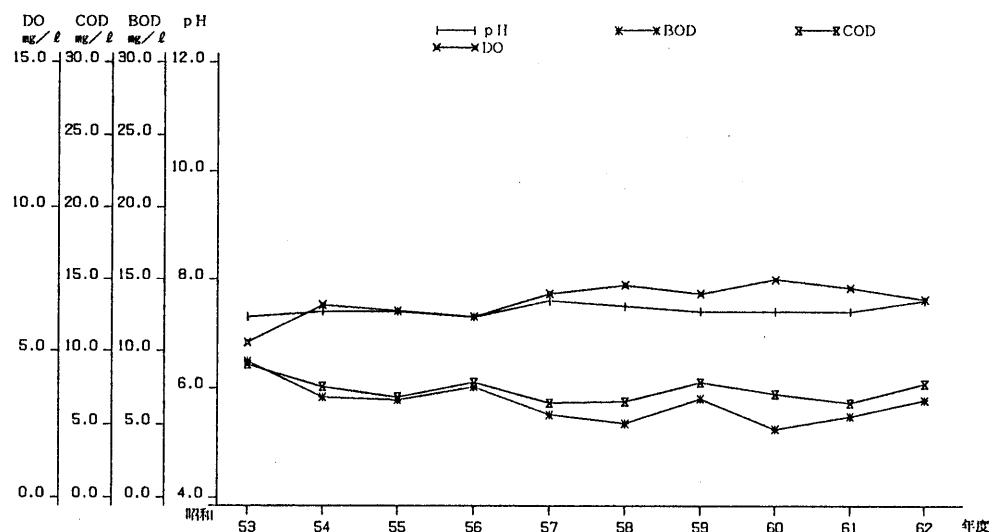


図 2-2 鶴見川(大綱橋)

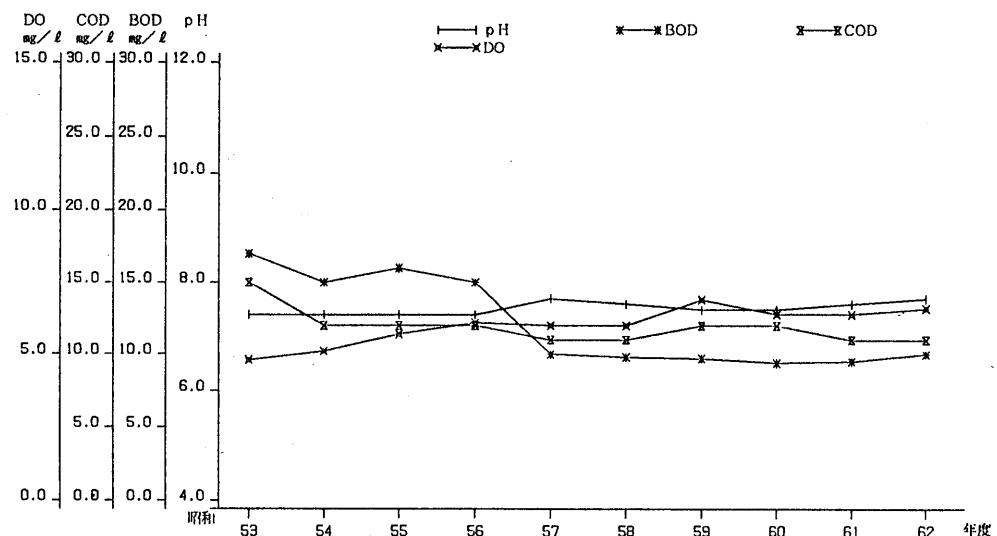


図 2-3 大岡川(清水橋)

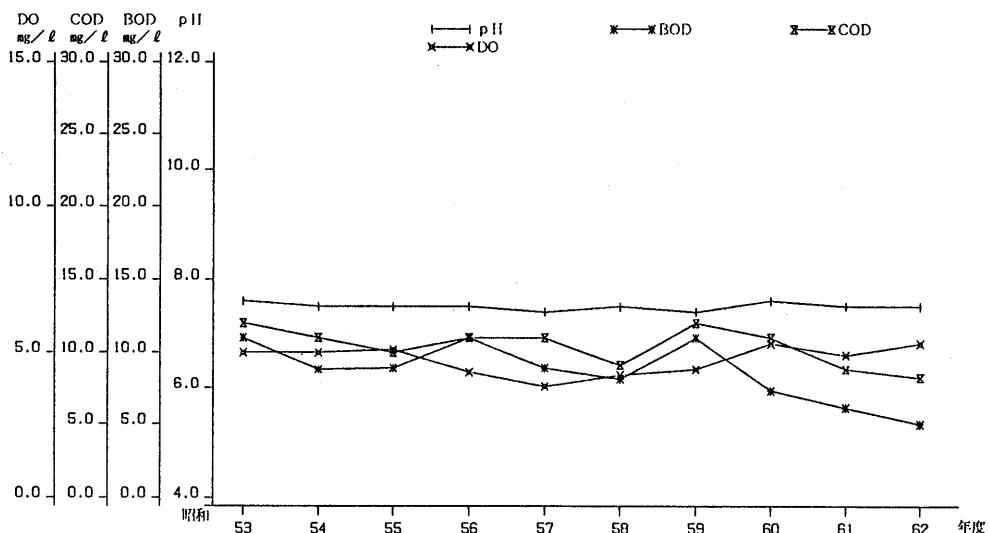


図2-4 平作川(夫婦橋)

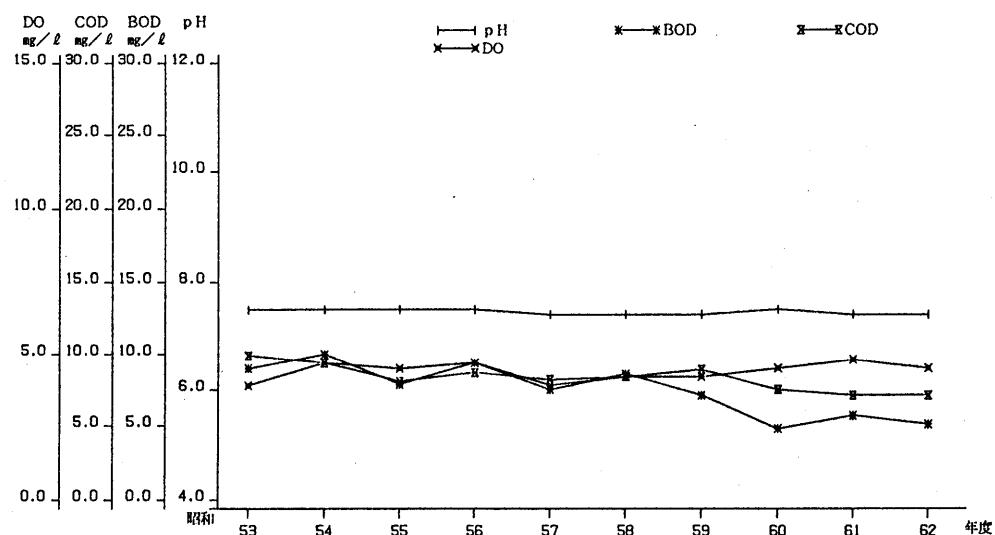


図2-5 境川(境川橋)

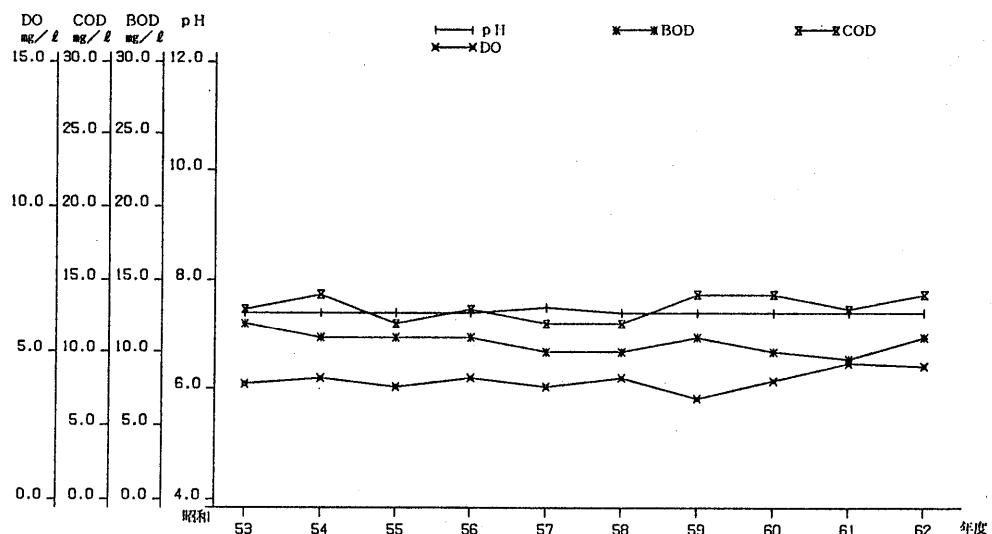


図2-6 境川(境橋)

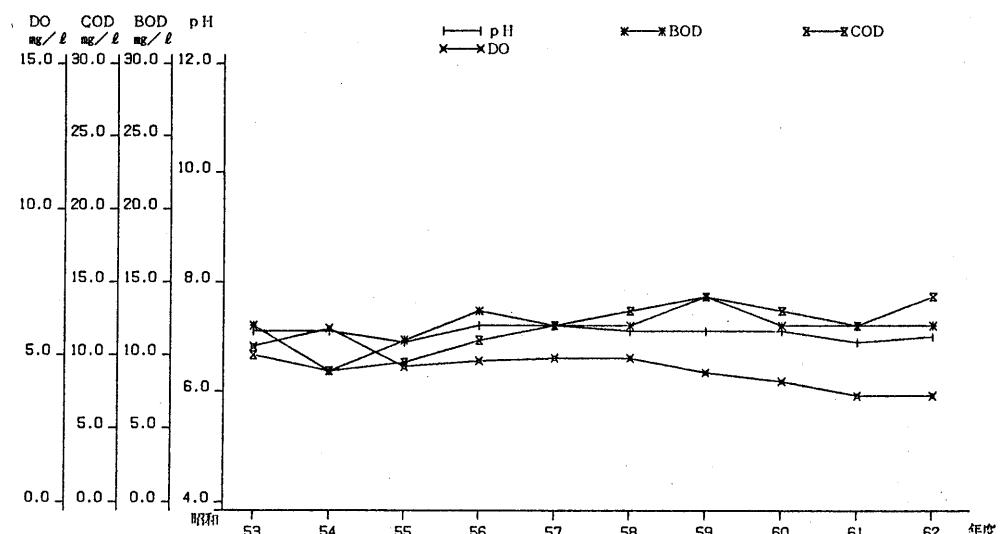


図 2-7 相模川(寒川取水堰(上))

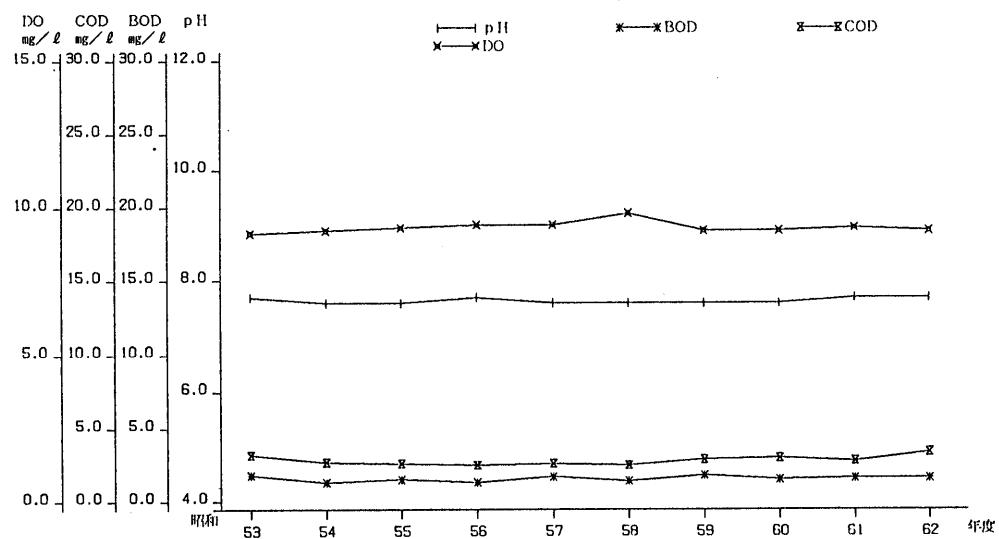


図 2-8 金目川(花水橋)

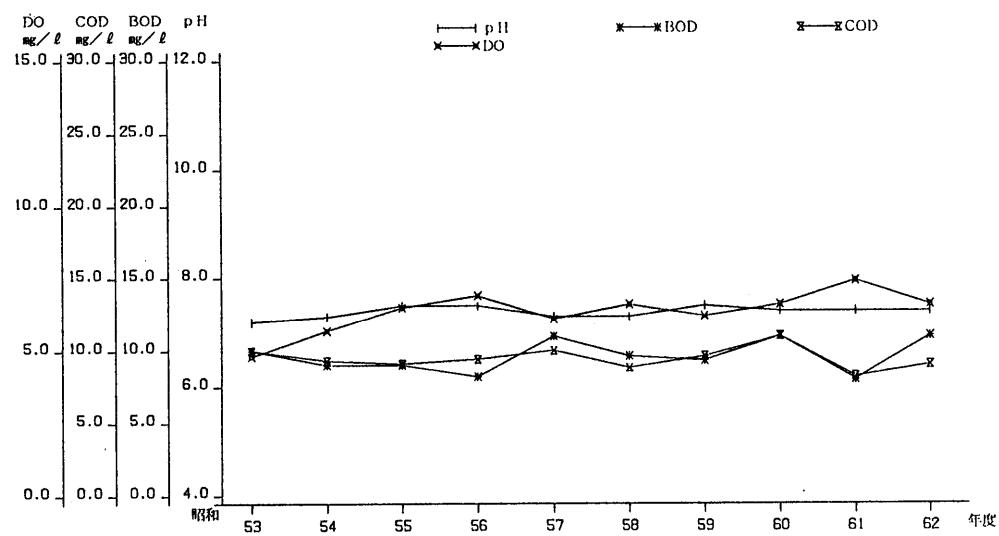
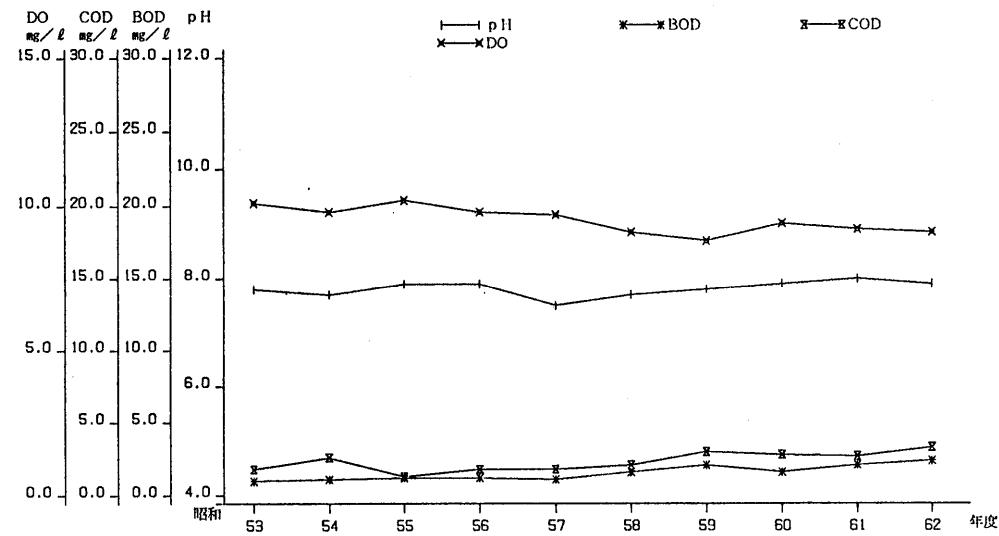


図 2-9 酒匂川(飯泉取水堰(上))



## 河川の主要地点における月別推移 (pH・BOD・COD・DO)

図 3-1 多摩川(田園調布取水堰(上))

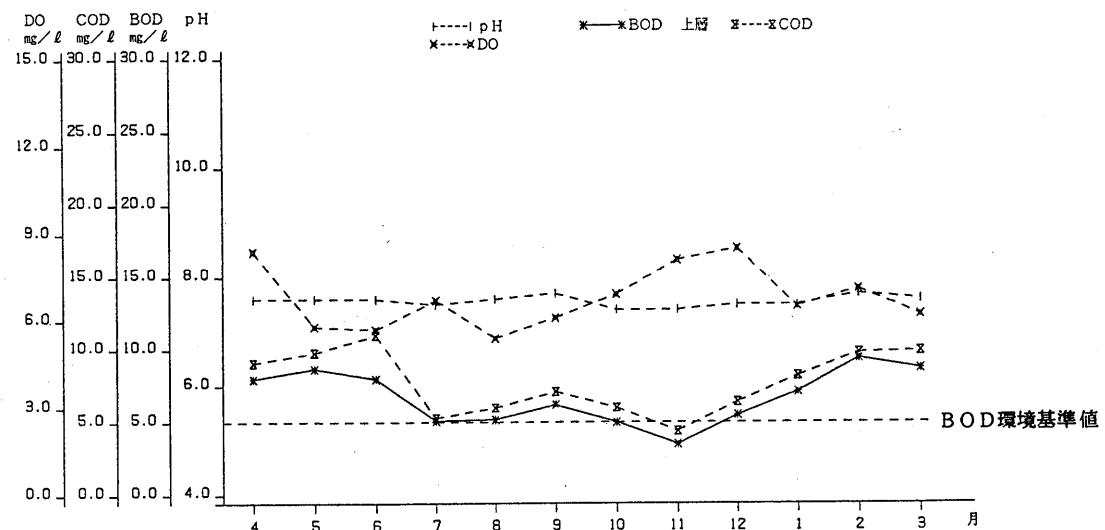


図 3-2 鶴見川(大綱橋)

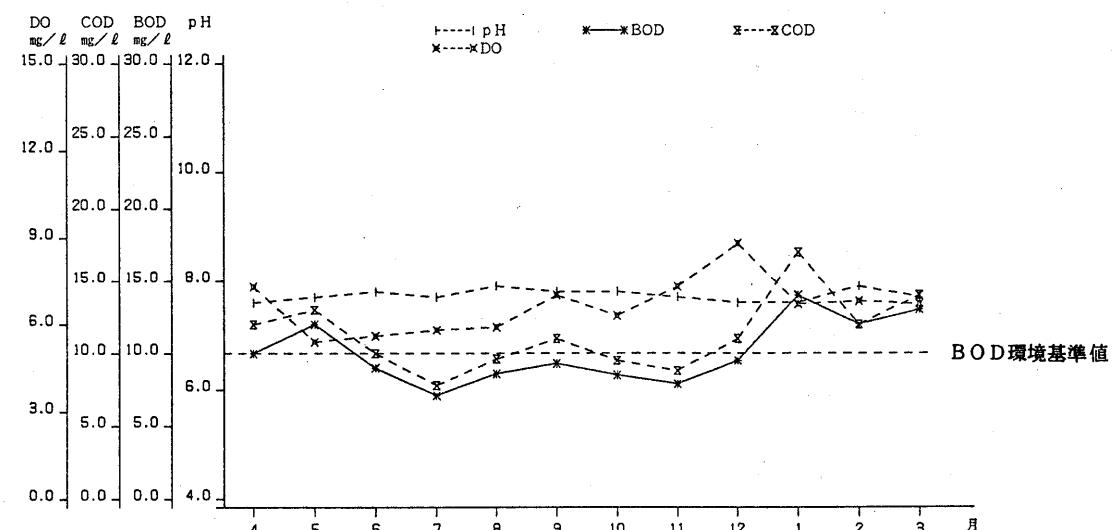


図 3-3 大岡川(清水橋)

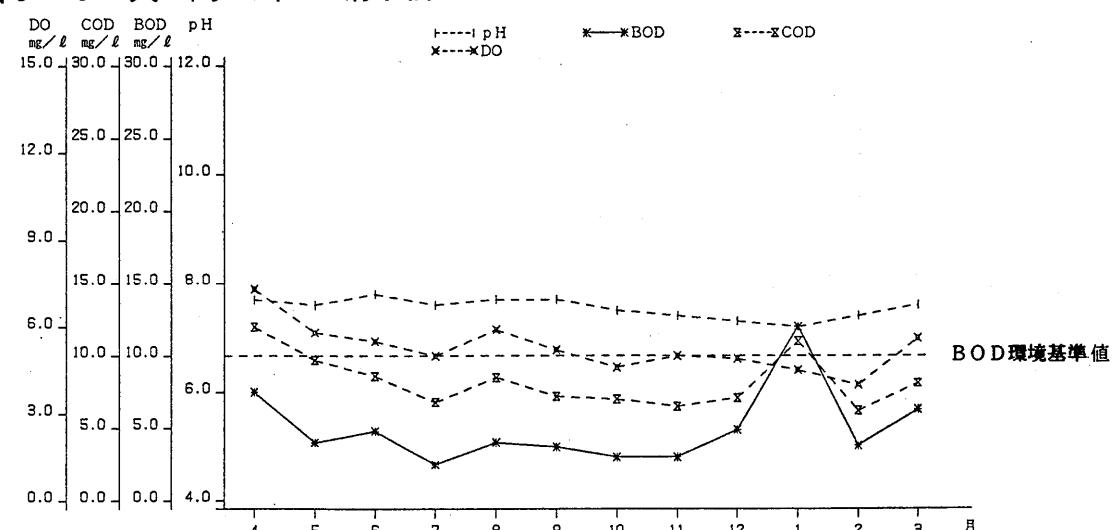


図3-4 平作川(夫婦橋)

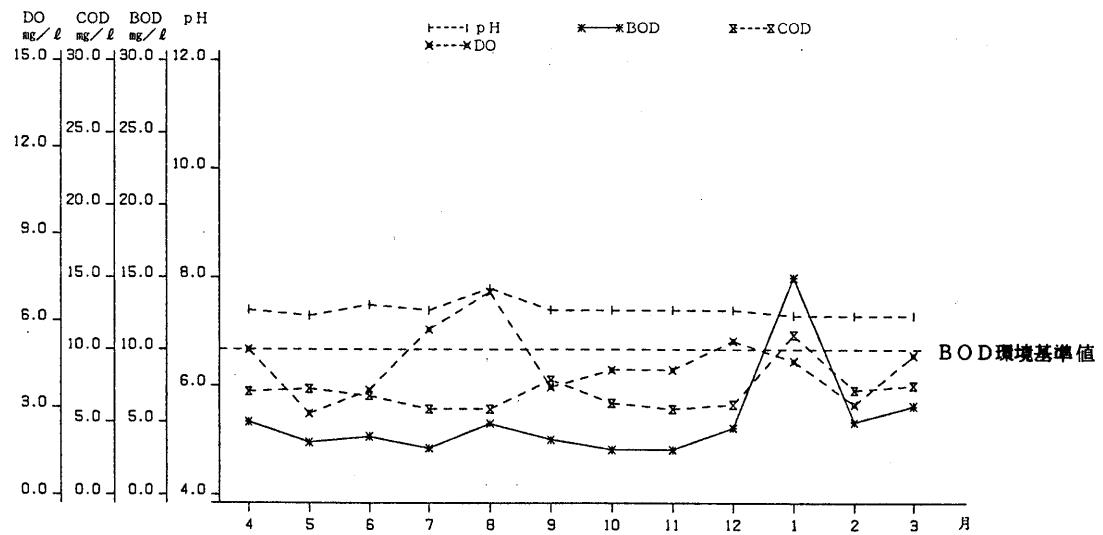


図3-5 境川(境川橋)

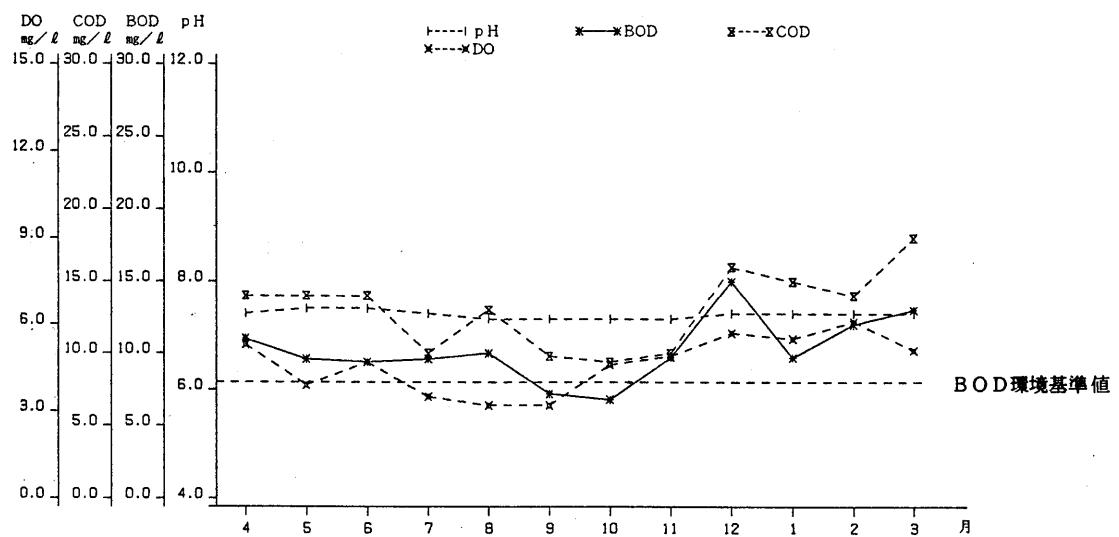


図3-6 境川(境橋)

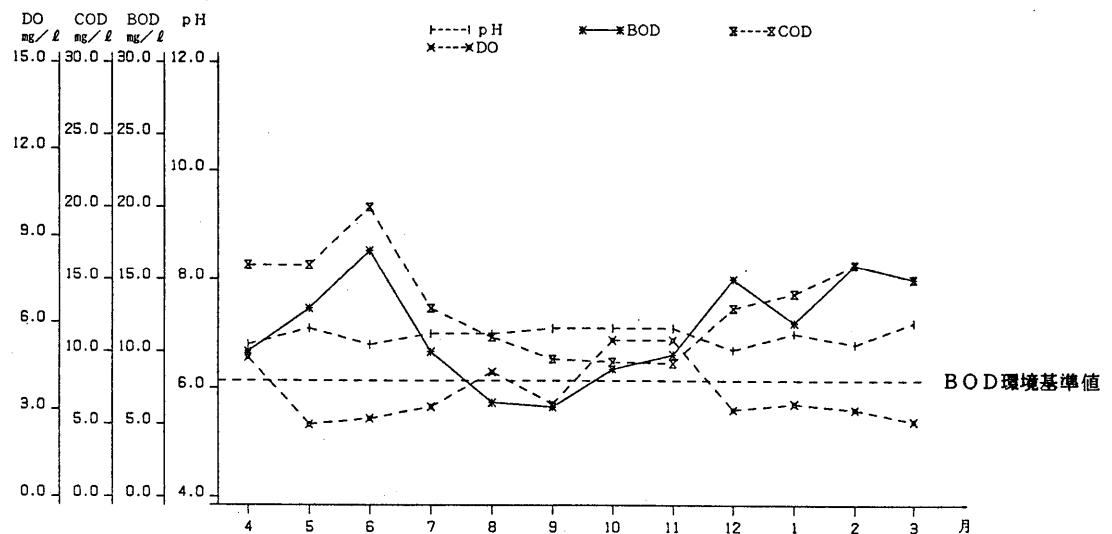


図 3-7 相模川(寒川取水堰(上))

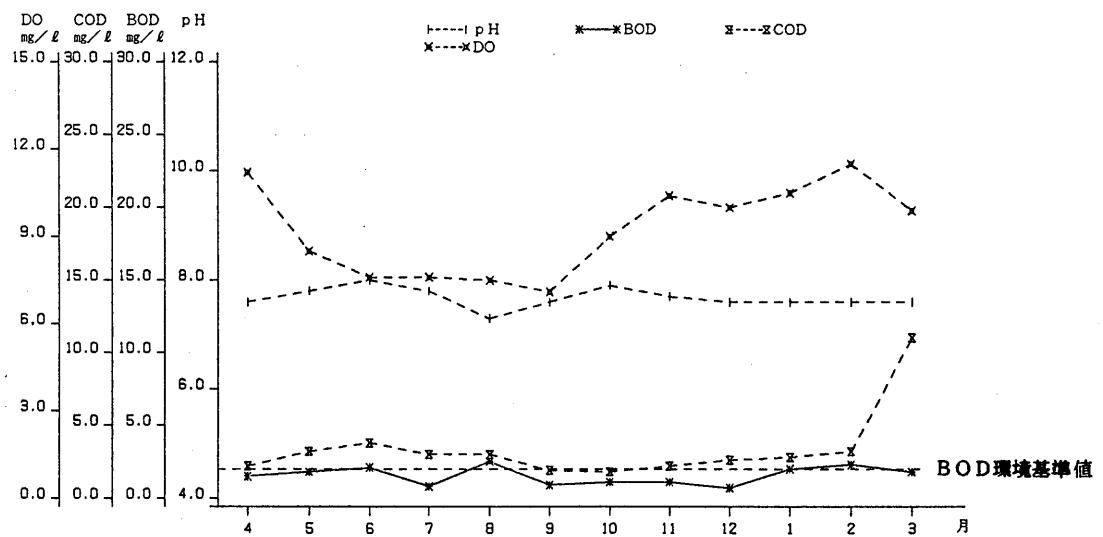


図 3-8 金目川(花水橋)

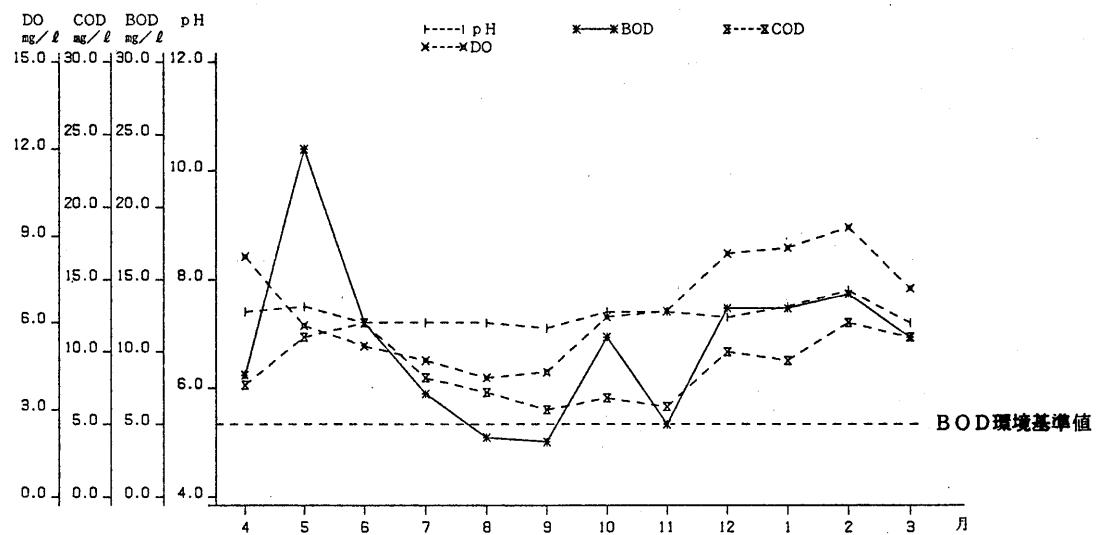
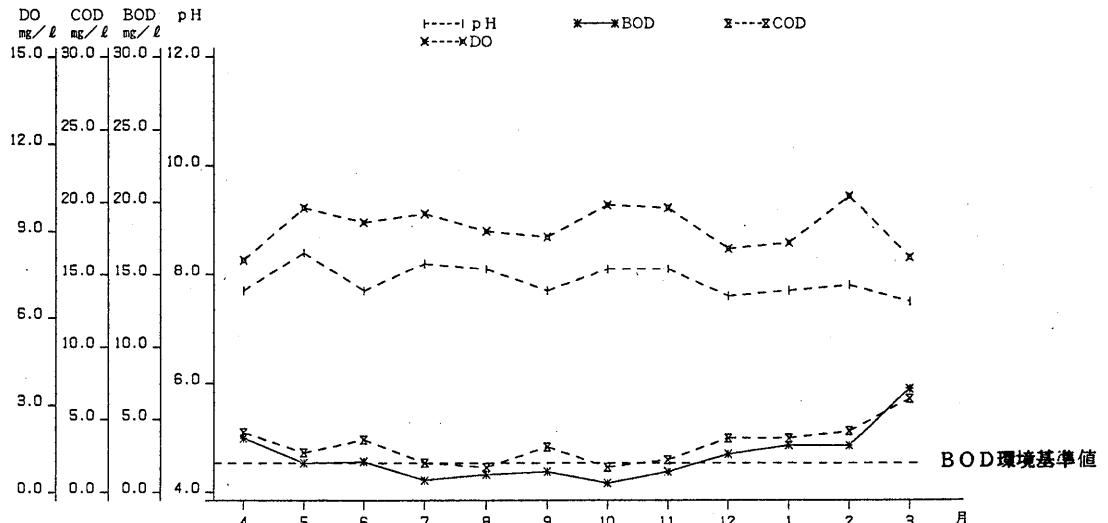


図 3-9 酒匂川(飯泉取水堰(上))





# 2 湖 沼

)



湖沼における年平均値の推移（全測定地点の平均値）  
 （透明度・BOD・COD・全窒素・全燐・クロロフィルa）

図4-1 相模湖

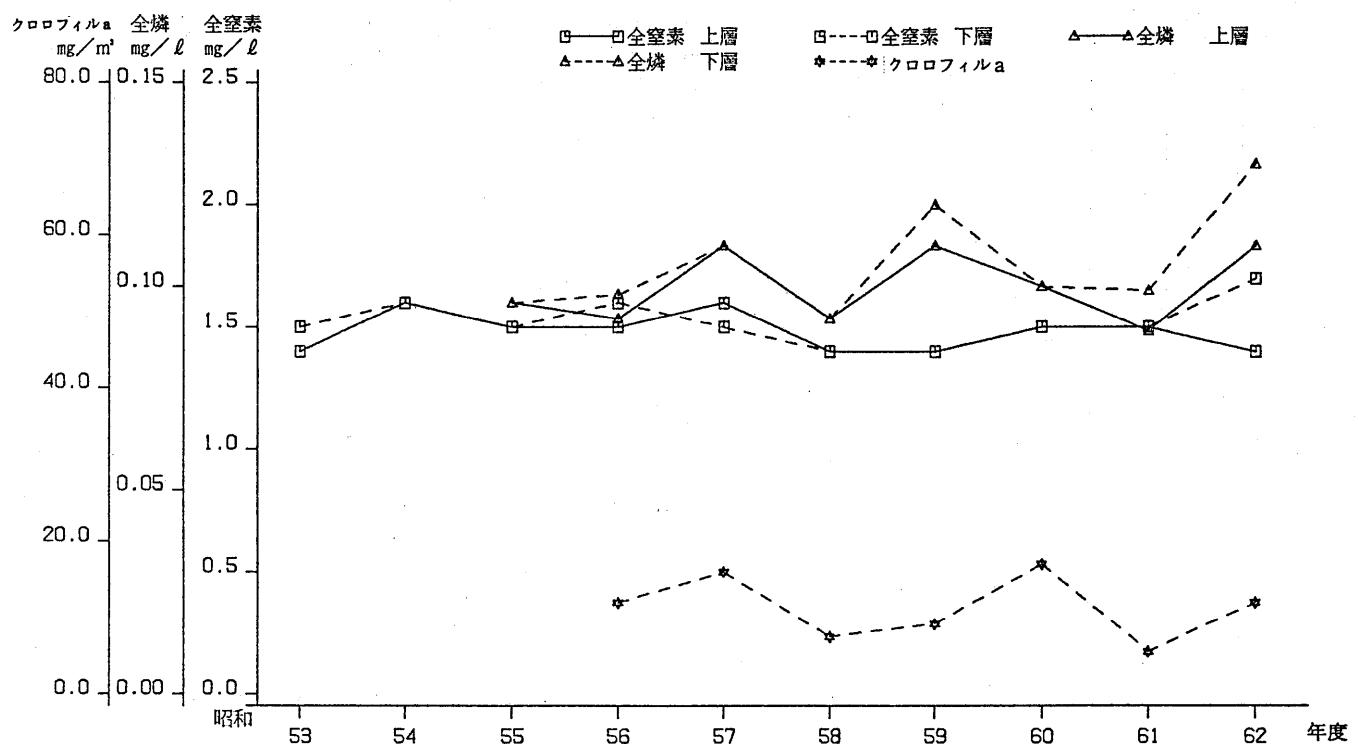
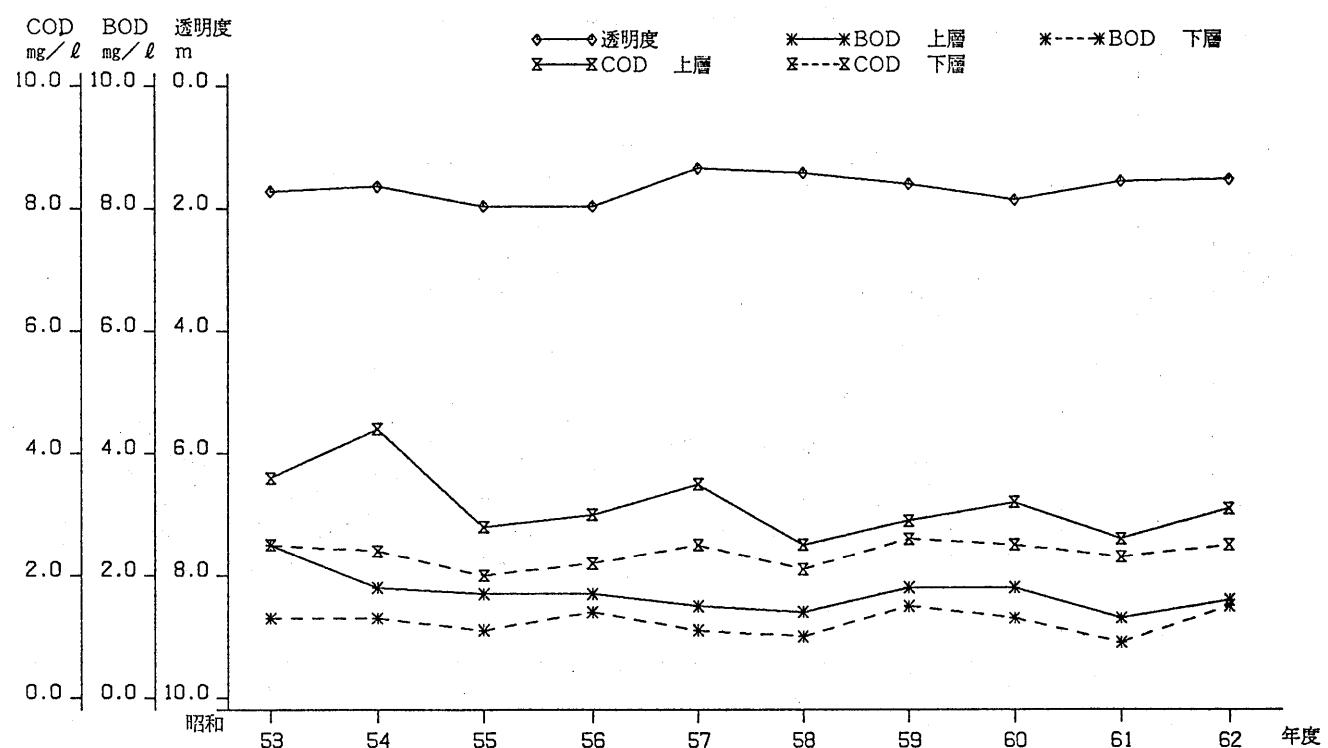


図4-2 津久井湖

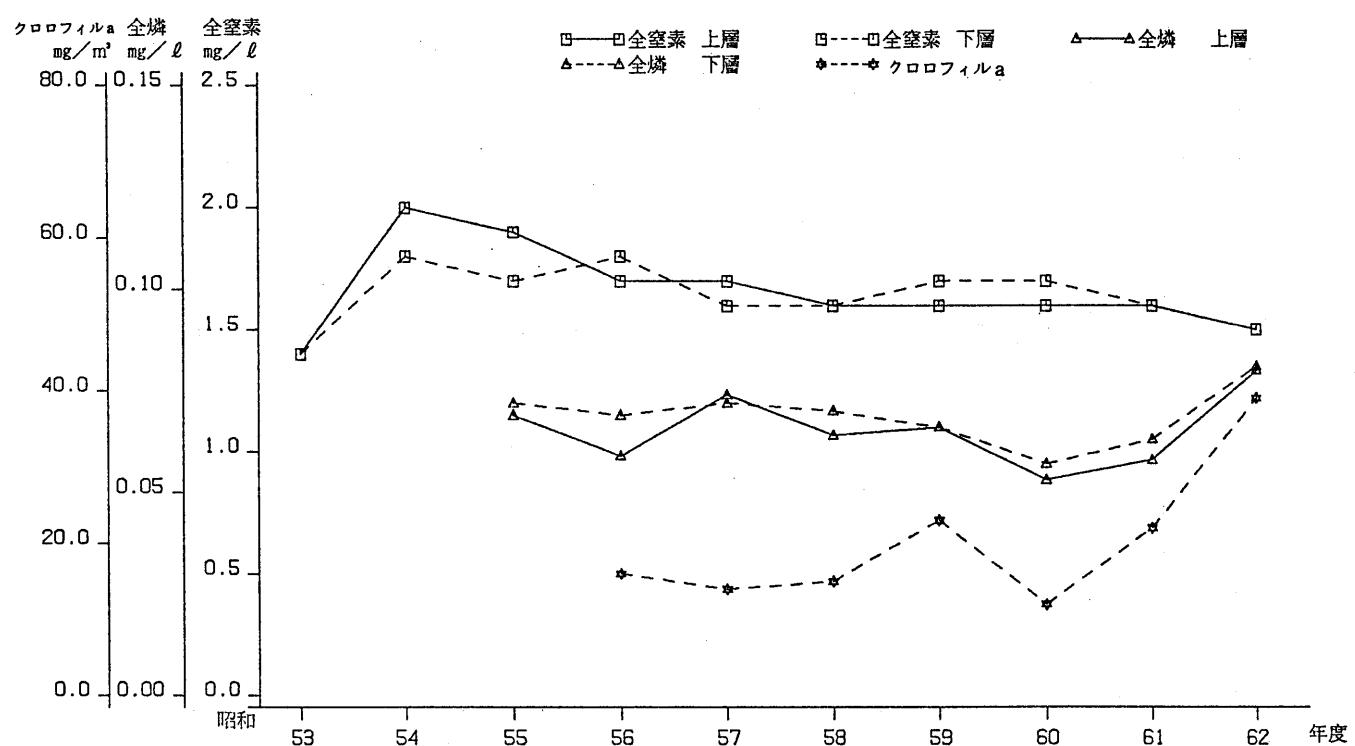
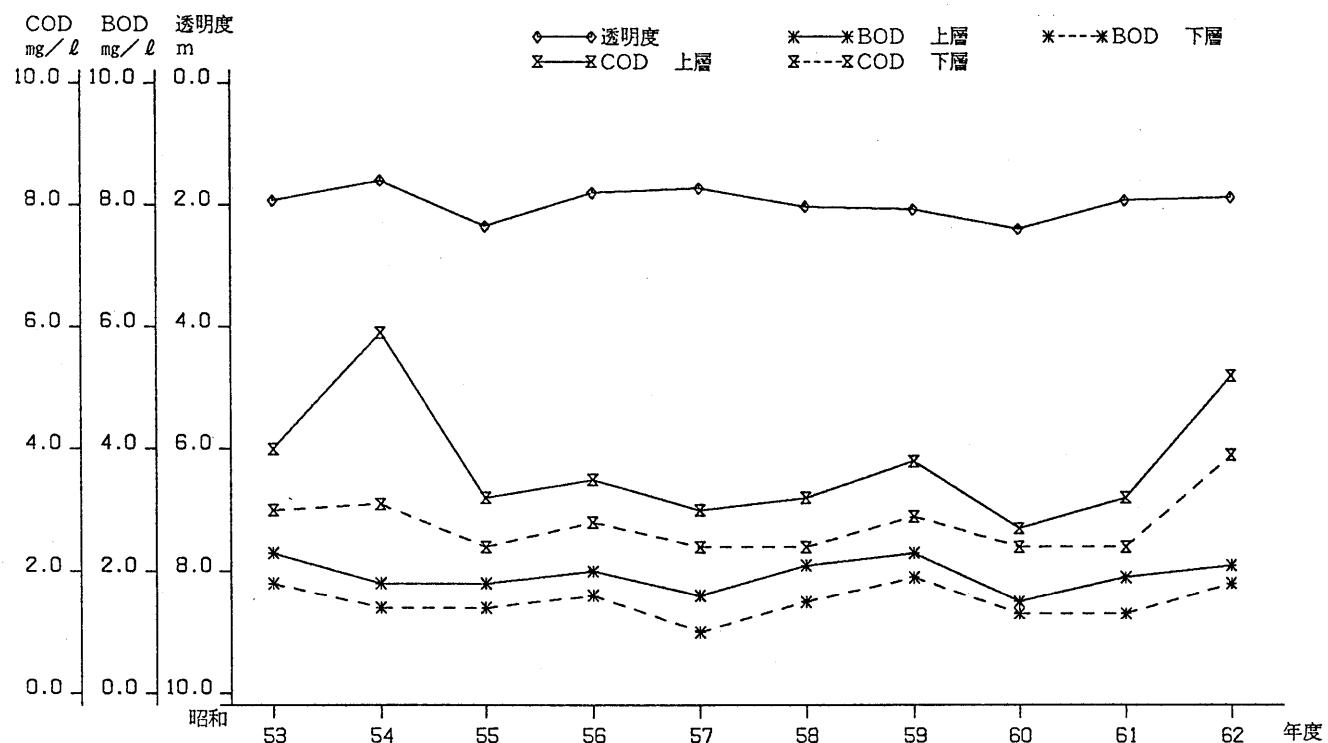


図4-3 芦ノ湖

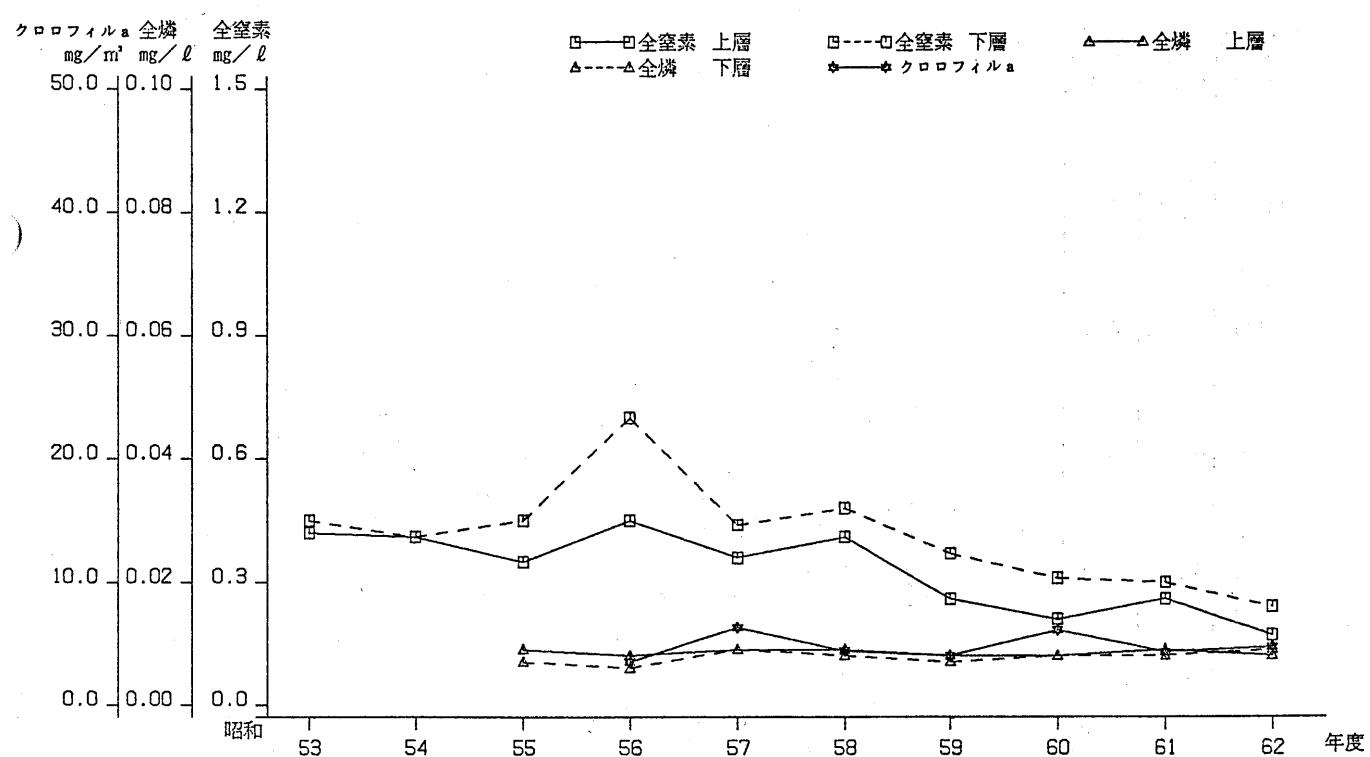
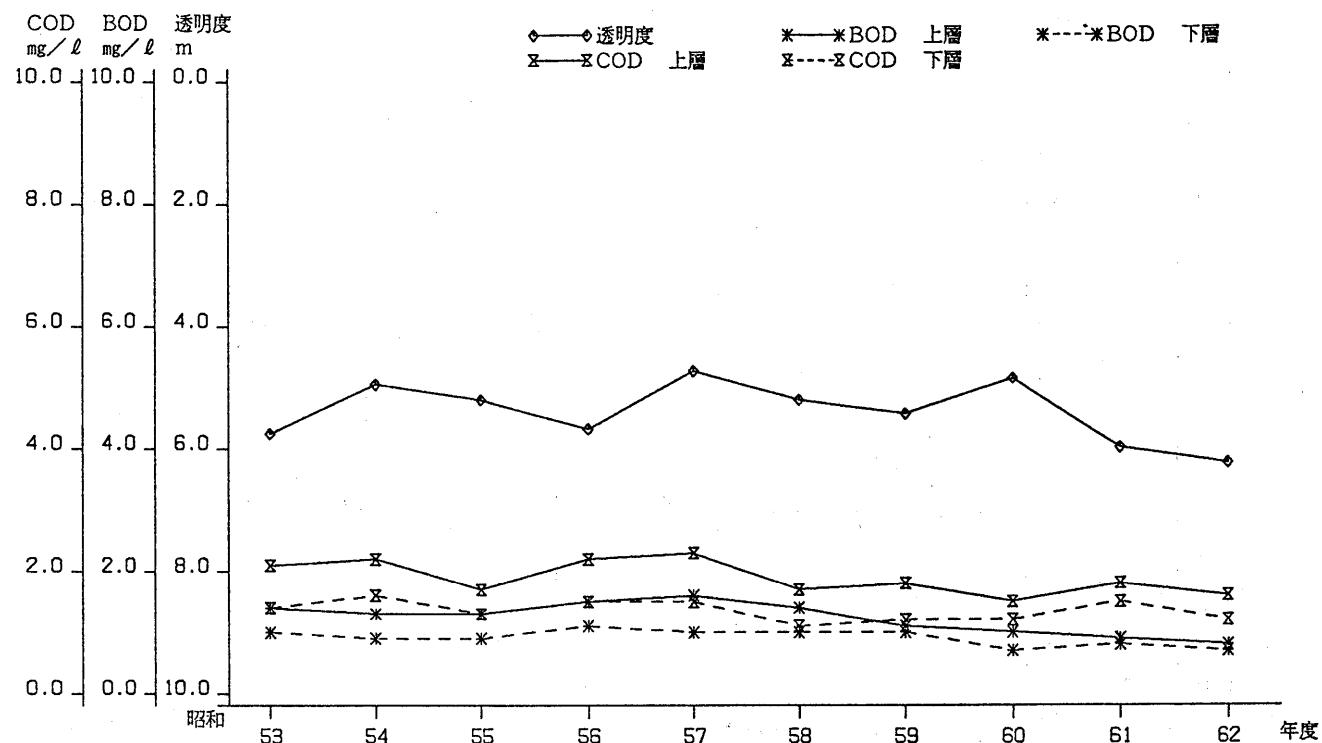
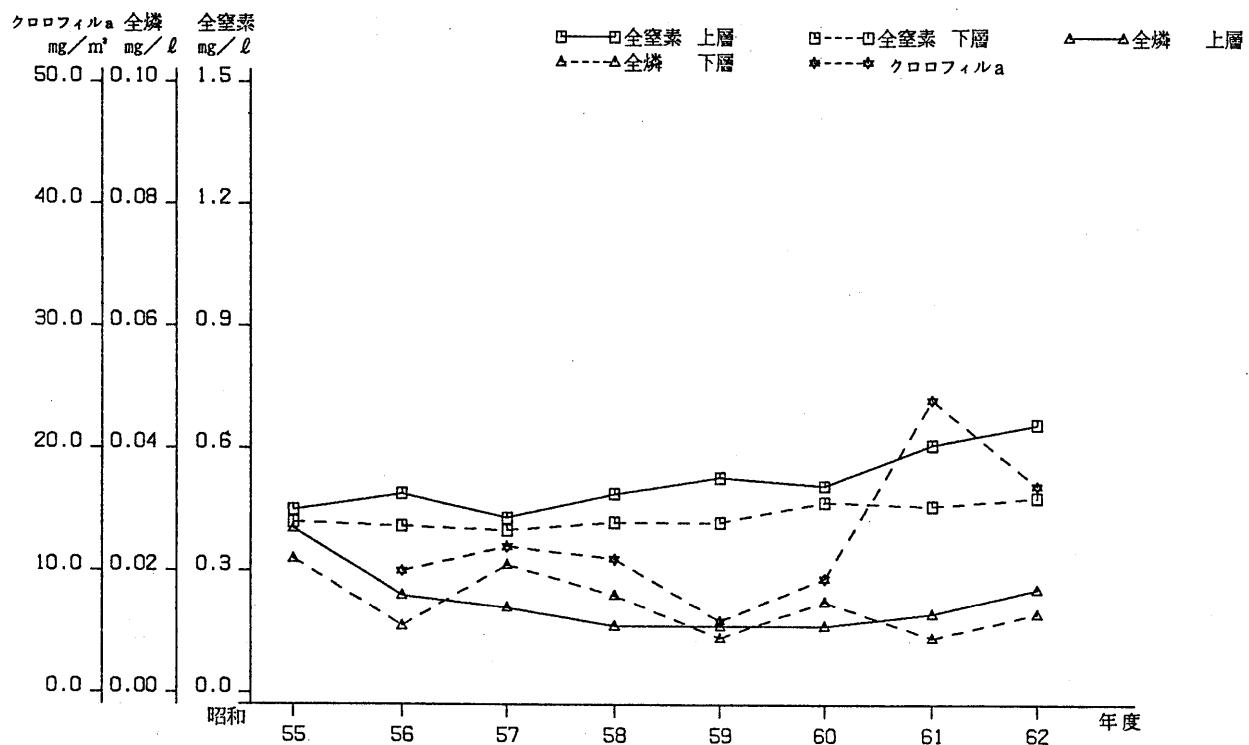
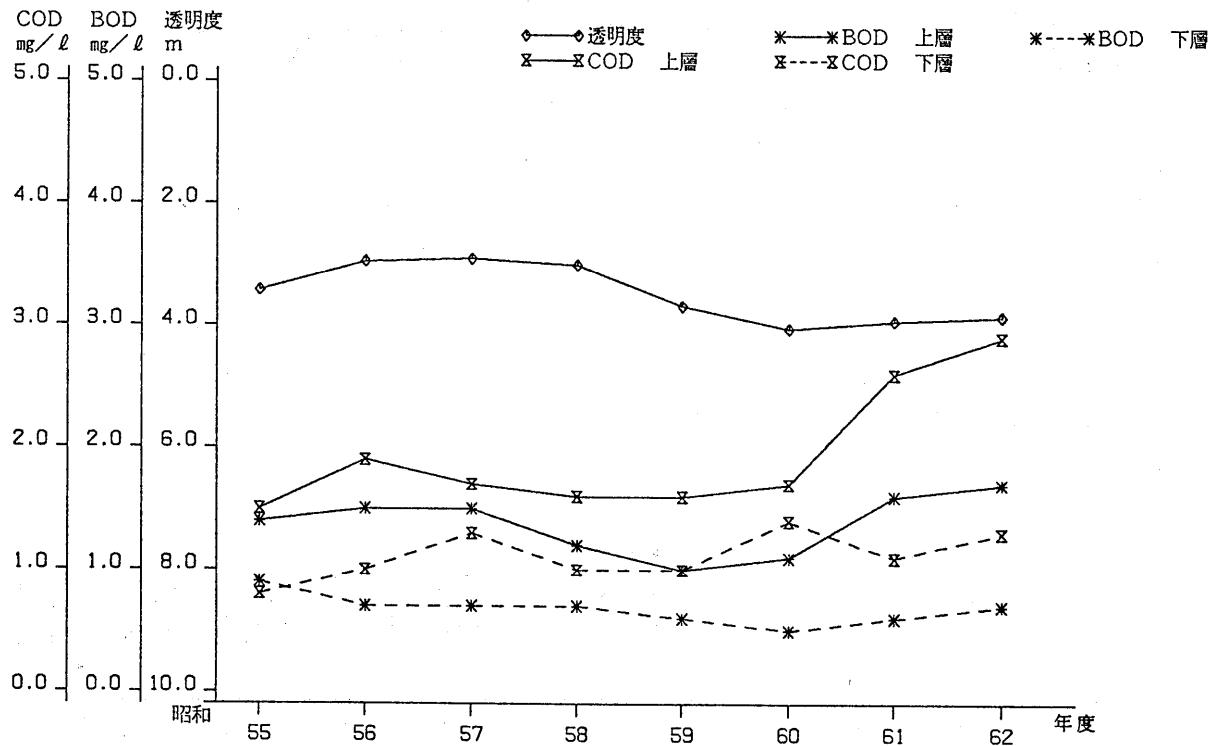


図4-4 丹沢湖



湖沼の主要地点における年平均値の推移  
( 透明度・pH・BOD・COD・全窒素・全磷・クロロフィルa )

図 5 - 1 相模湖( 湖央東部 )

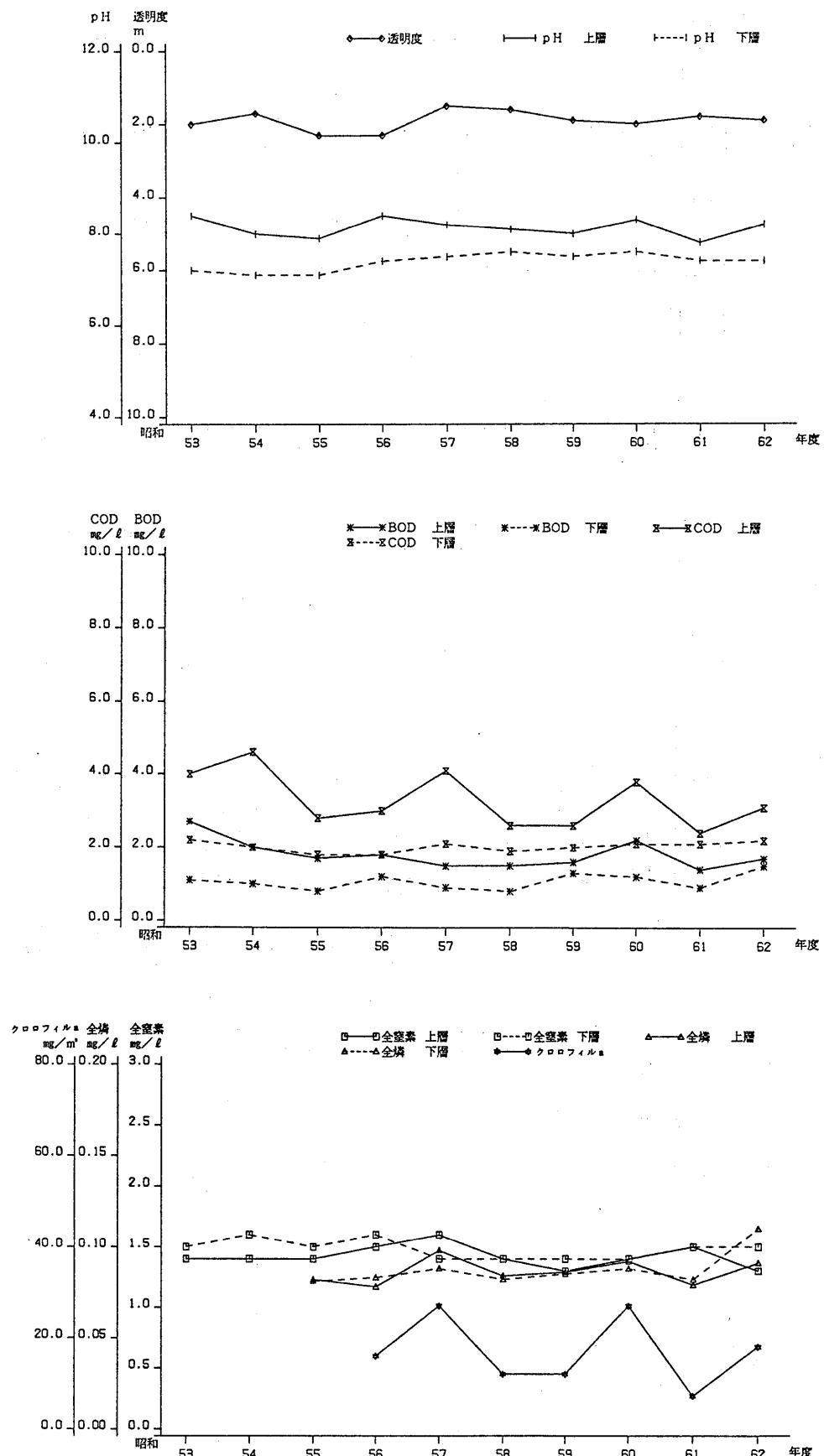


図 5-2 津久井湖(湖中央)

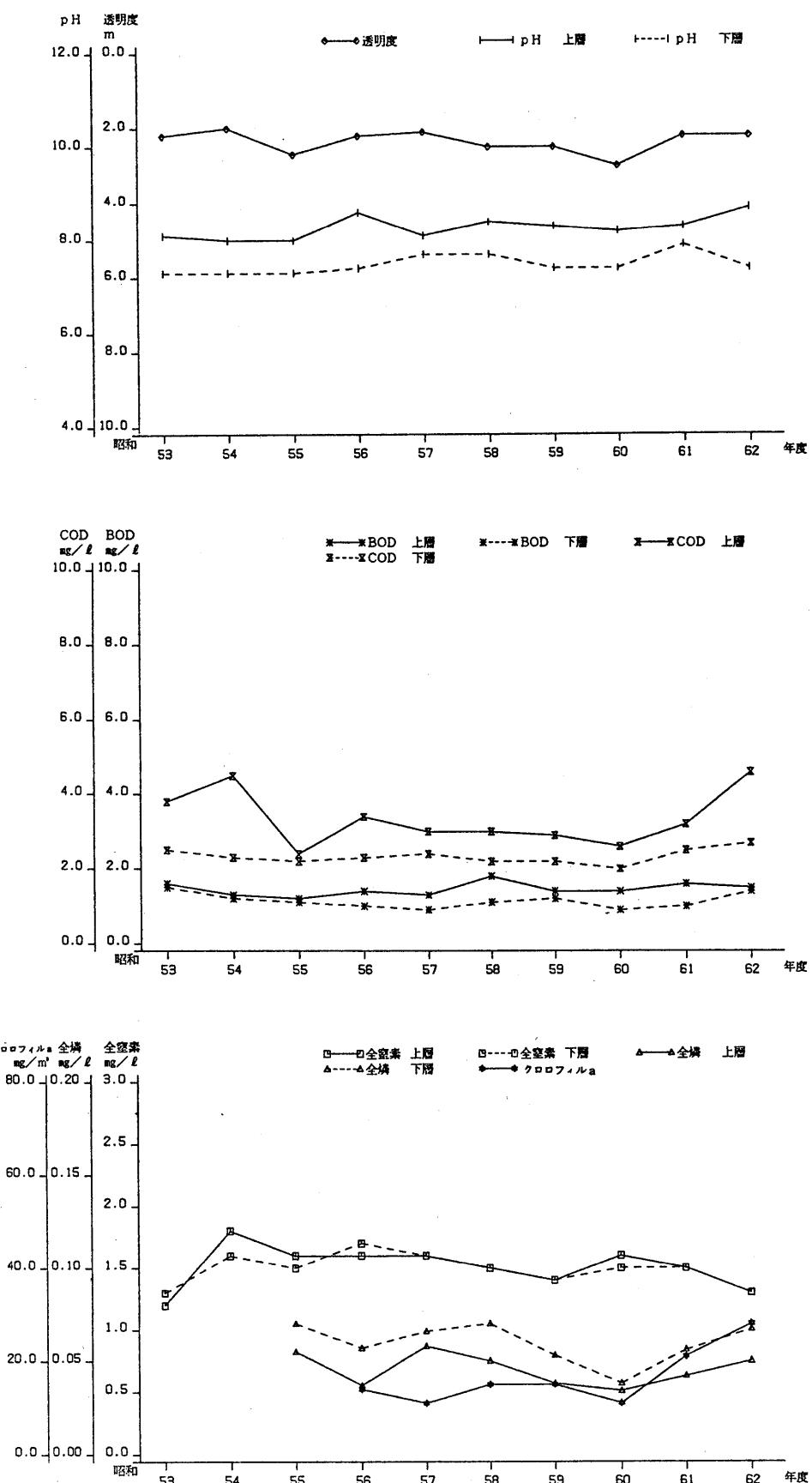


図5-3 芦ノ湖(湖央部)

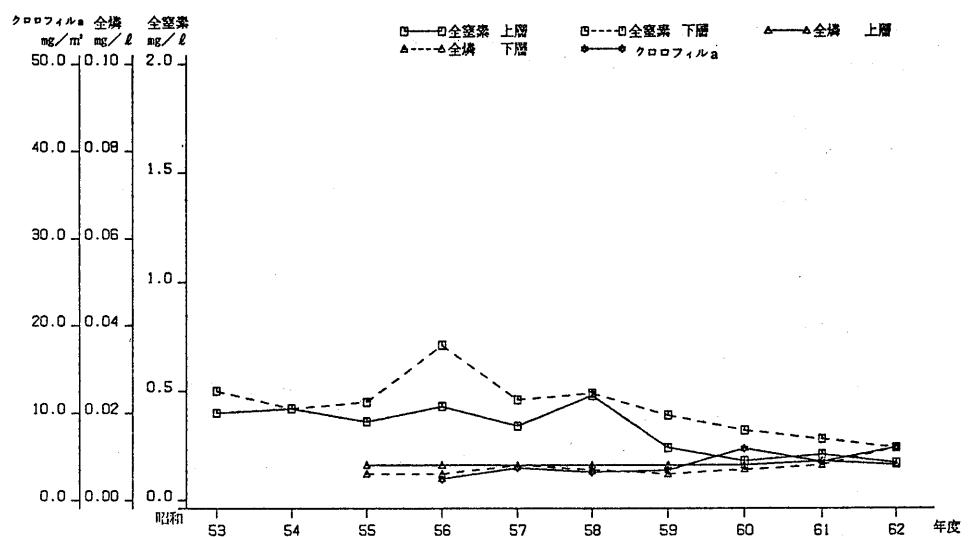
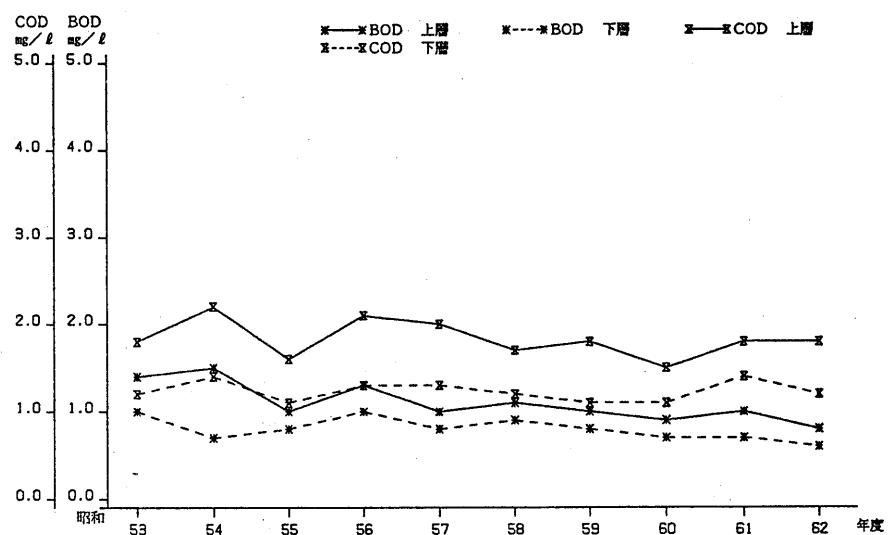
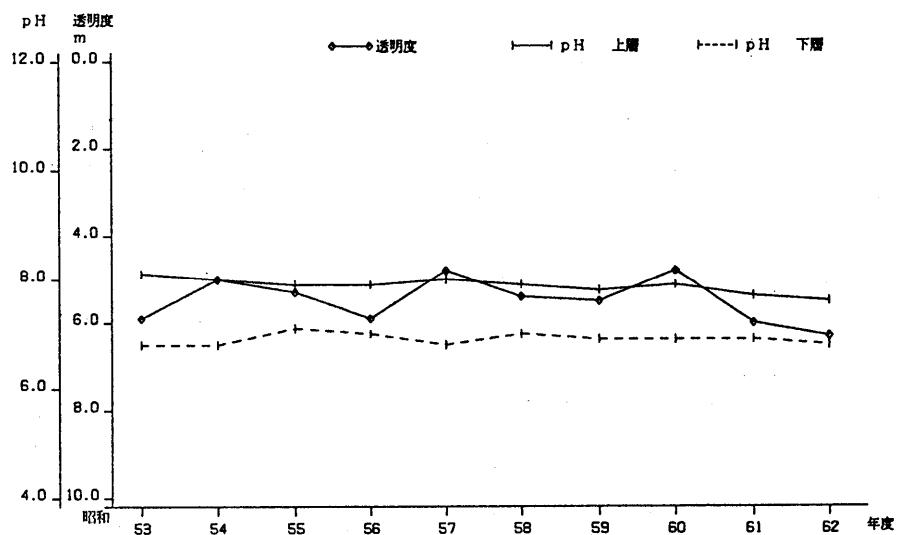
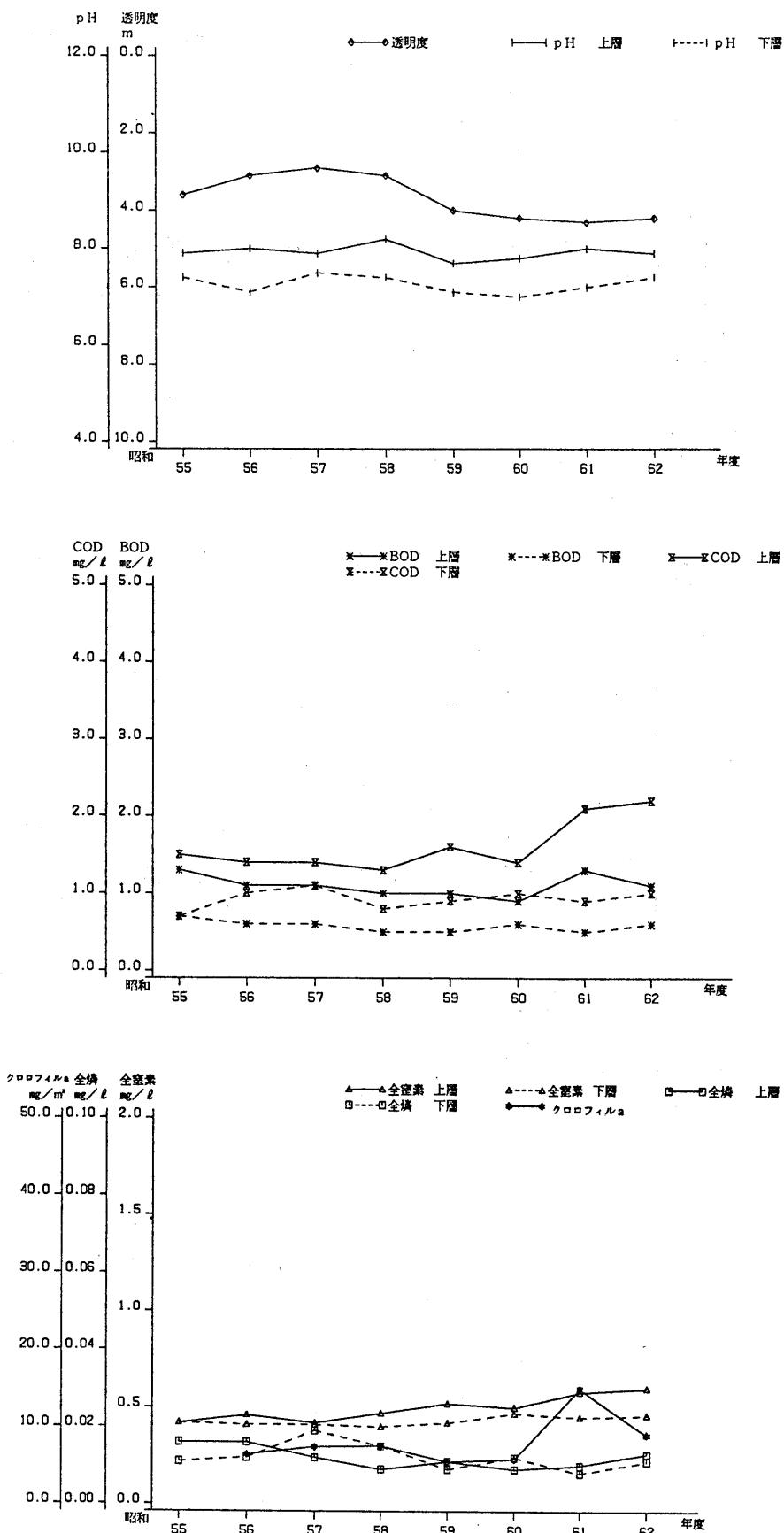


図 5-4 丹沢湖（湖央部）



湖沼の主要地点における月別推移  
(透明度・pH・COD・全窒素・全燐・クロロフィルa)

図 6-1 相模湖(湖央東部)

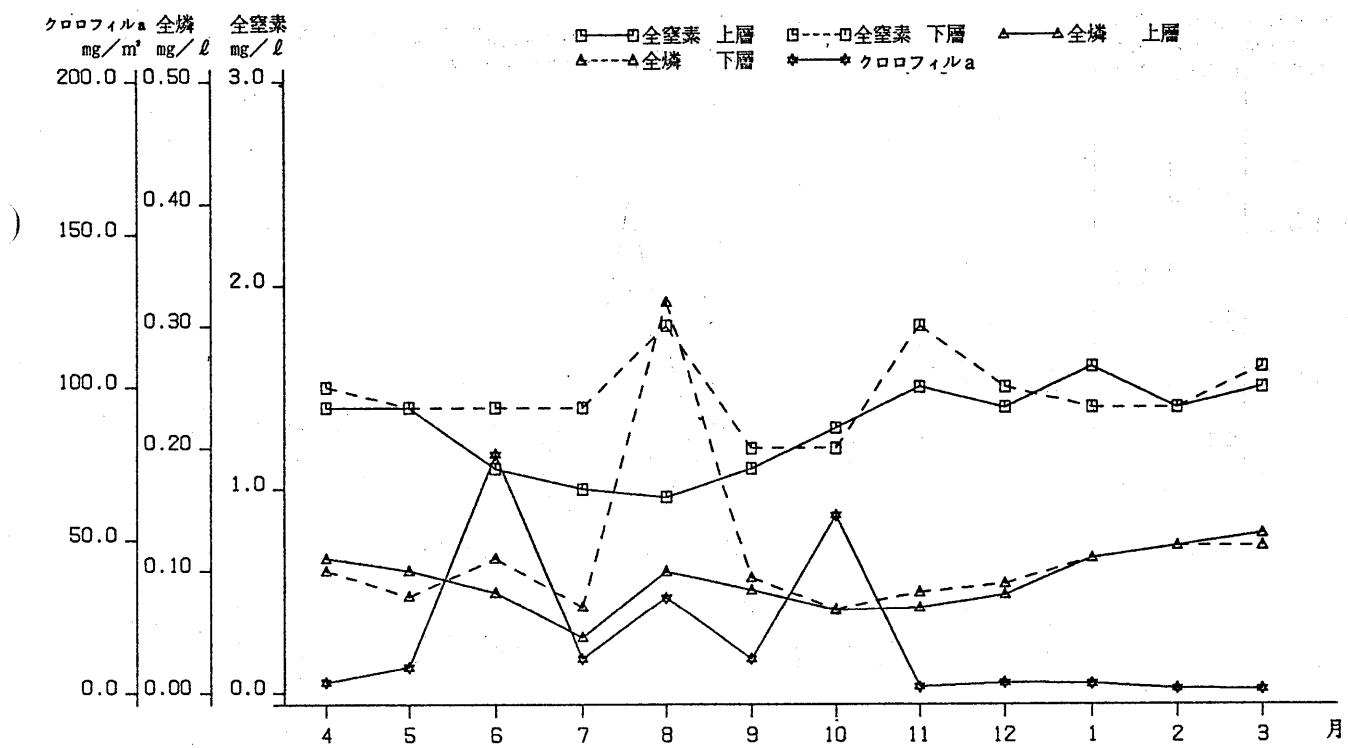
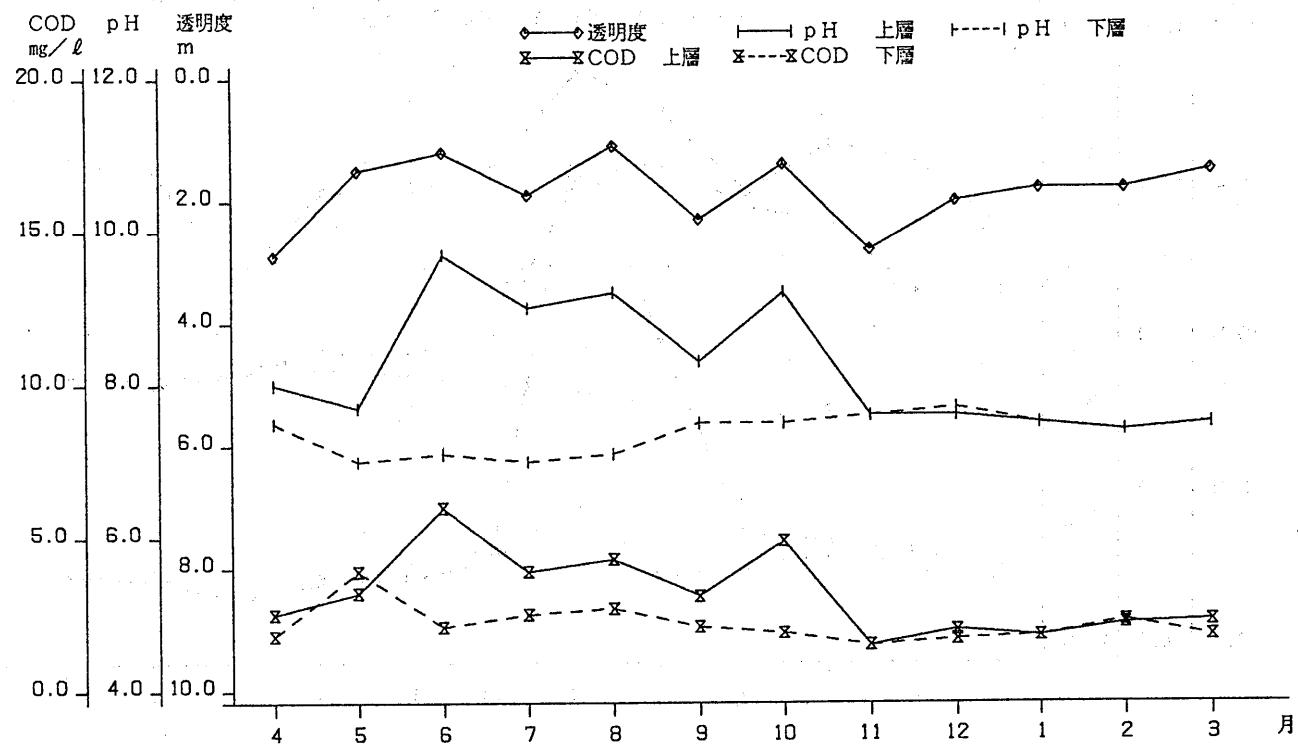


図6-2 津久井湖(湖央部)

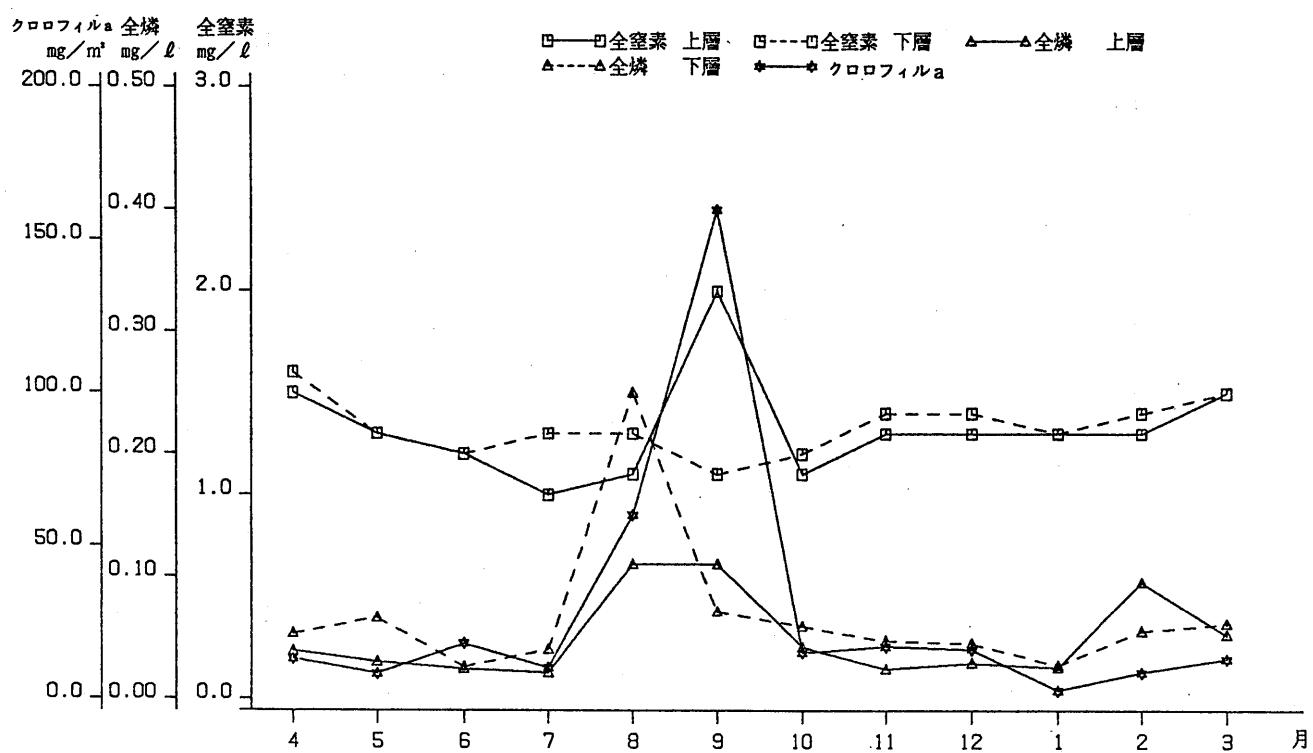
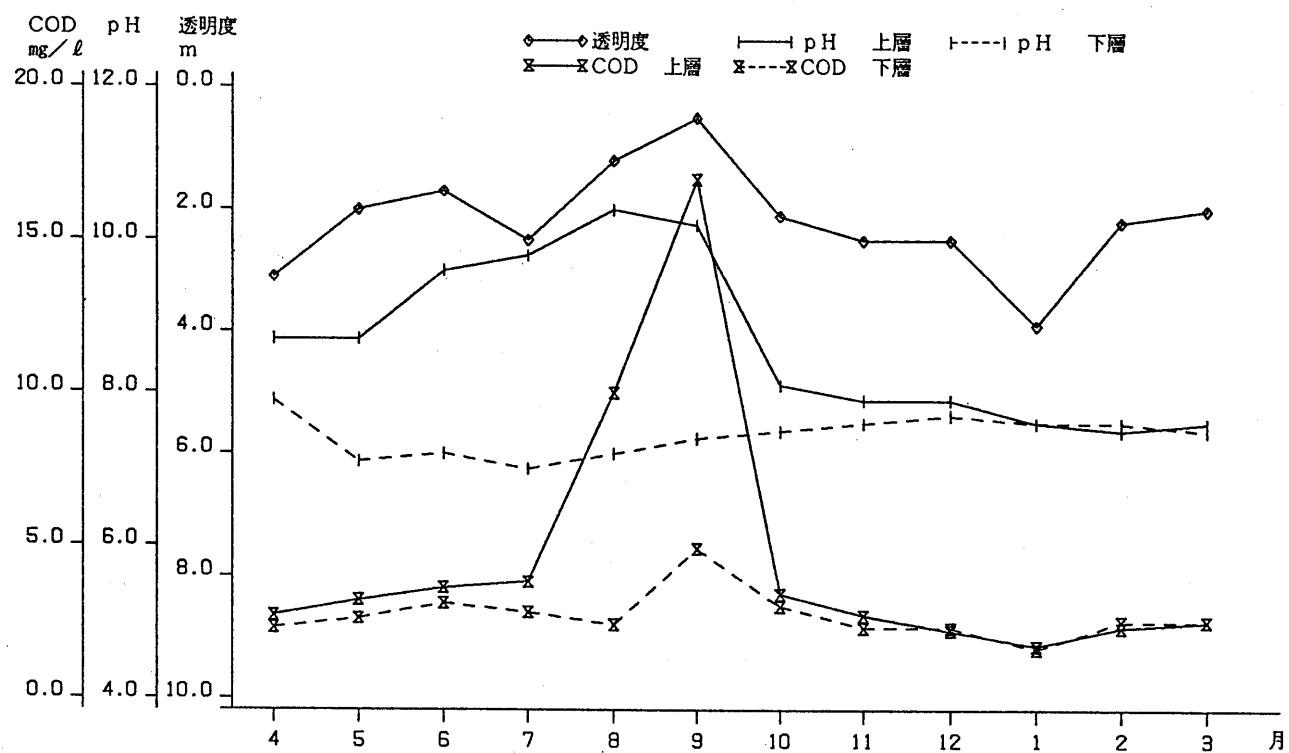


図6-3 芦ノ湖（湖央部）

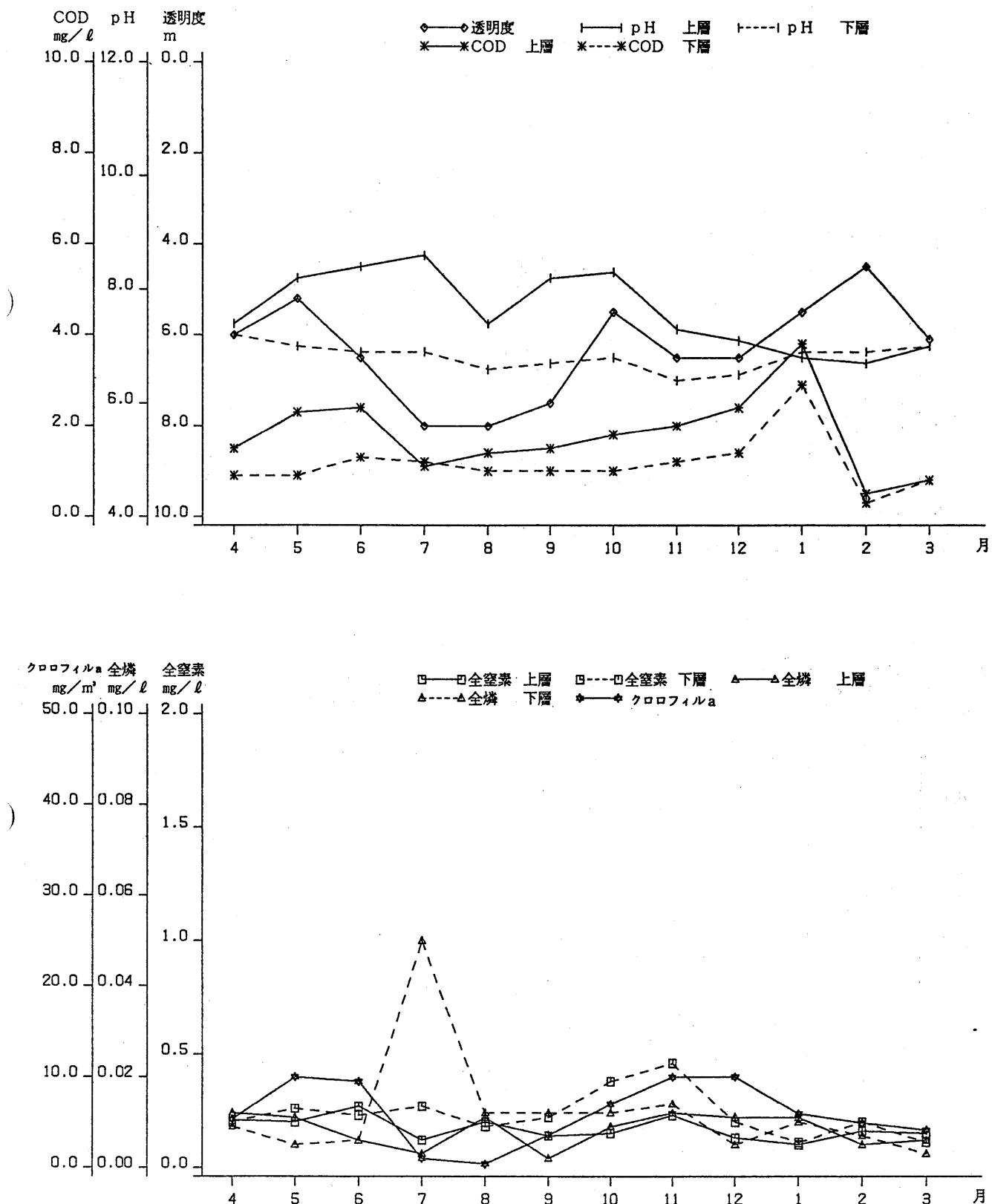
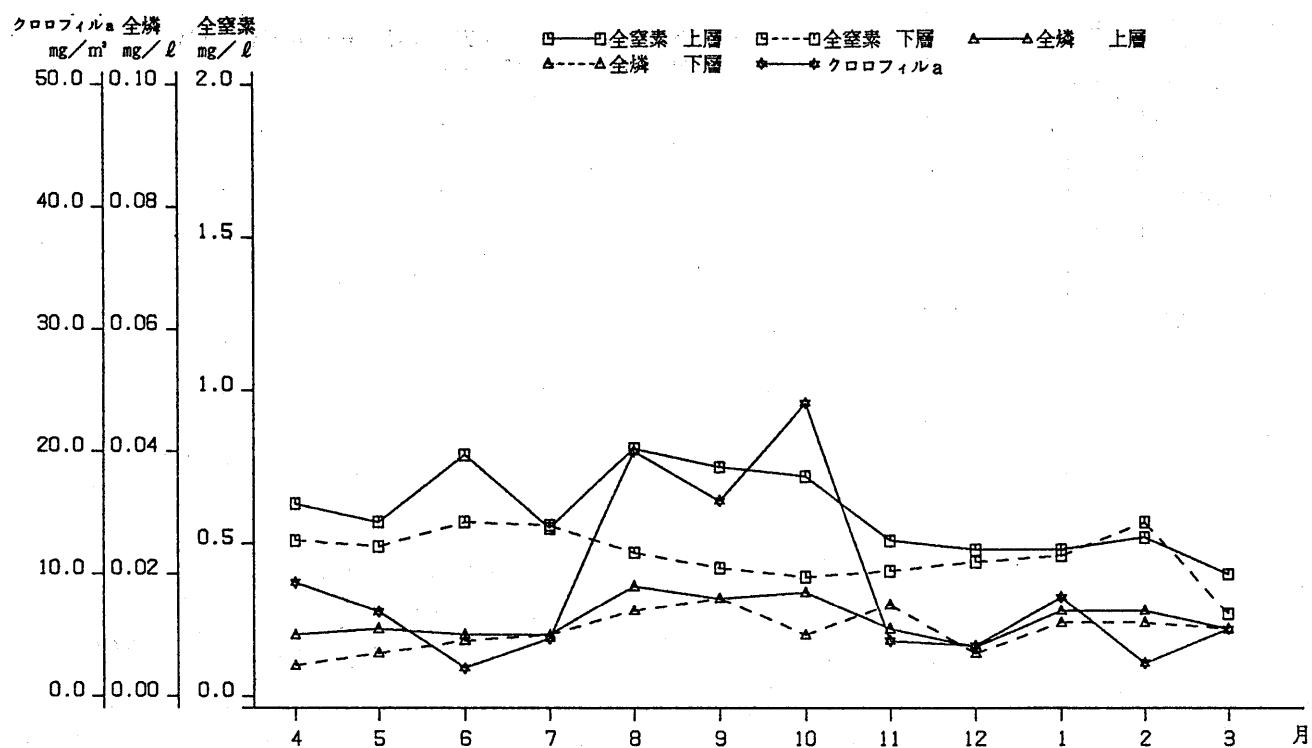
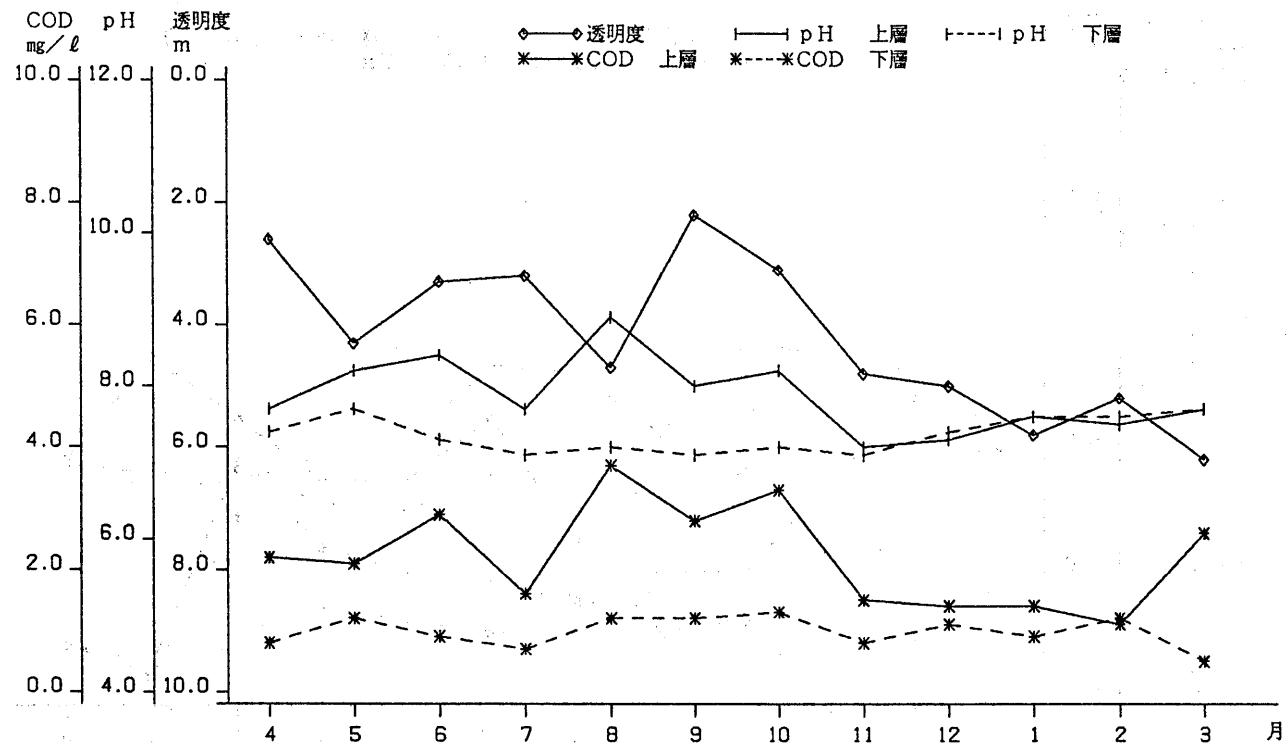


図 6-4 丹沢湖 (湖央部)



# 3 海域

○

○

東京湾における年平均値の推移(全測定地点の平均値)  
(透明度・pH・COD・全窒素・全燐・クロロフィルa)

図7-1 東京湾(全域)

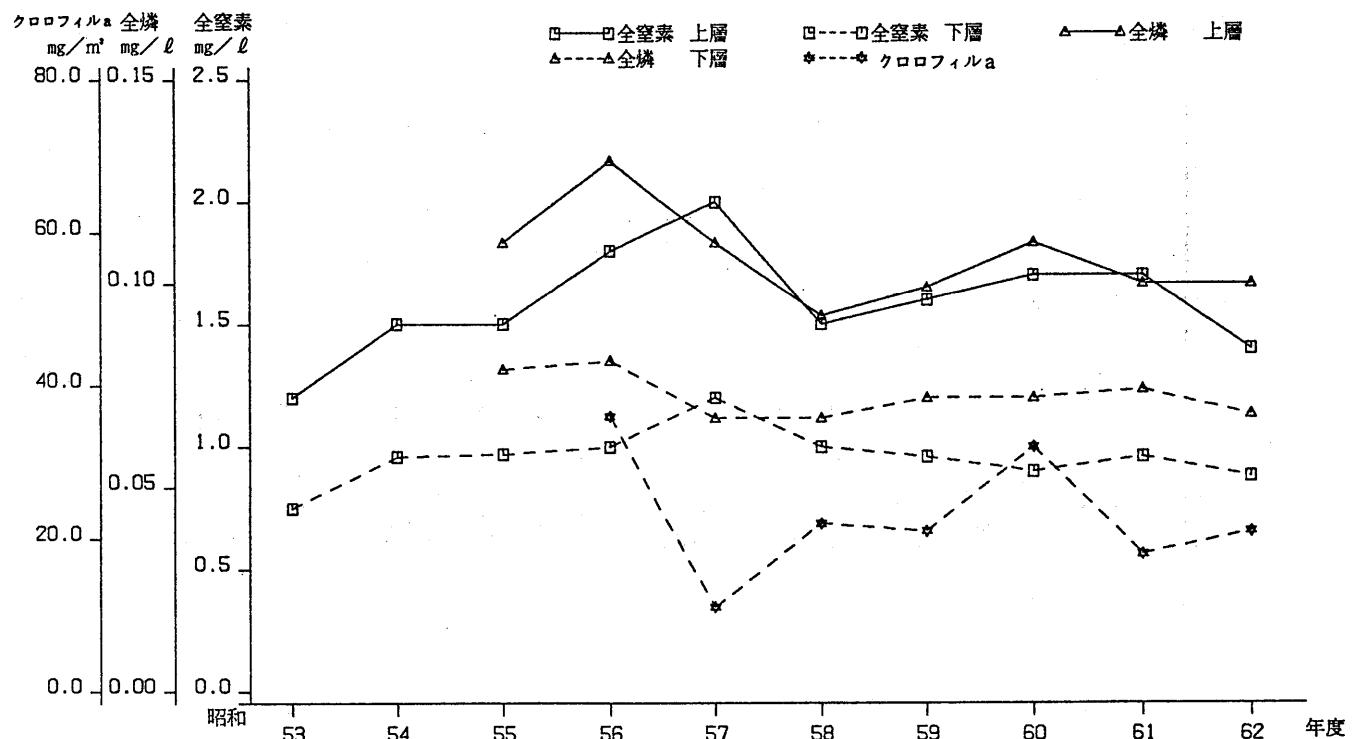
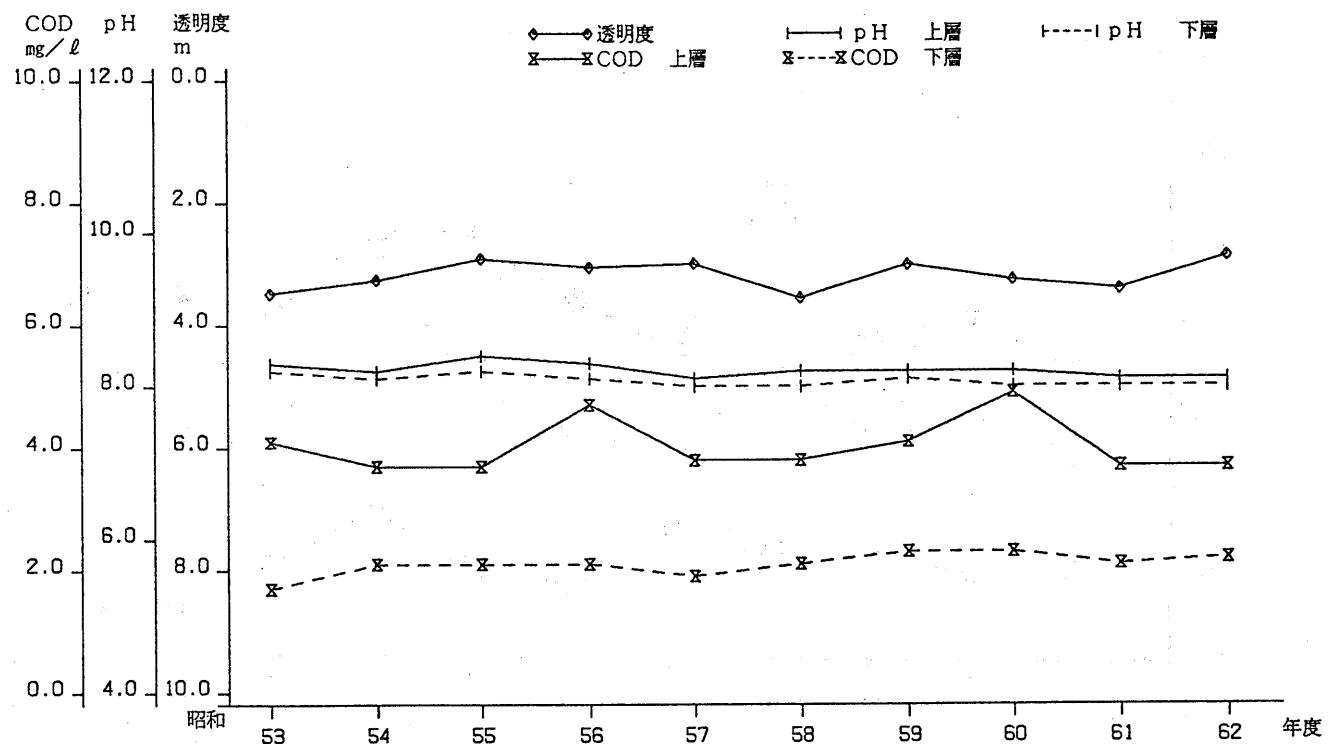
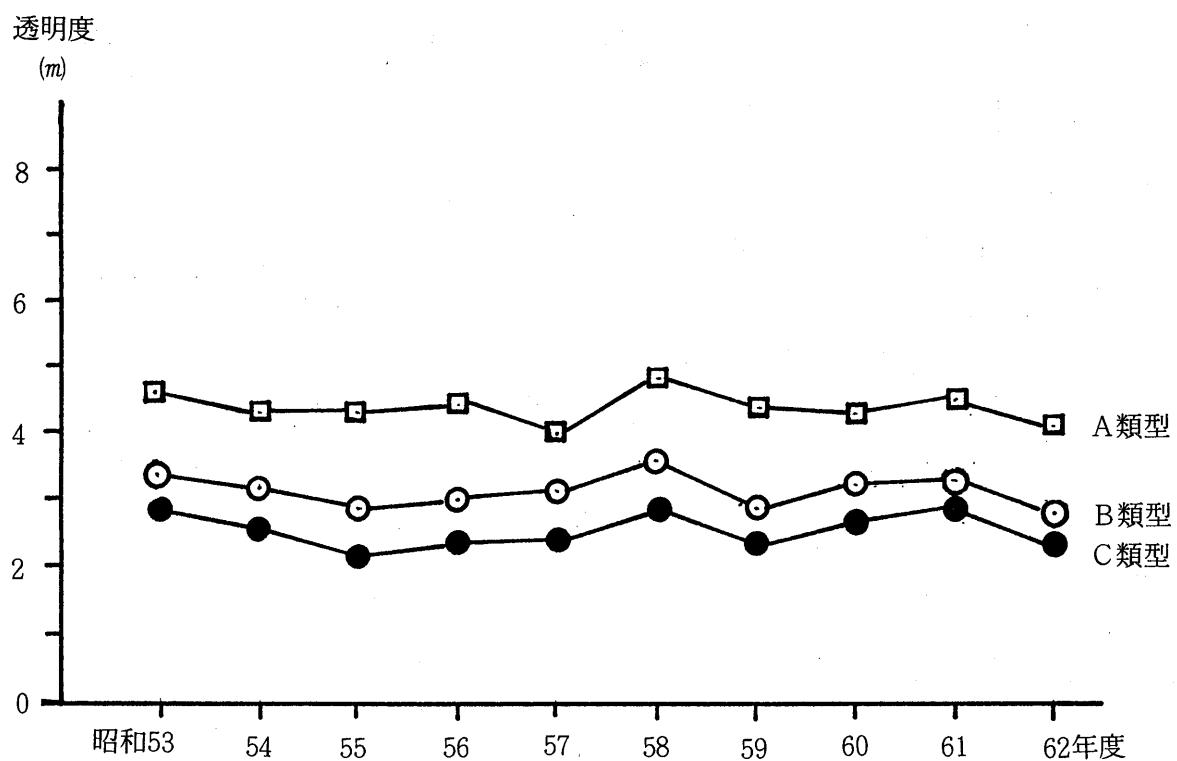
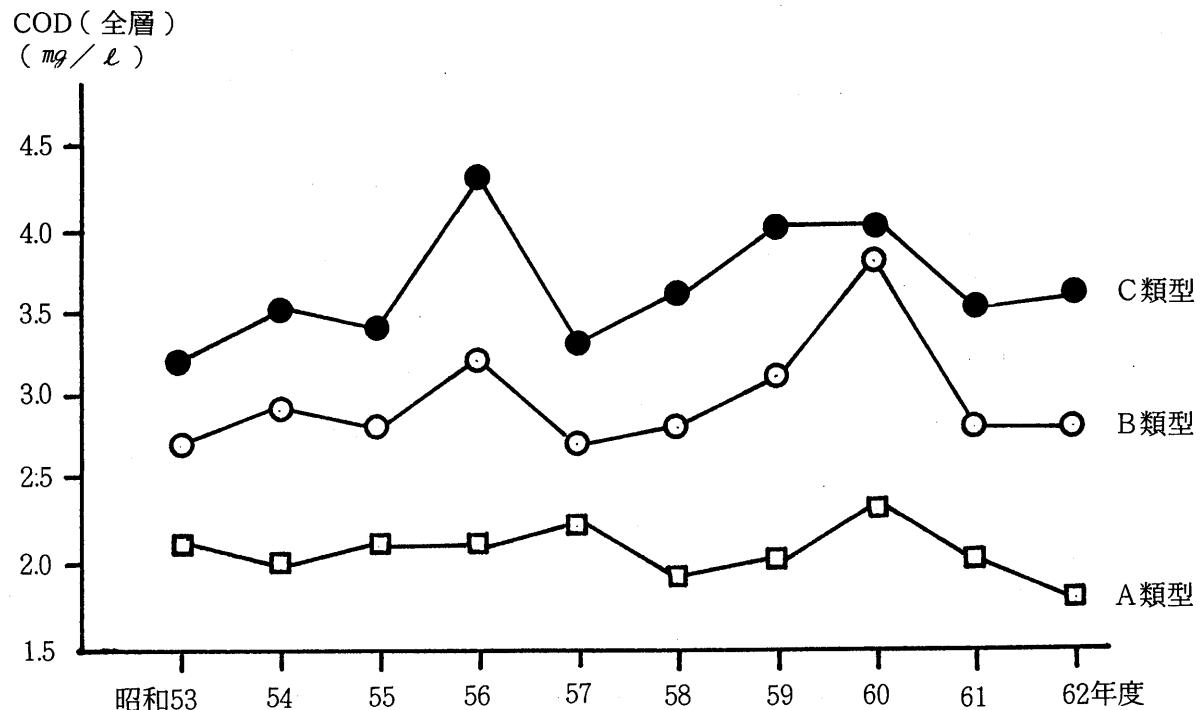
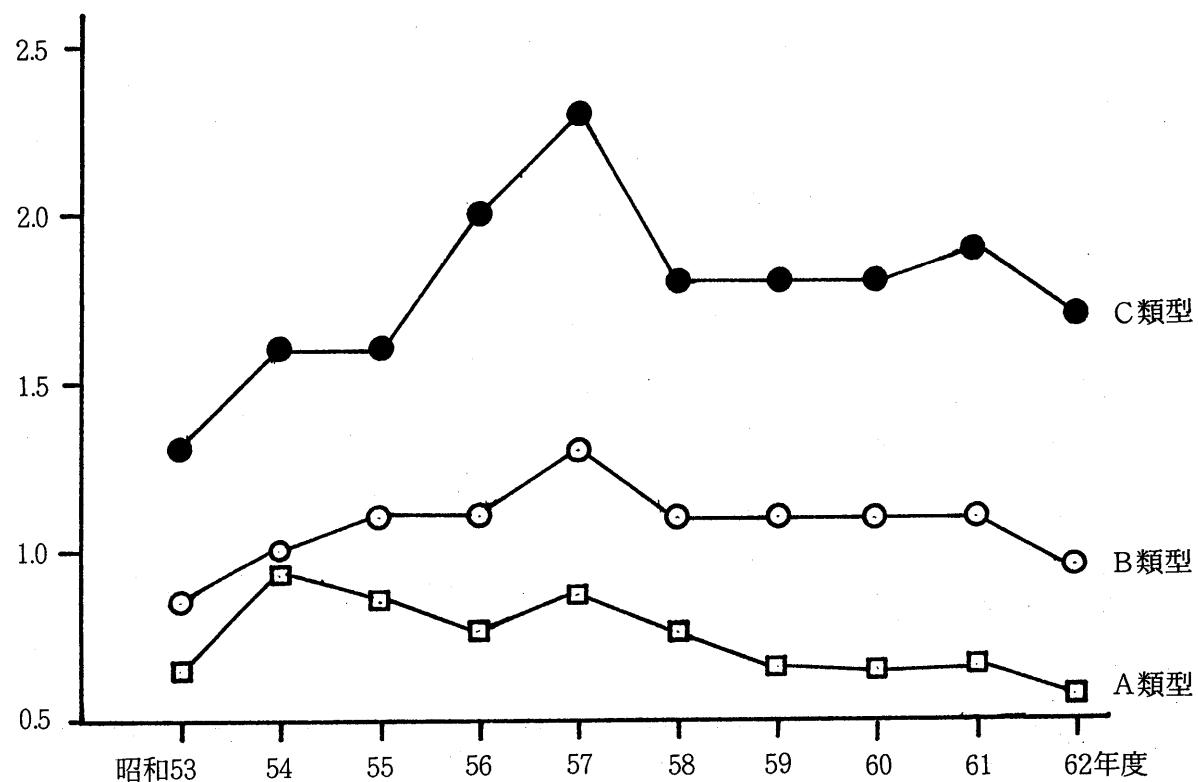


図7-2 東京湾(類型別)  
(COD・透明度・全窒素・全燐)



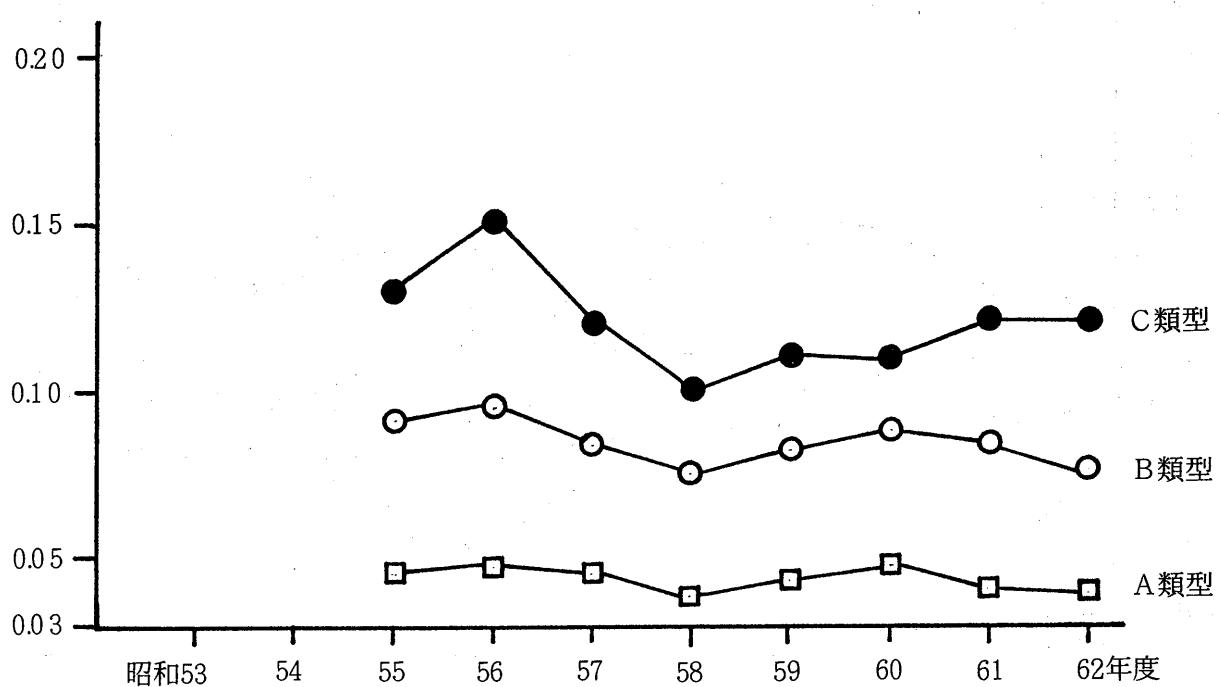
全窒素(全層)

(mg/l)



全 磷(全層)

(mg/l)



東京湾の主要地点における年平均値の推移  
(透明度・pH・COD・全窒素・全燐・クロロフィルa)

図8-1 横浜港内

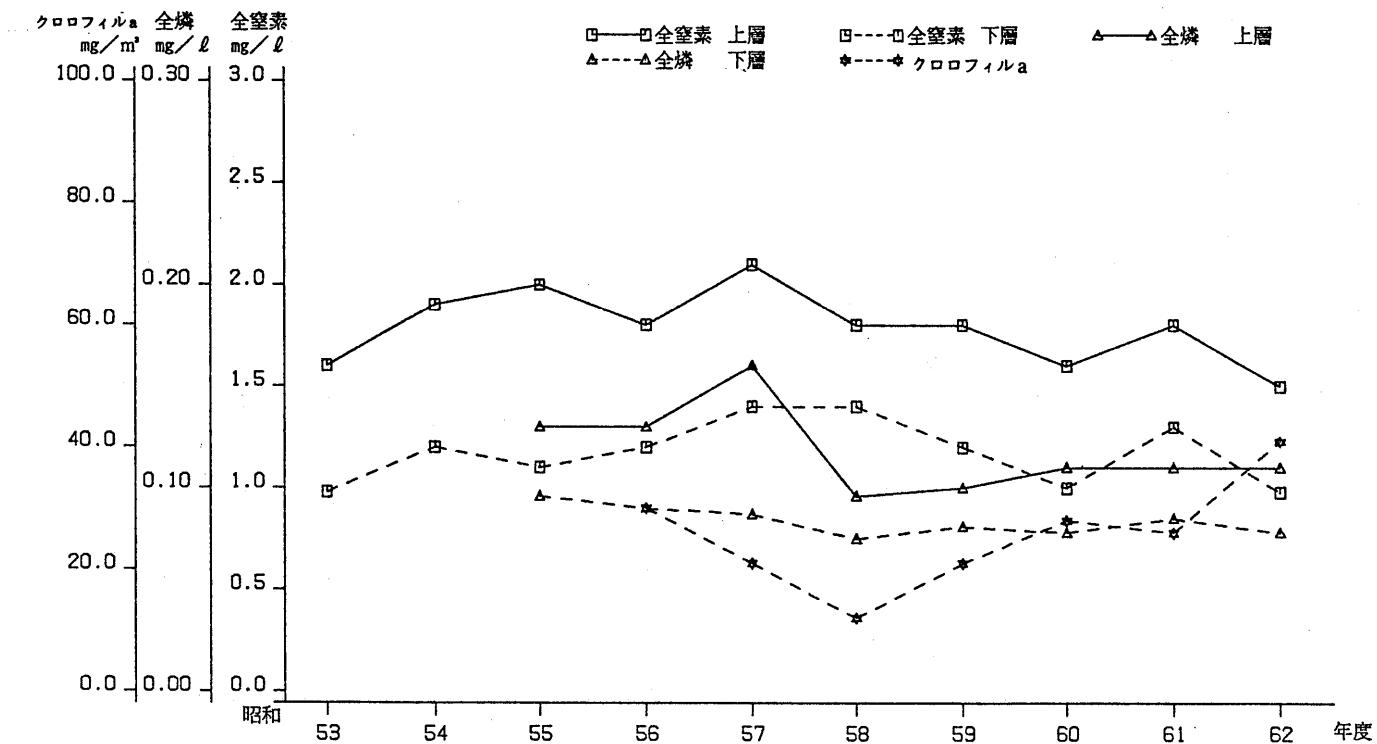
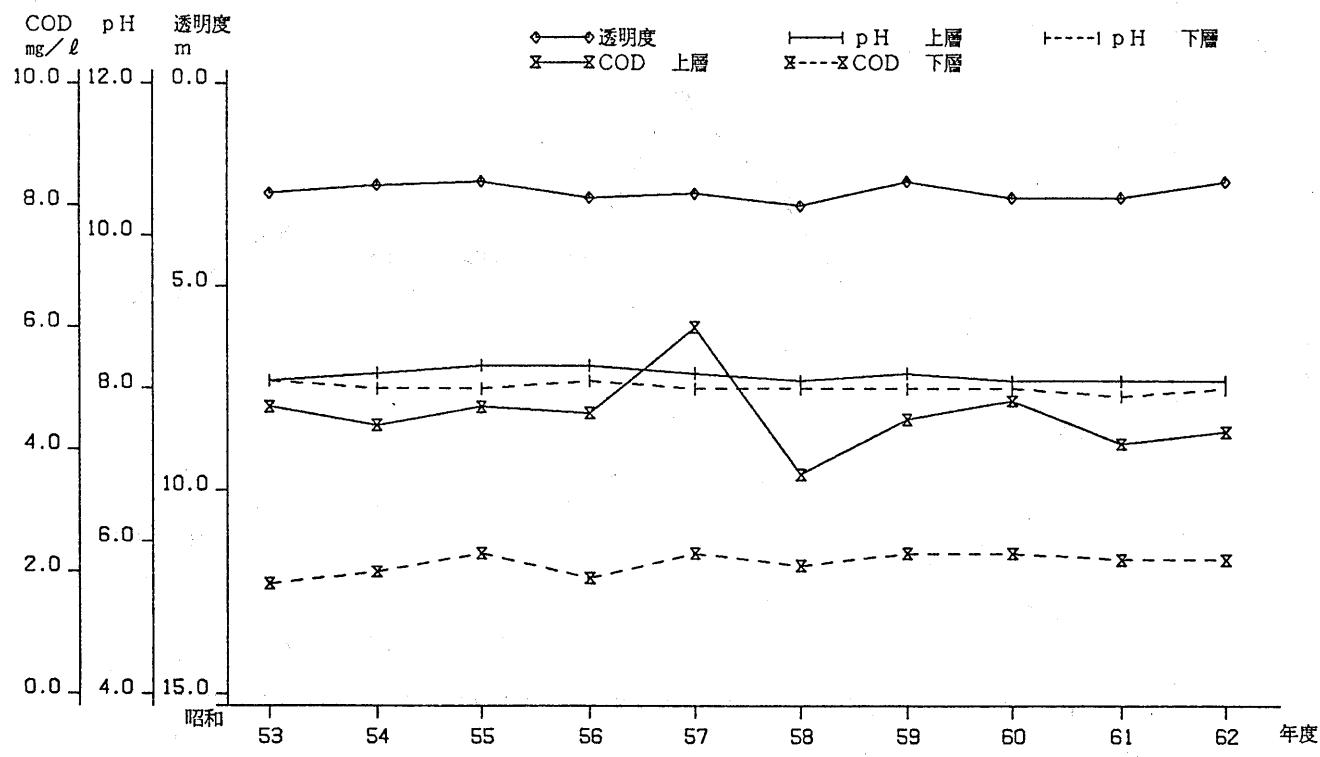


図 8-2 千鳥町沖

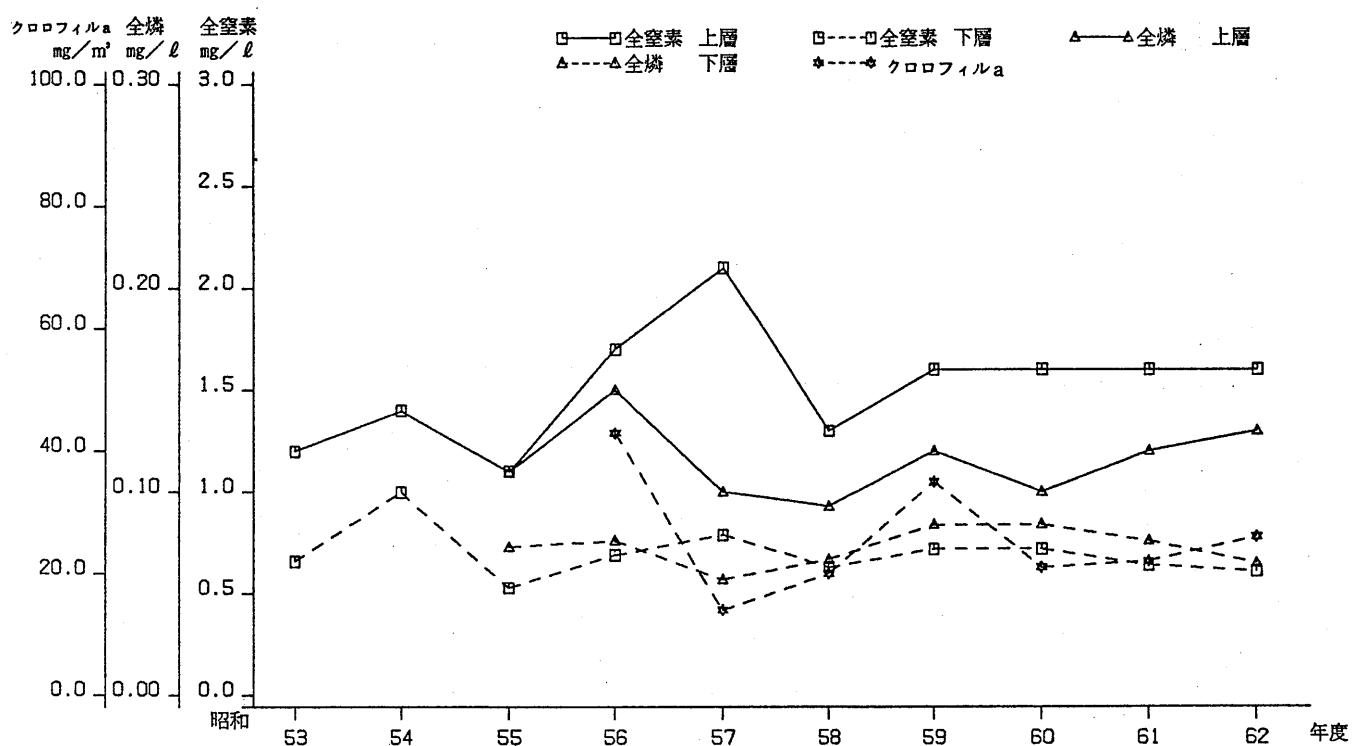
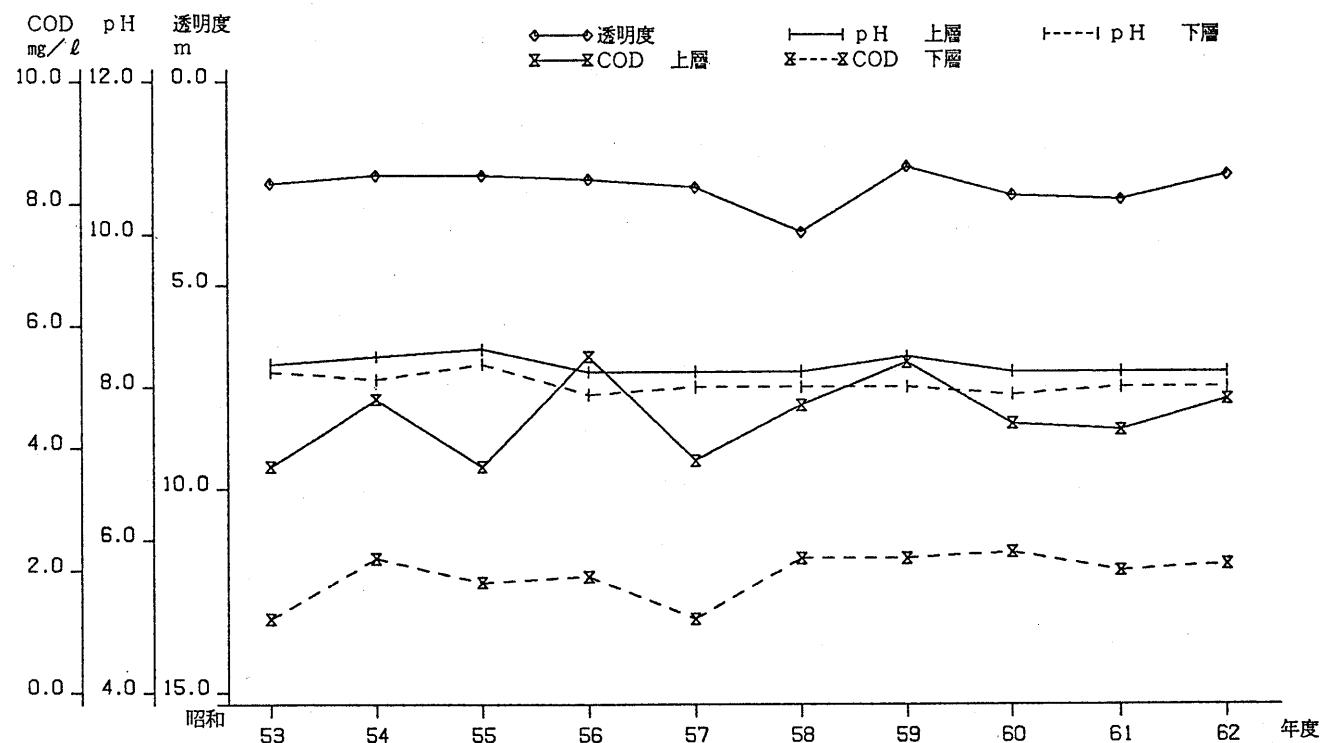


図8-3 富岡沖

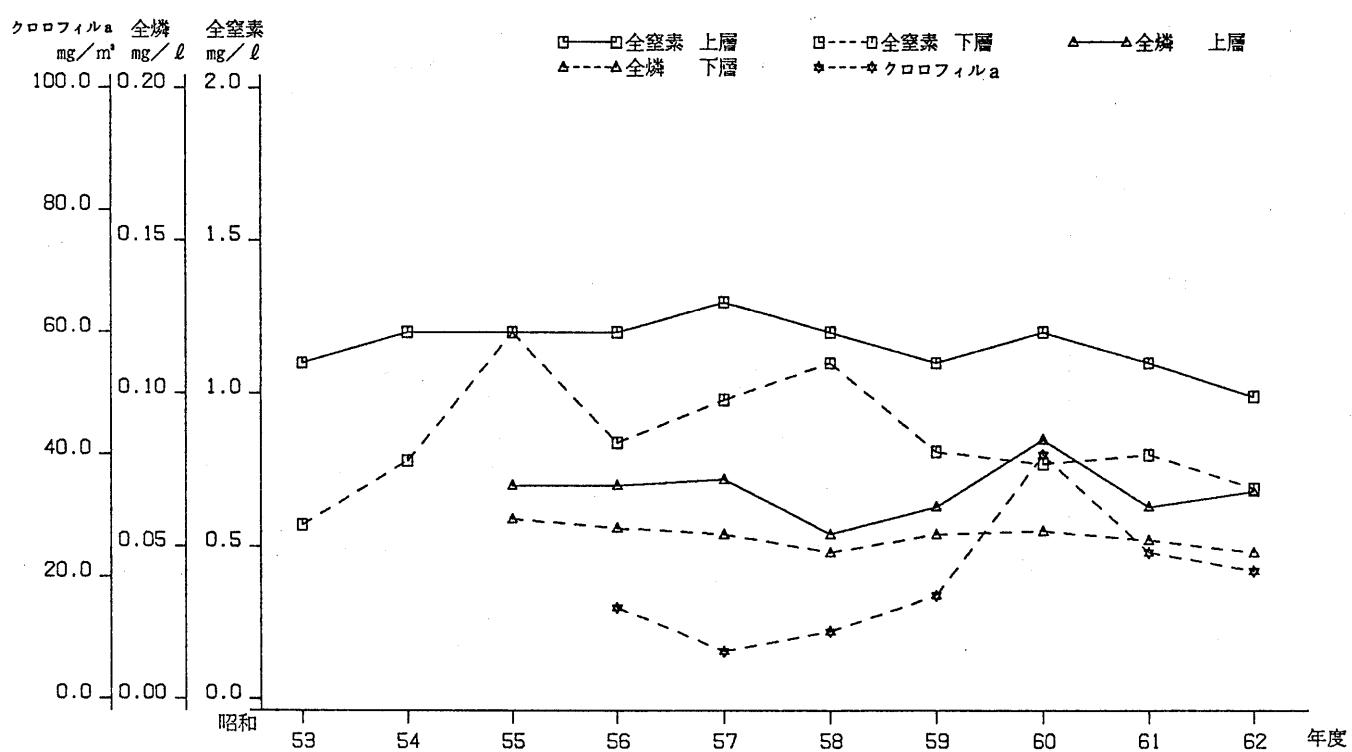
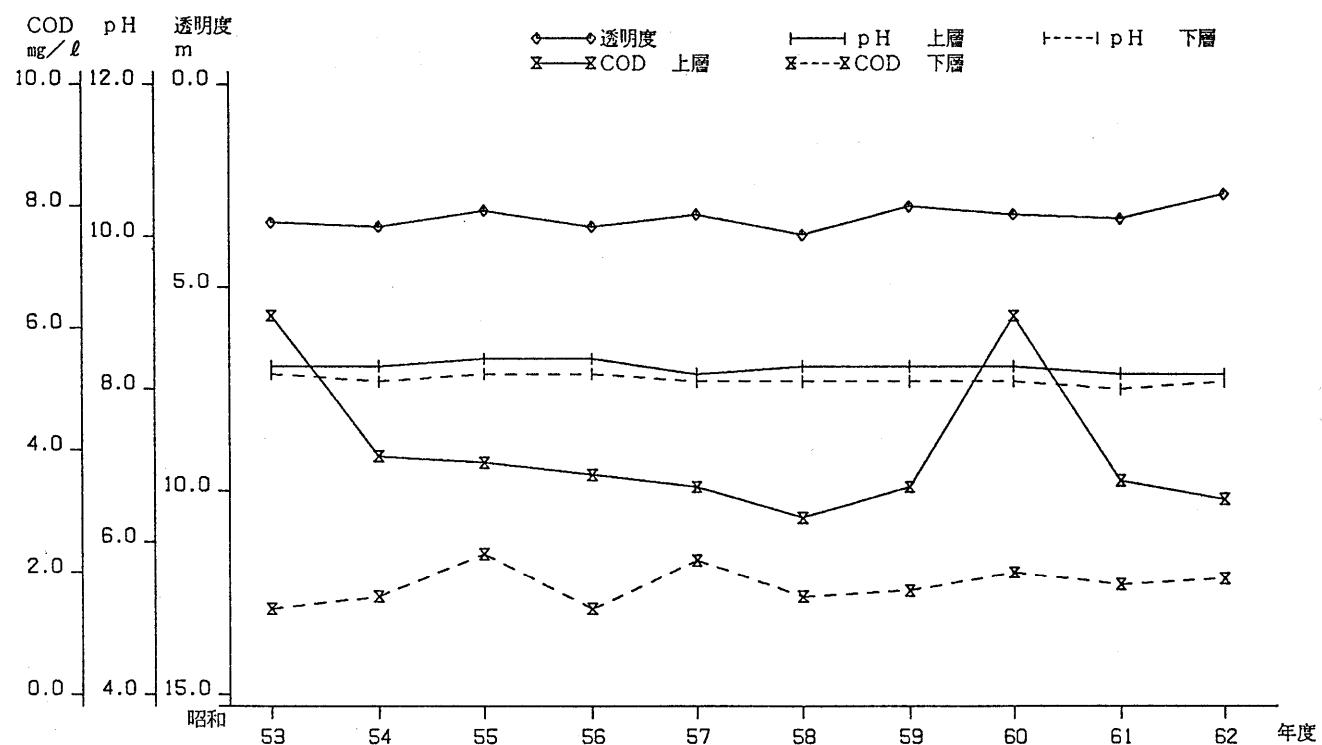


図8-4 大津湾

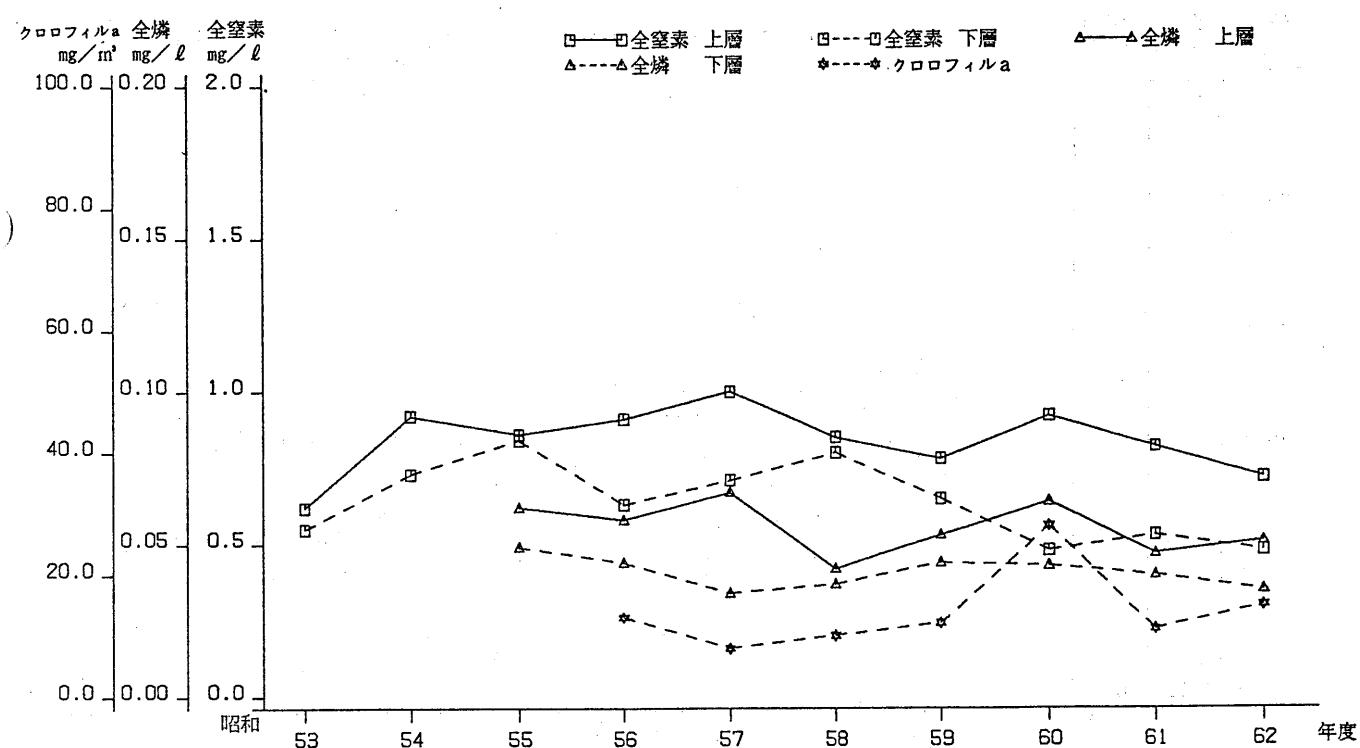
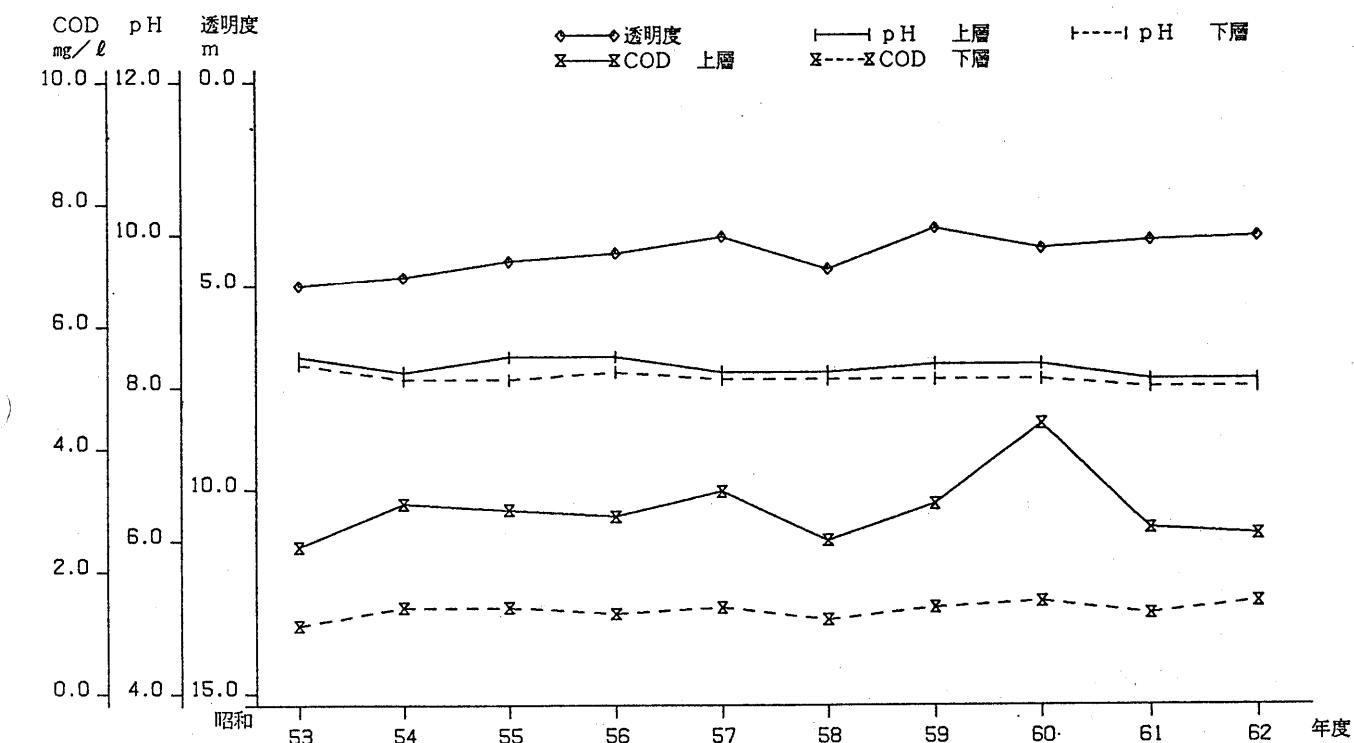


図8-5 中の瀬南

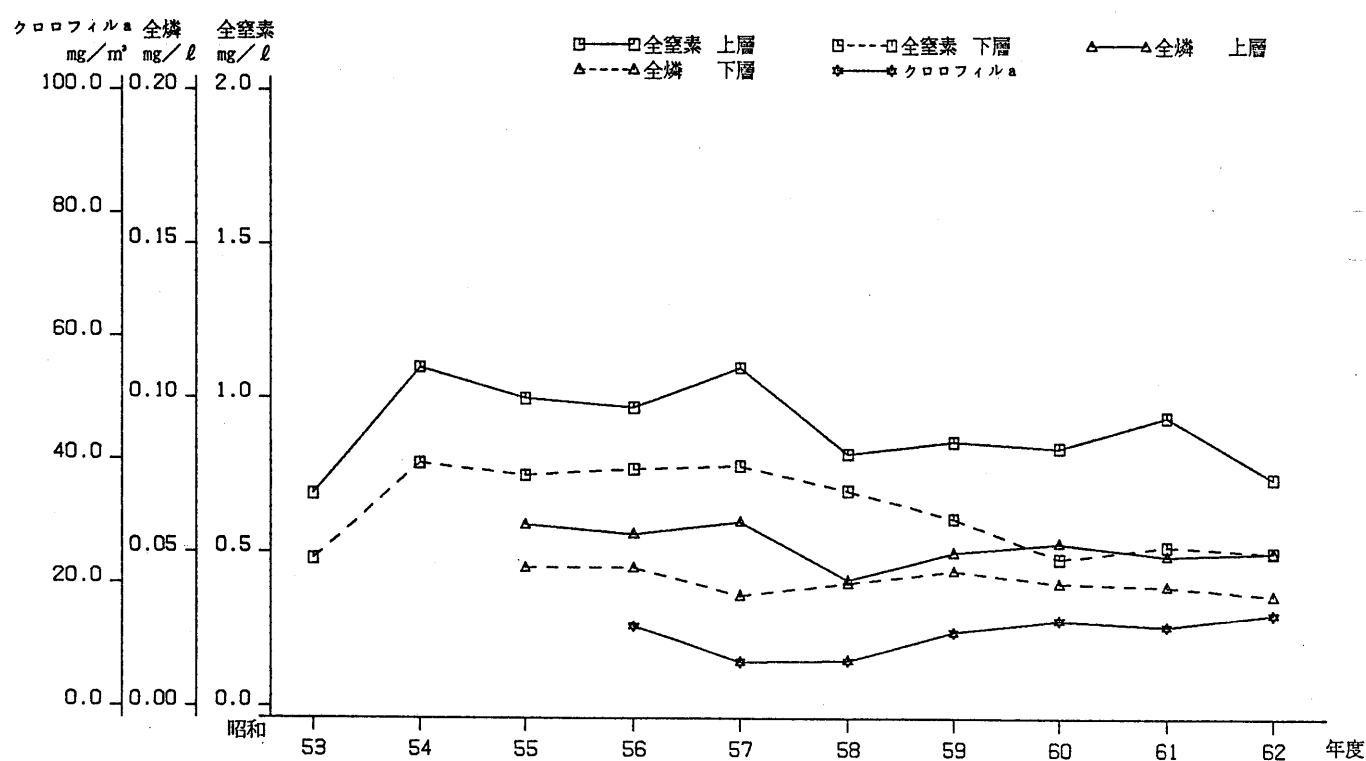
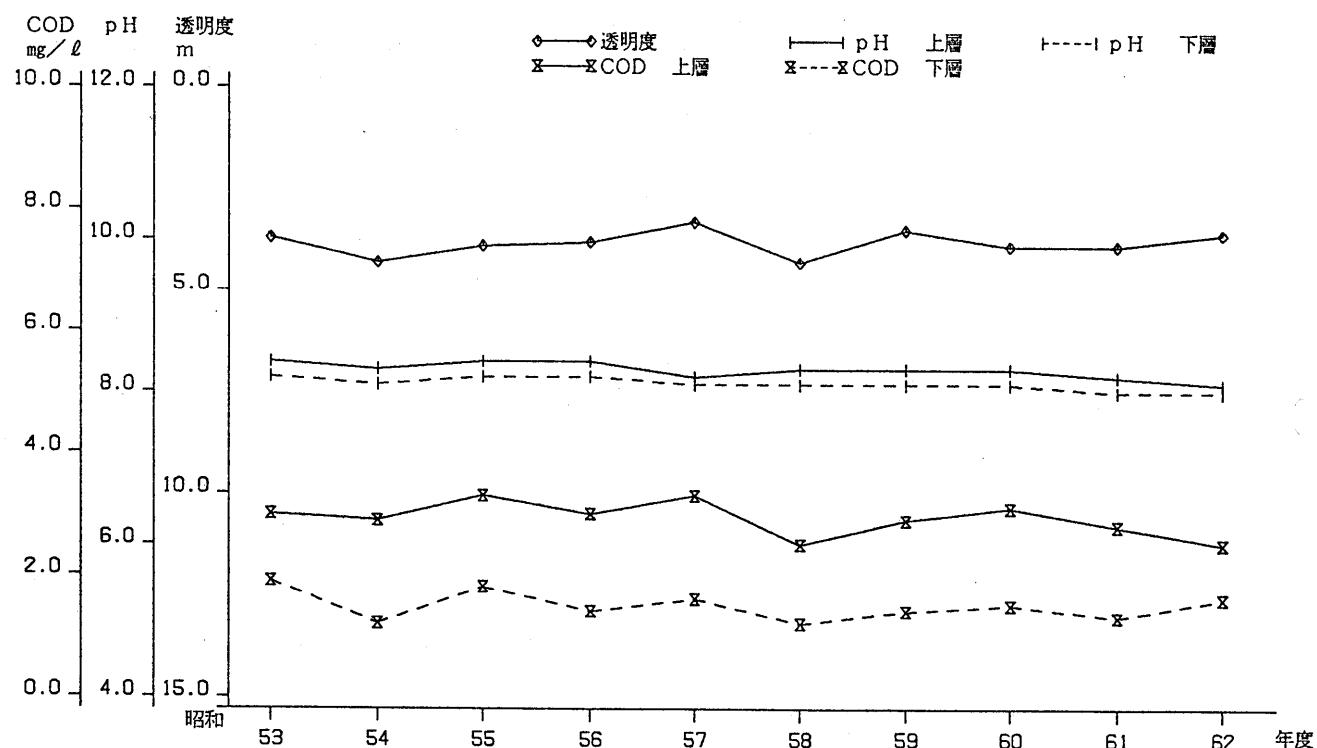
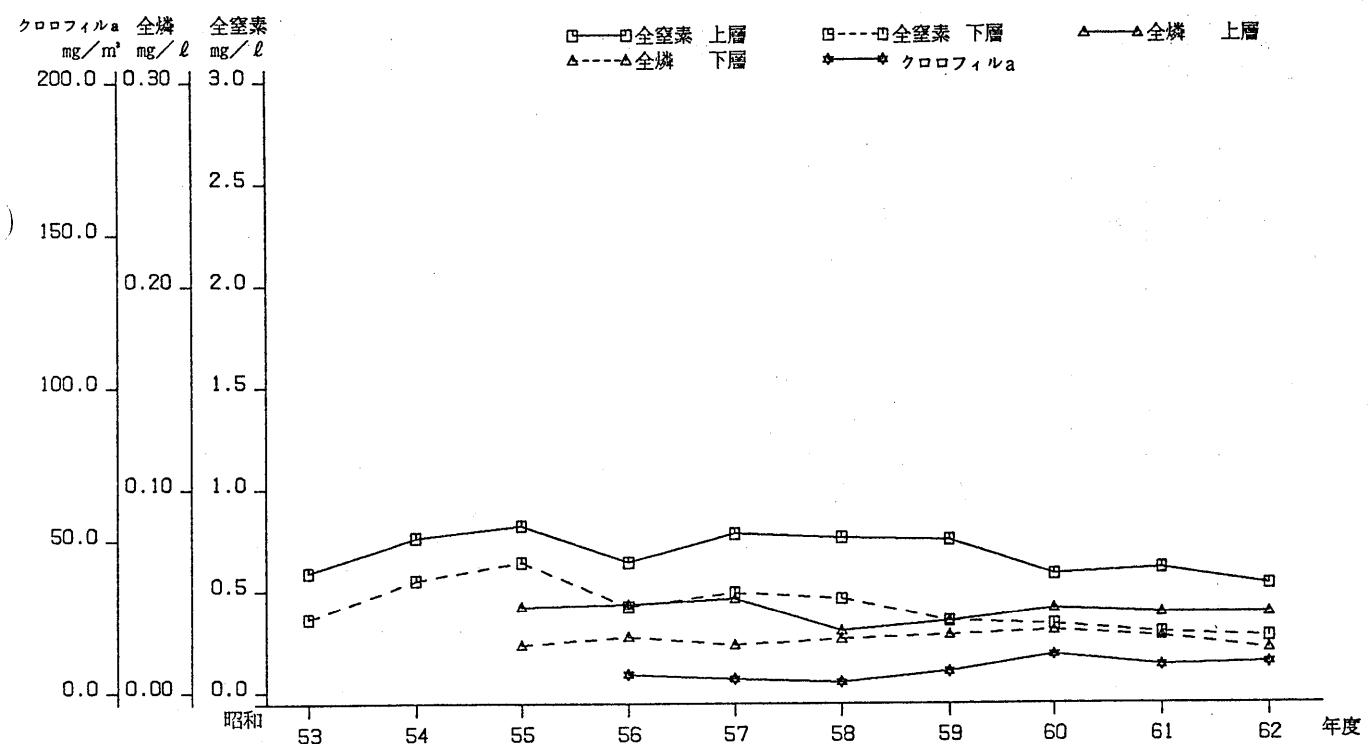
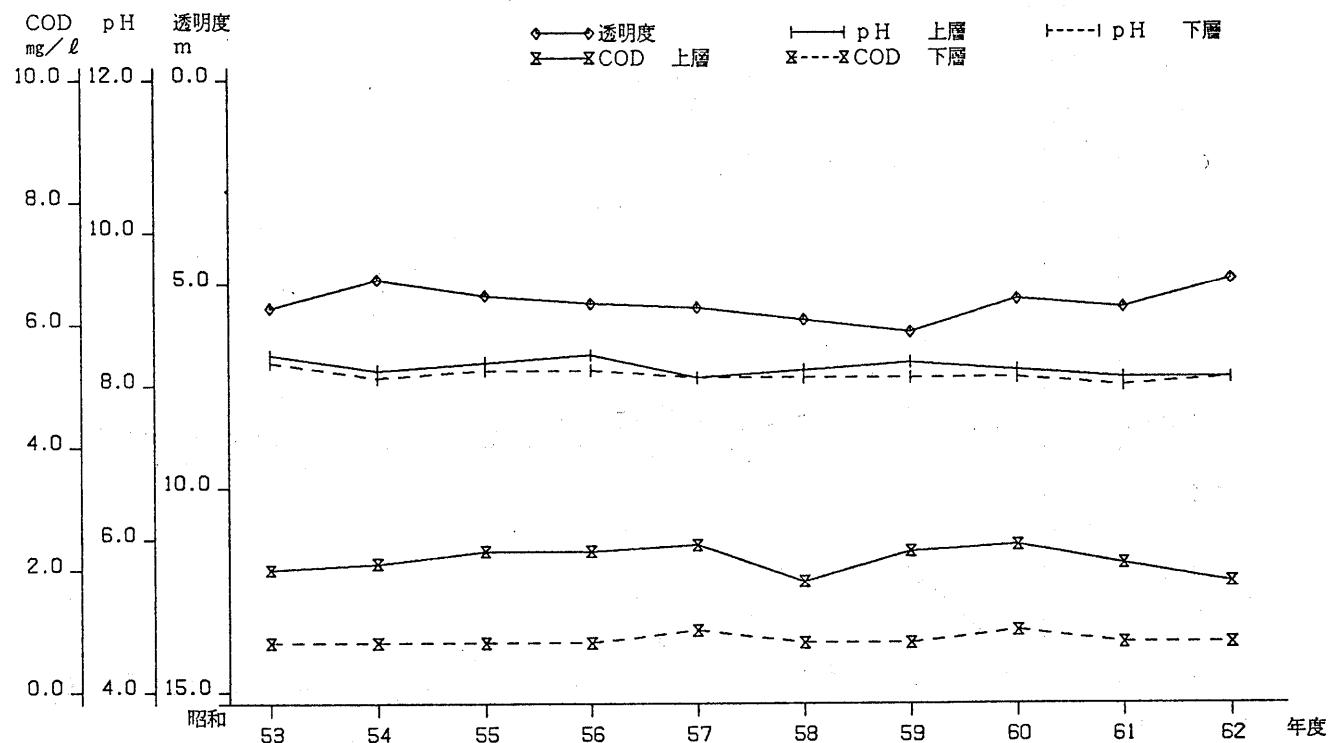


図8-6 浦賀沖



東京湾の主要地点における月別推移  
(透明度・pH・COD・全窒素・全燐・クロロフィルa)

図 9-1 横浜港内

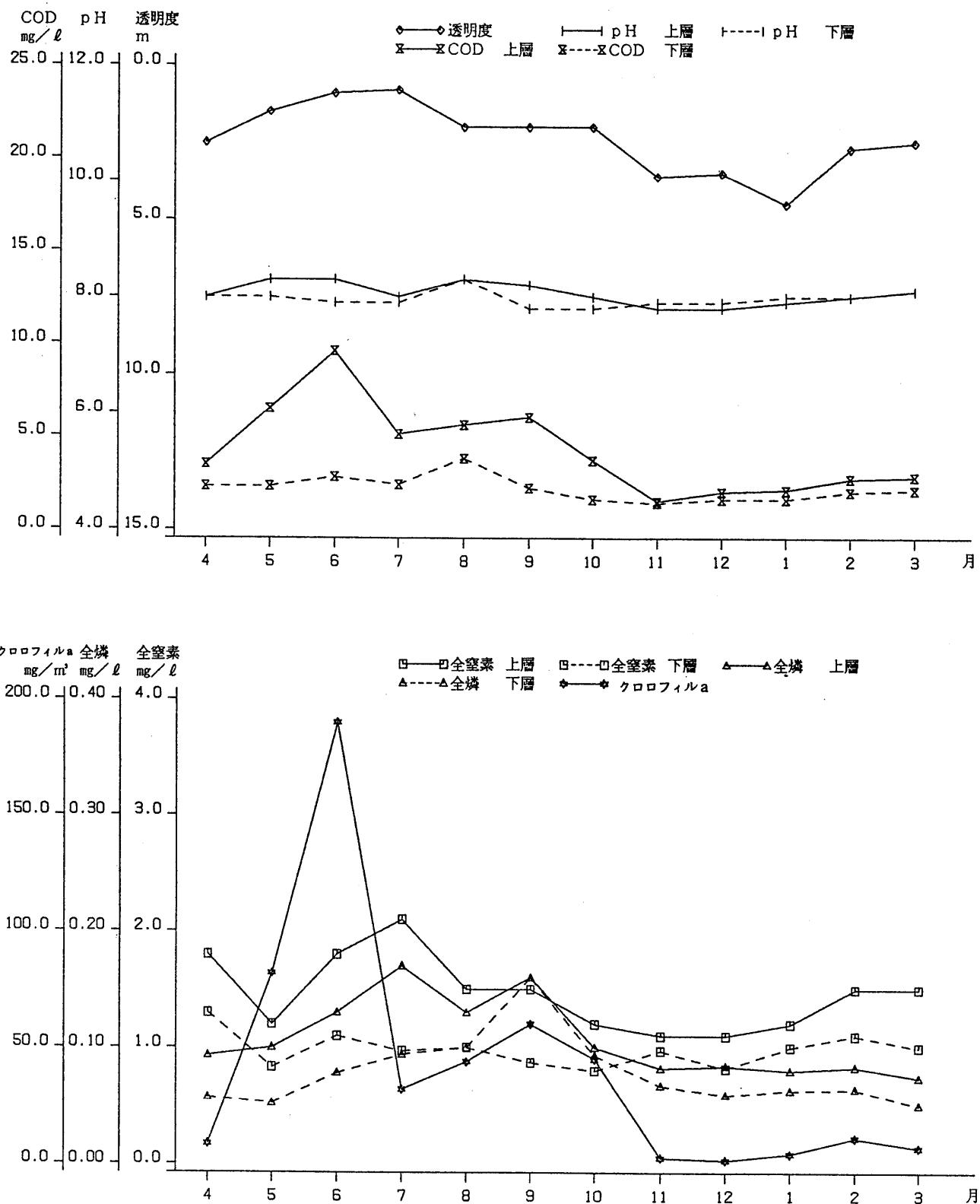


図9-2 千鳥町沖

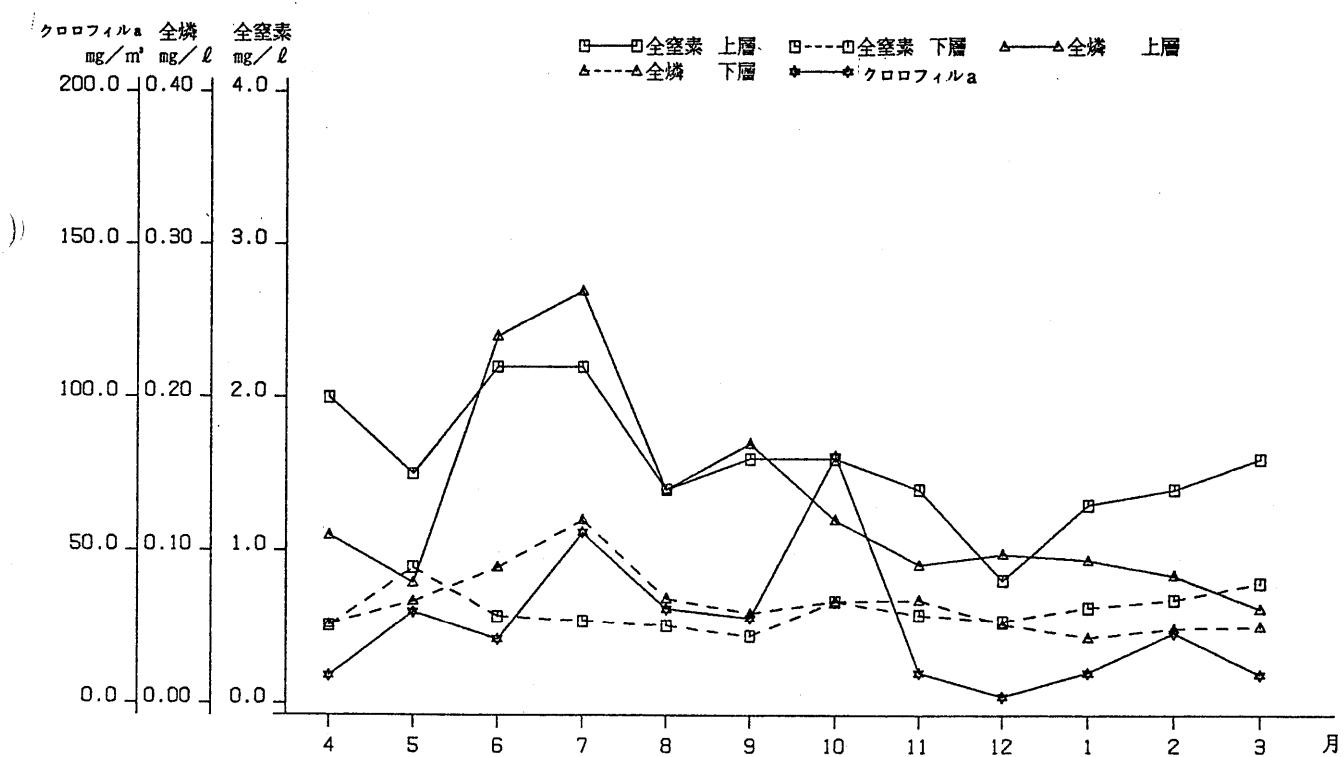
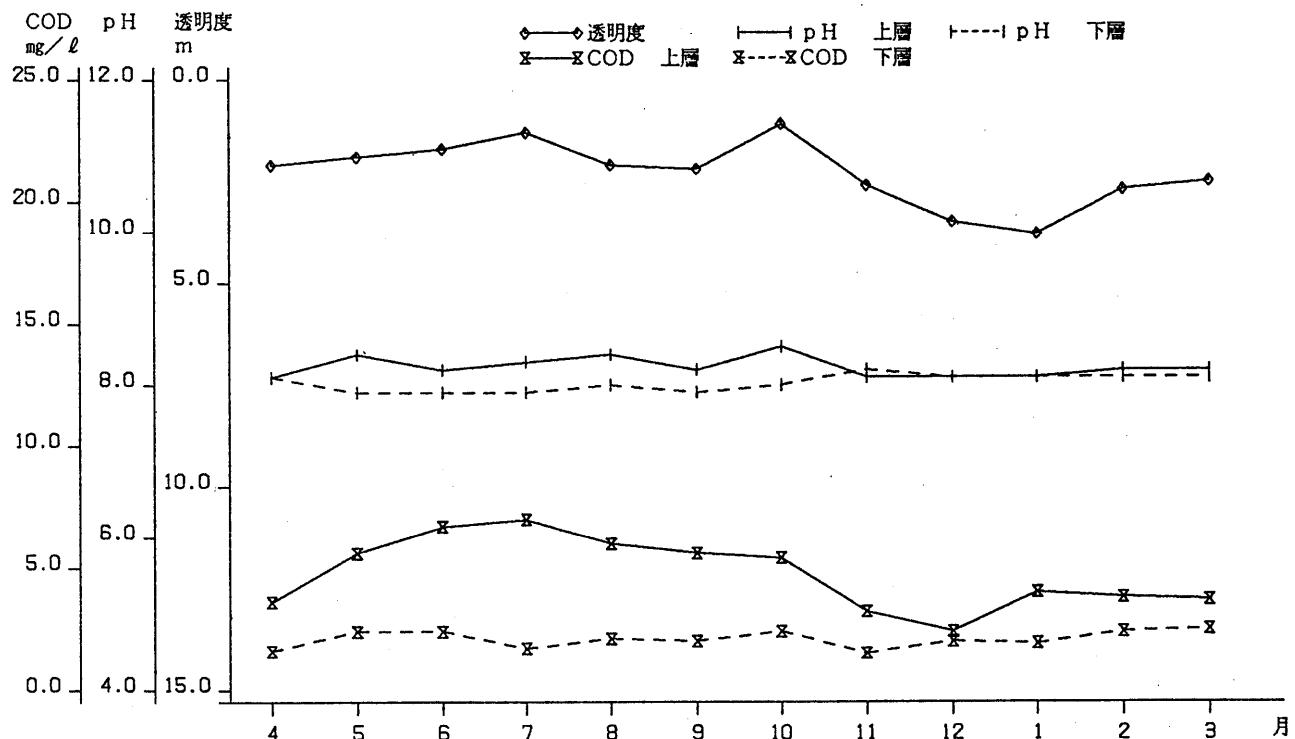


図9-3 富岡沖

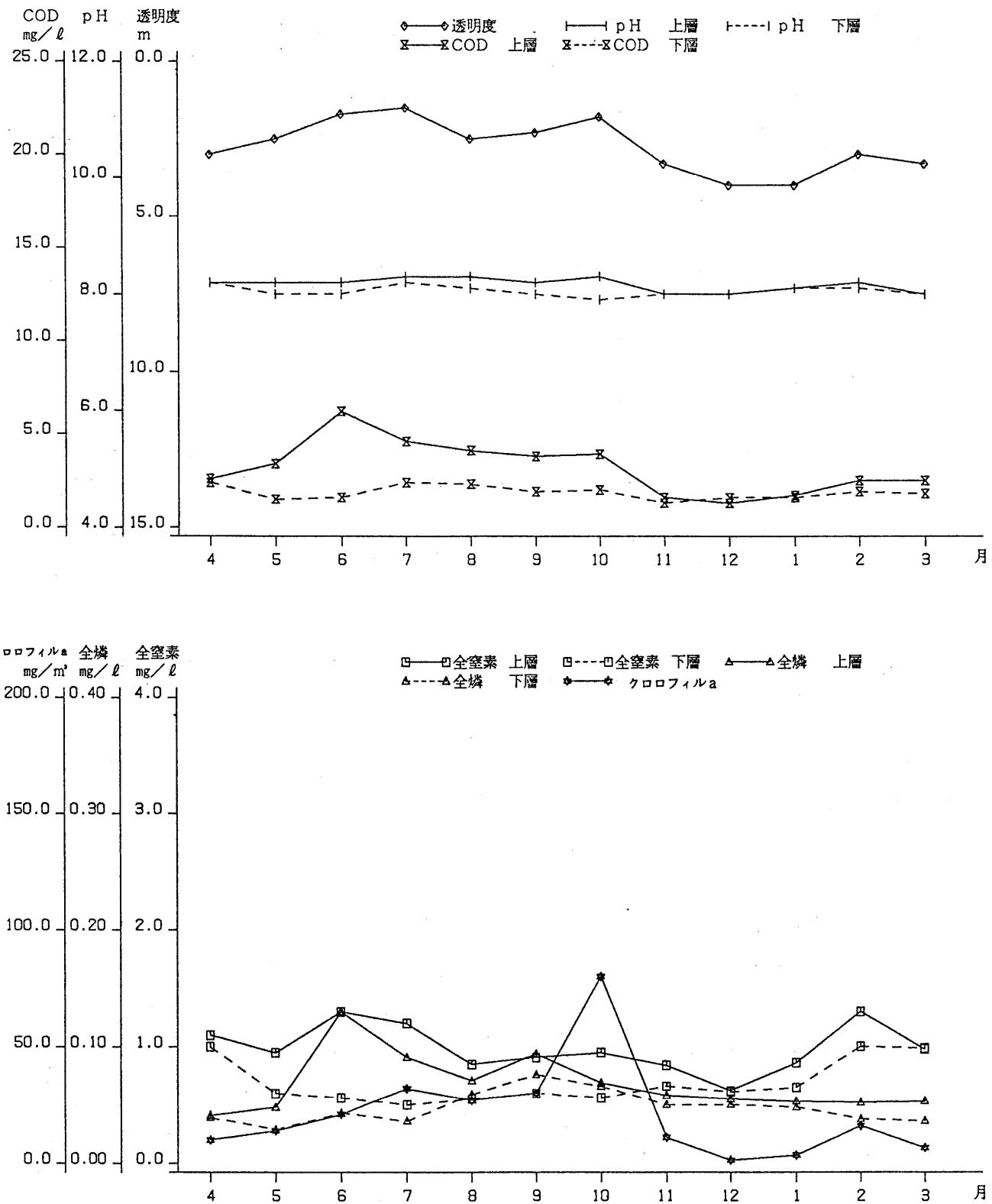


図9-4 大津湾

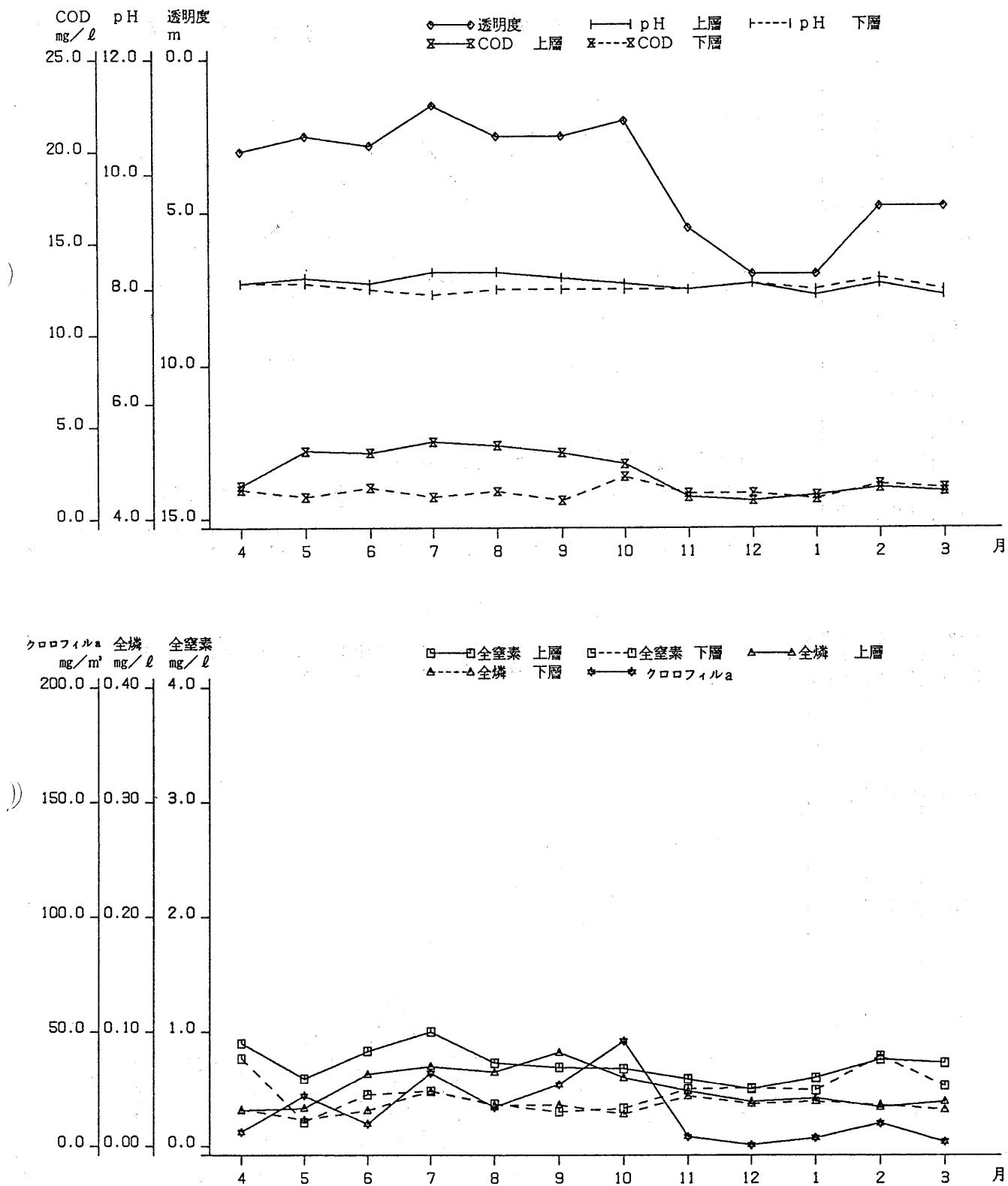


図9-5 中の瀬南

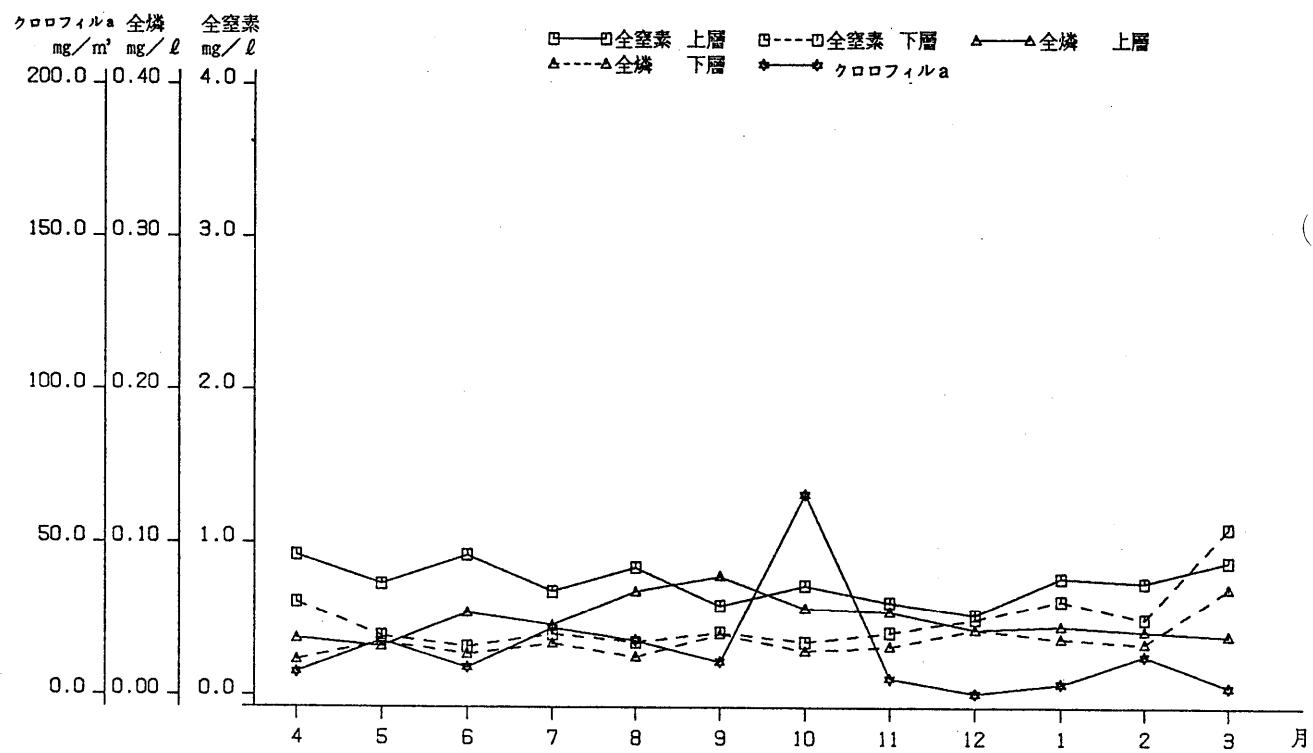
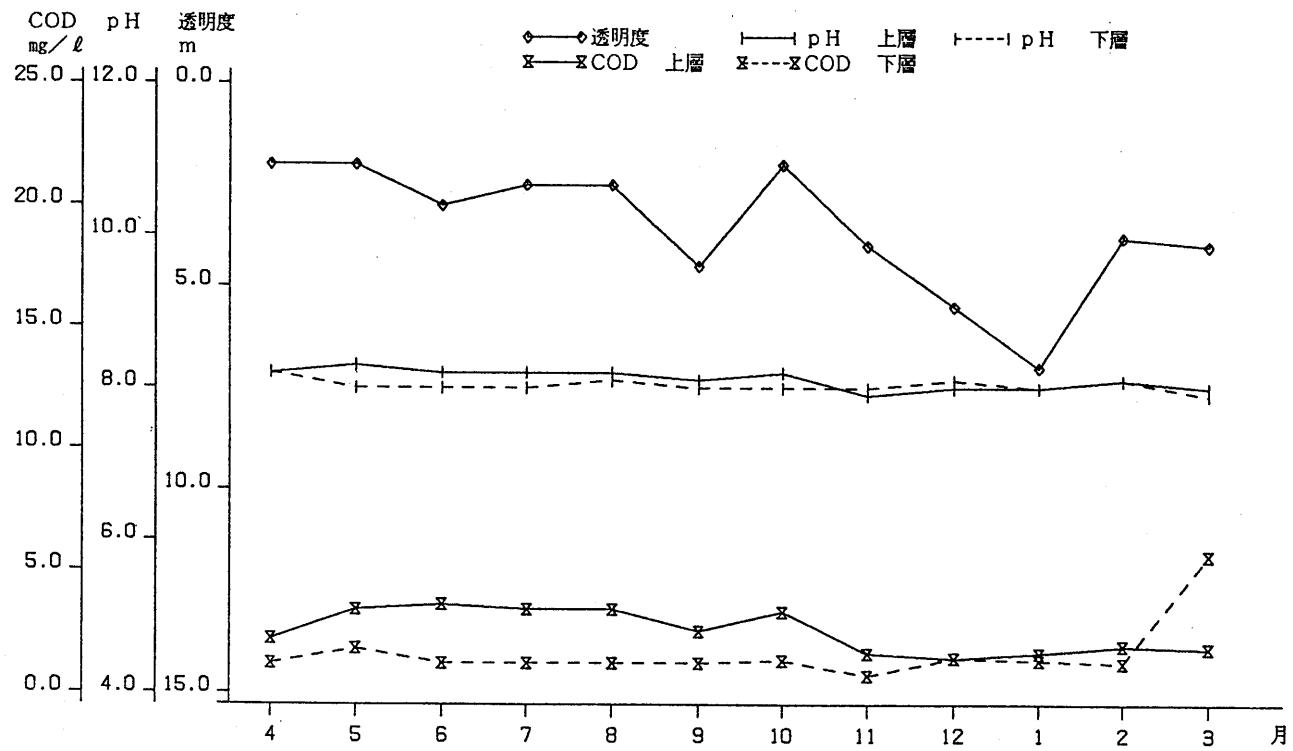
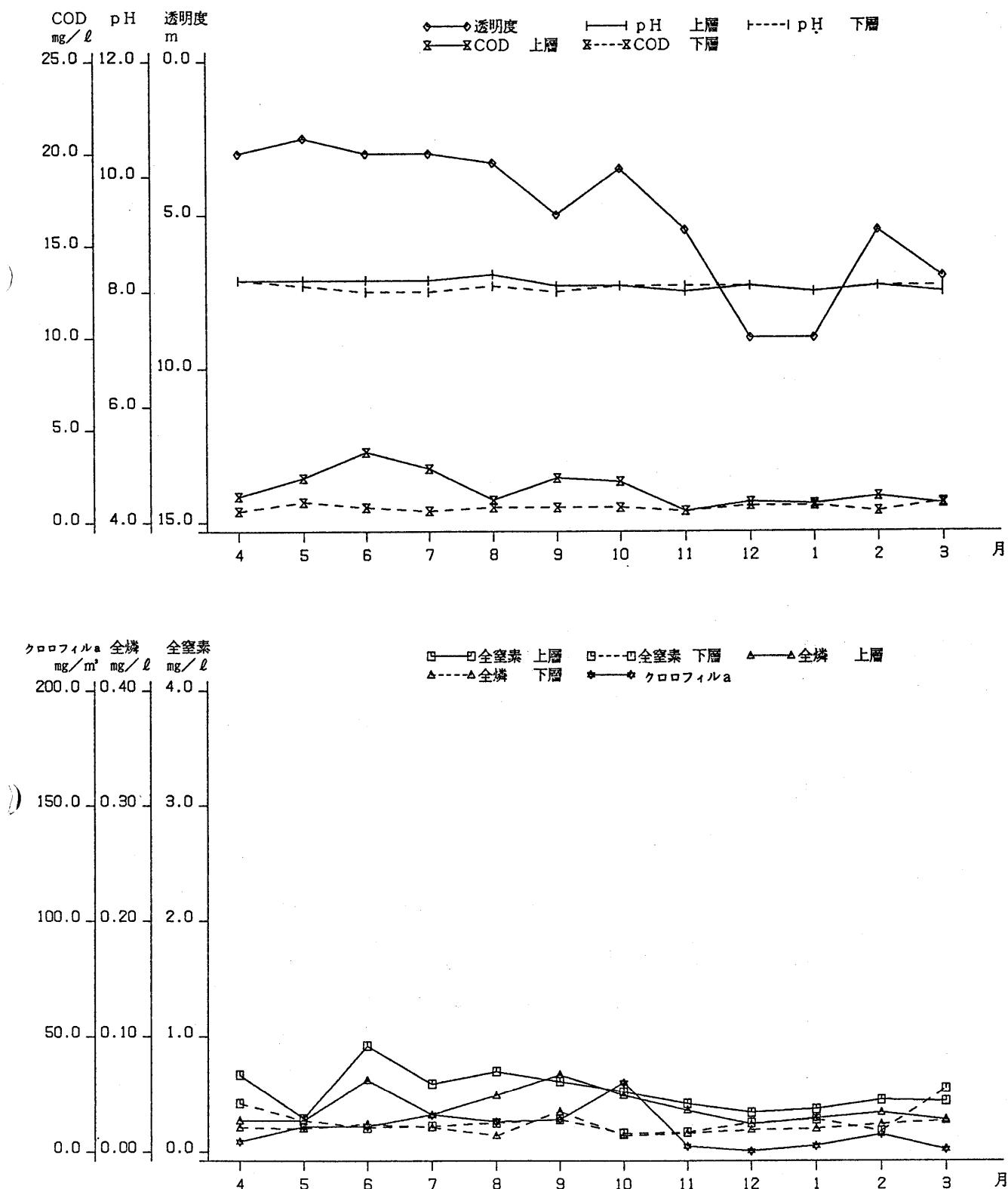
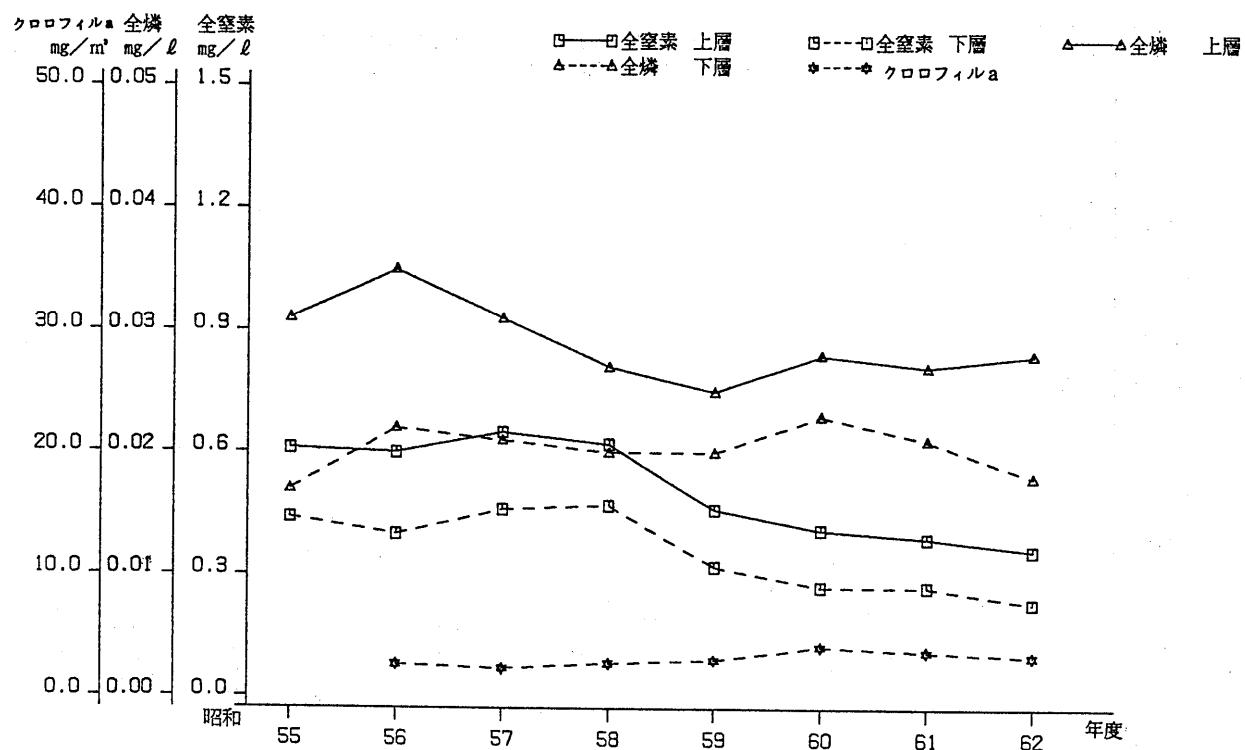
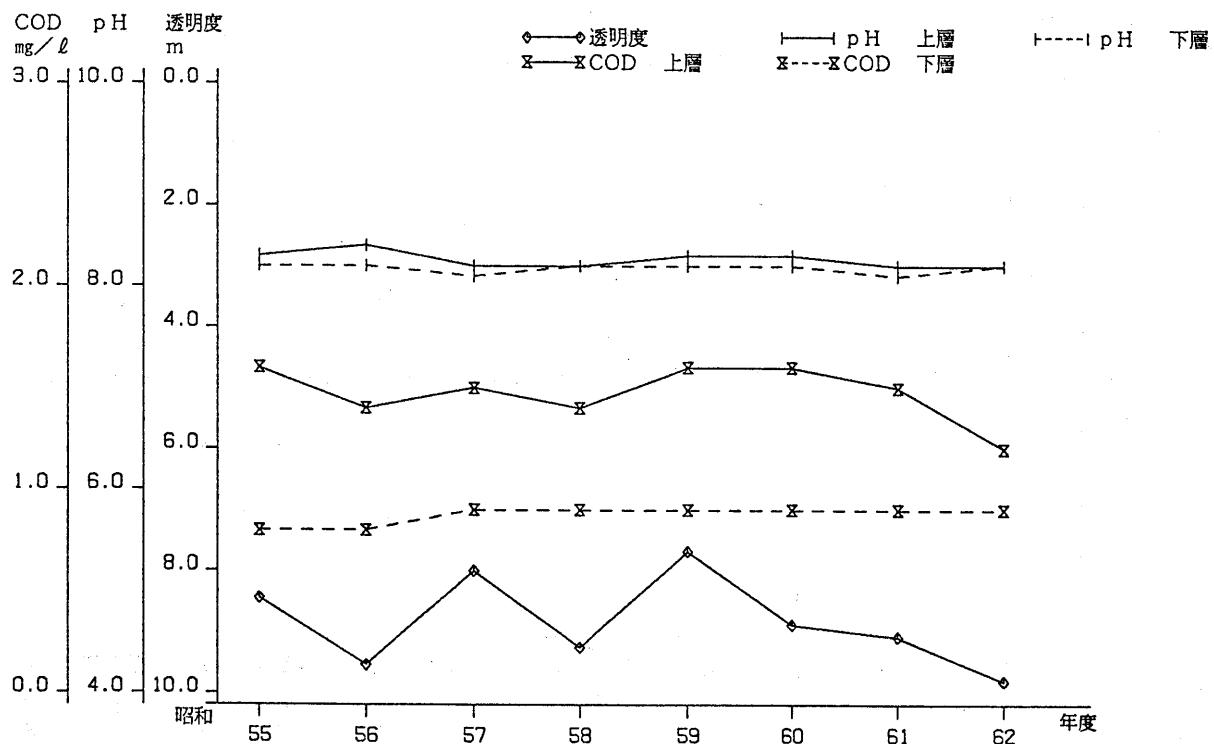


図9-6 浦賀沖



相模湾における年平均値の推移(全測定地点の平均値)  
(透明度・pH・COD・全窒素・全燐・クロロフィルa)

図10 相模湾(全域)



相模湾の主要地点における年平均値の推移  
(透明度・pH・COD・全窒素・全燐・クロロフィルa)

図11-1 汗 堂 沖

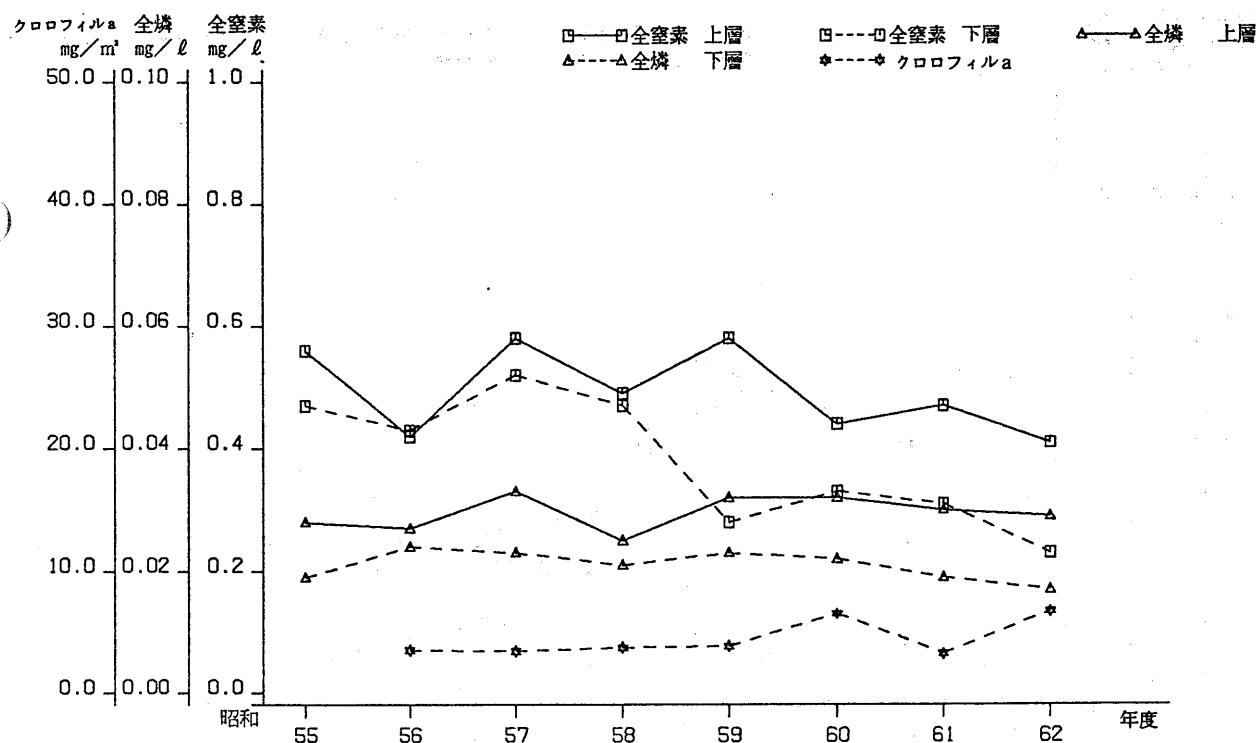
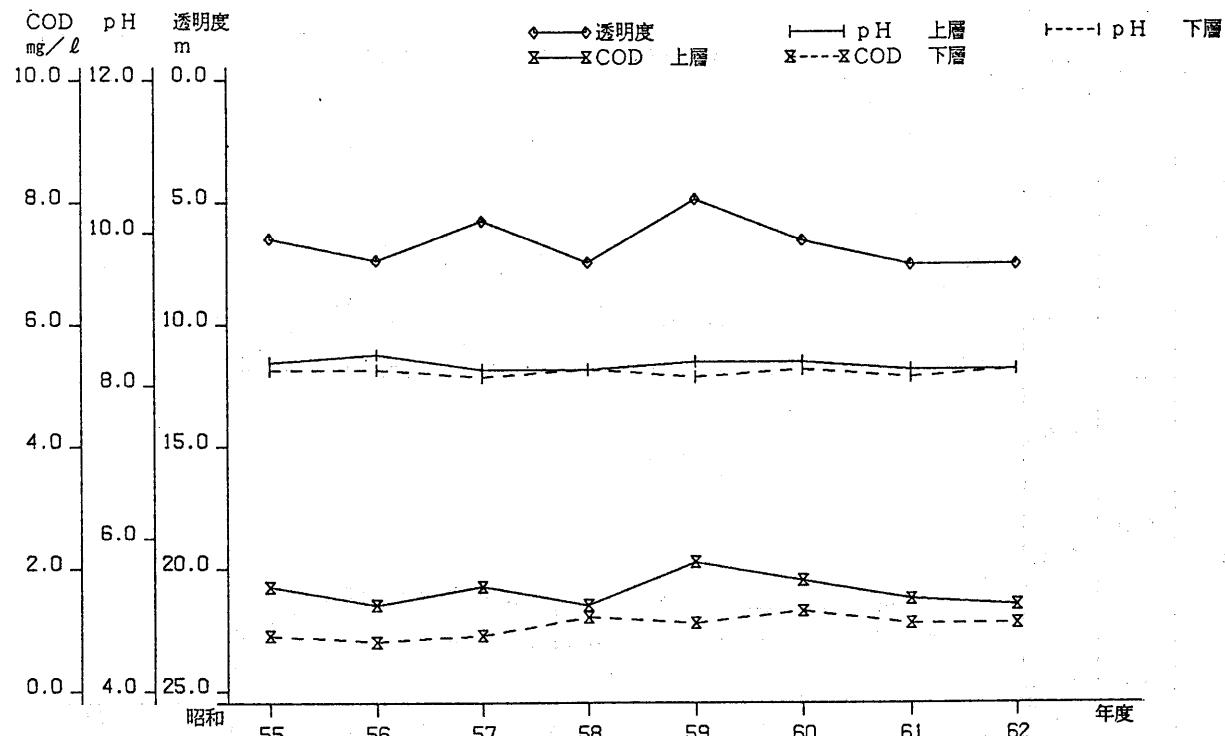


図 11-2 城ヶ島西

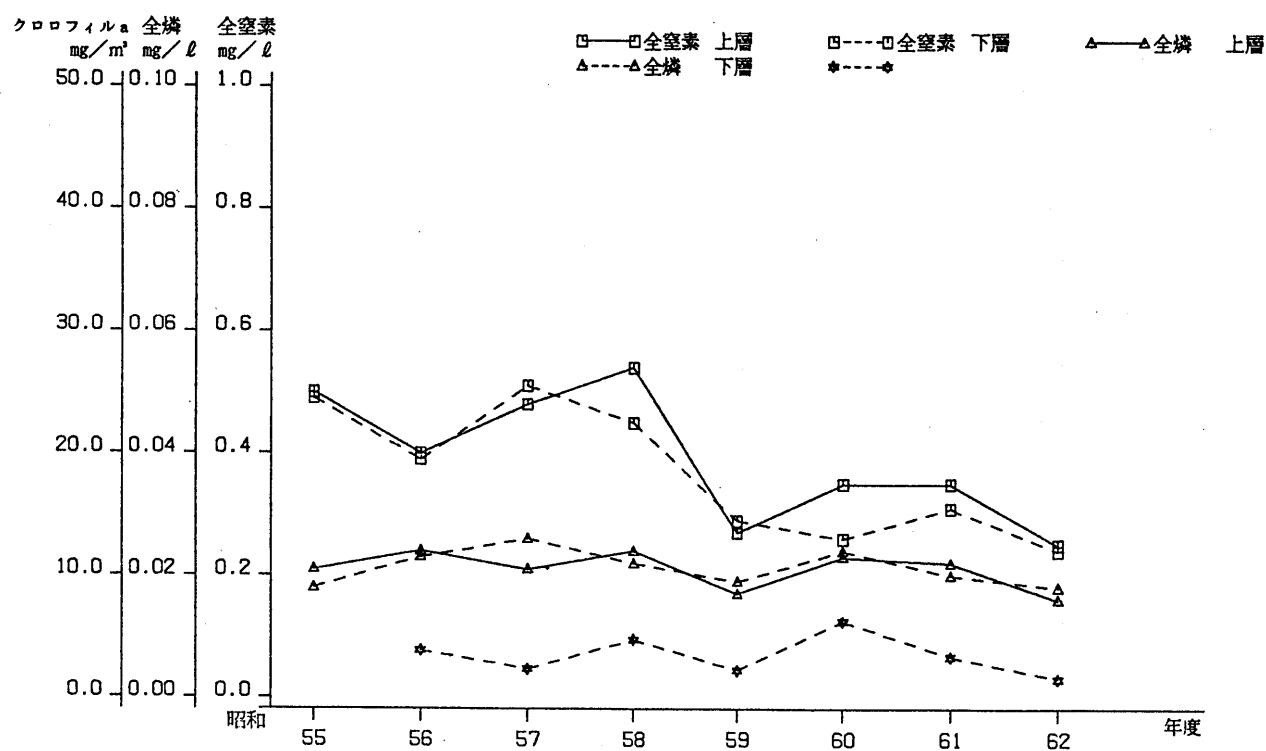
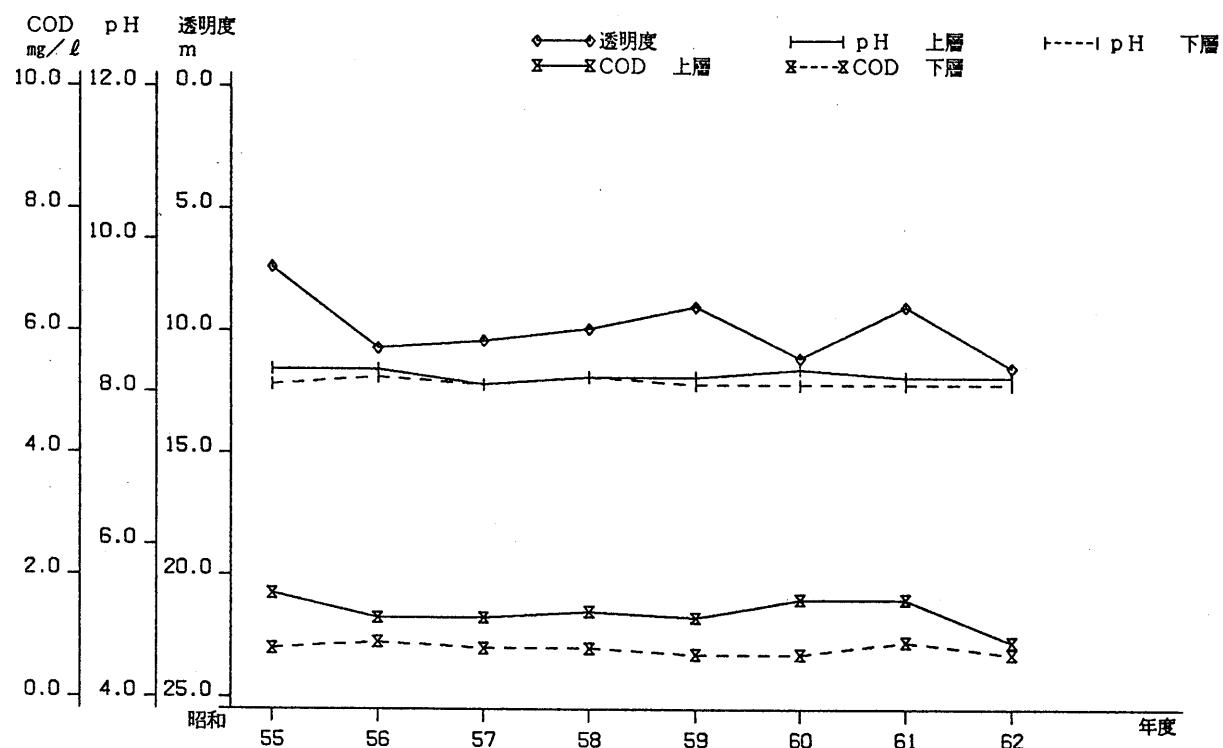


図 11-3 由比ヶ浜沖

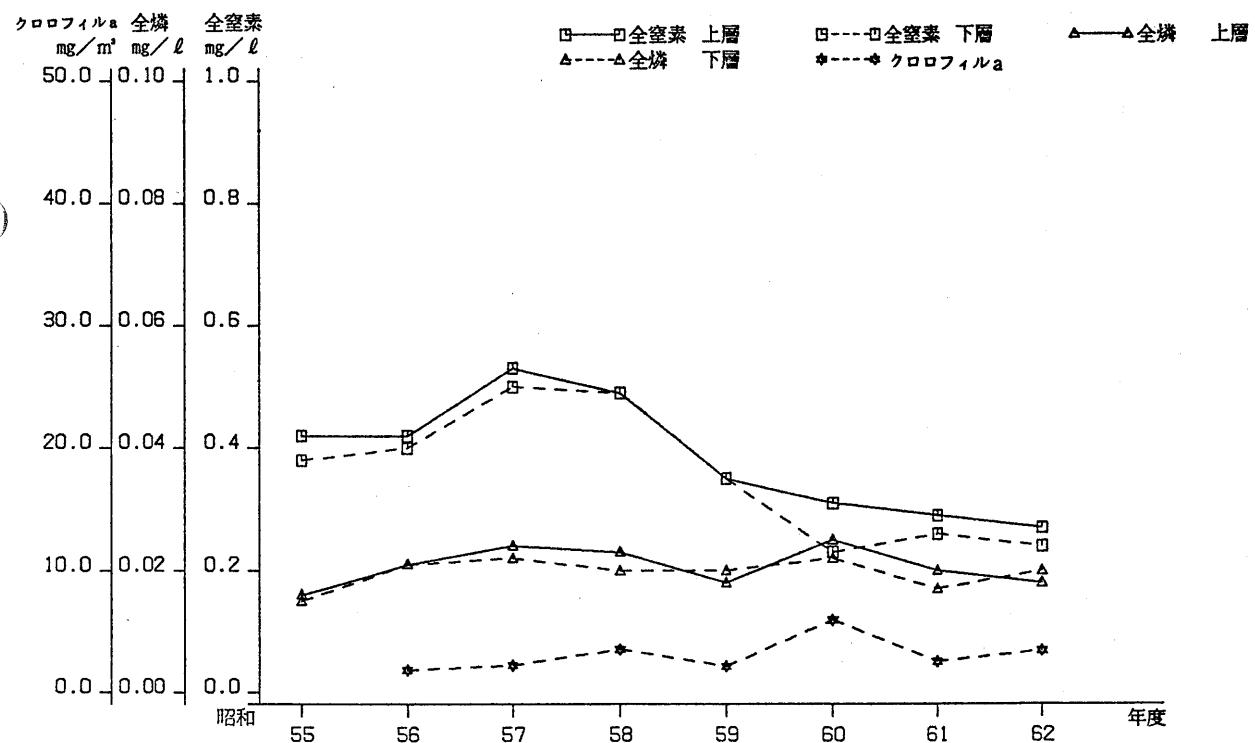
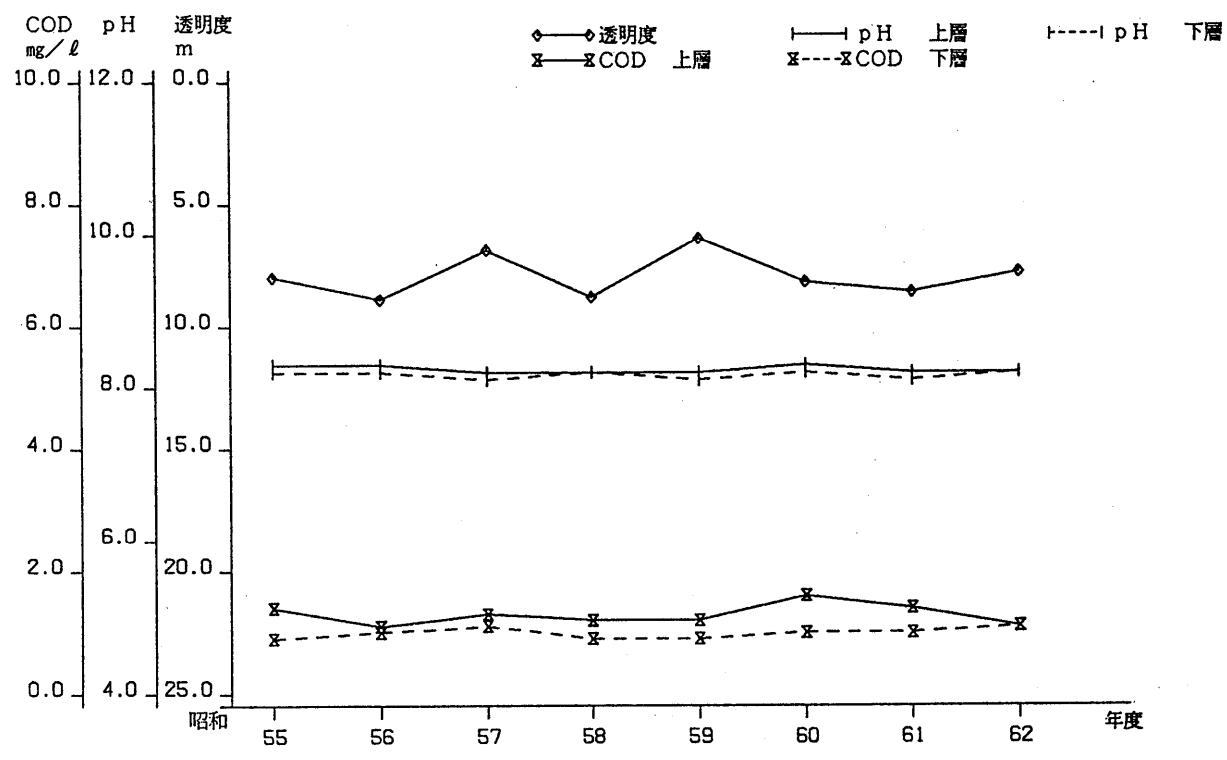


図11-4 大磯沖

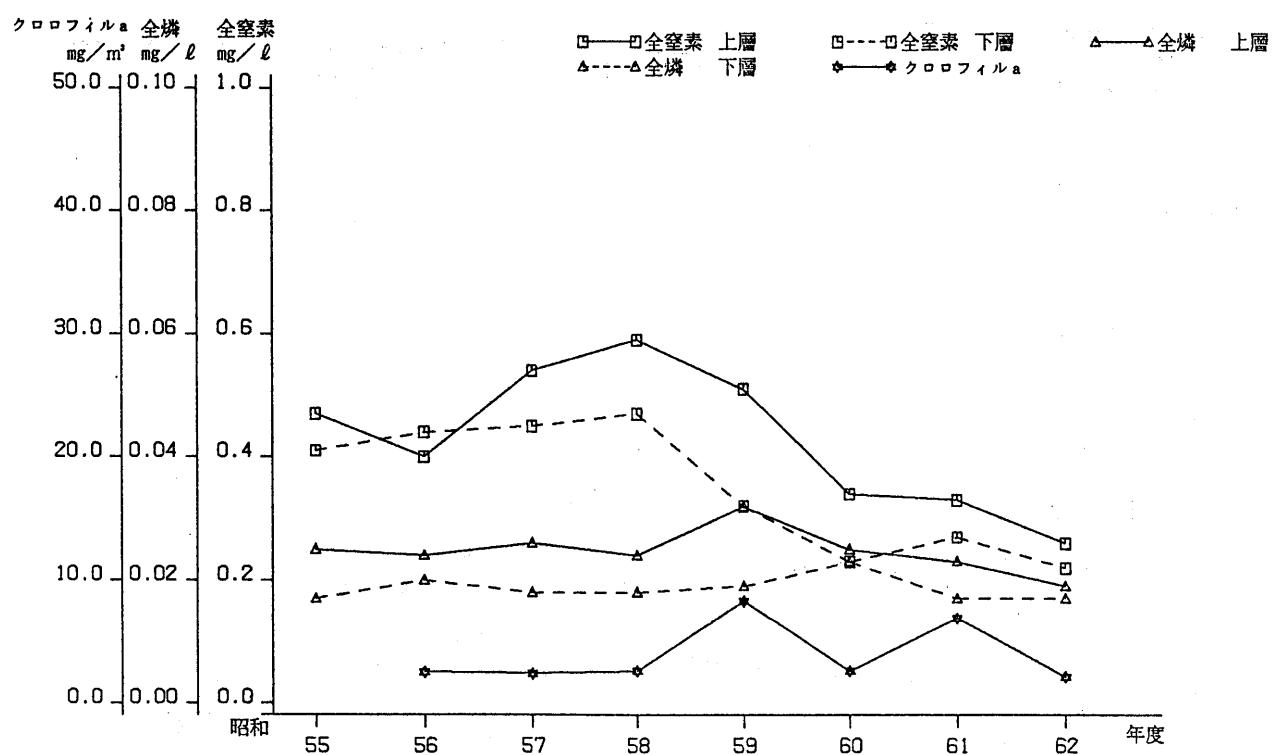
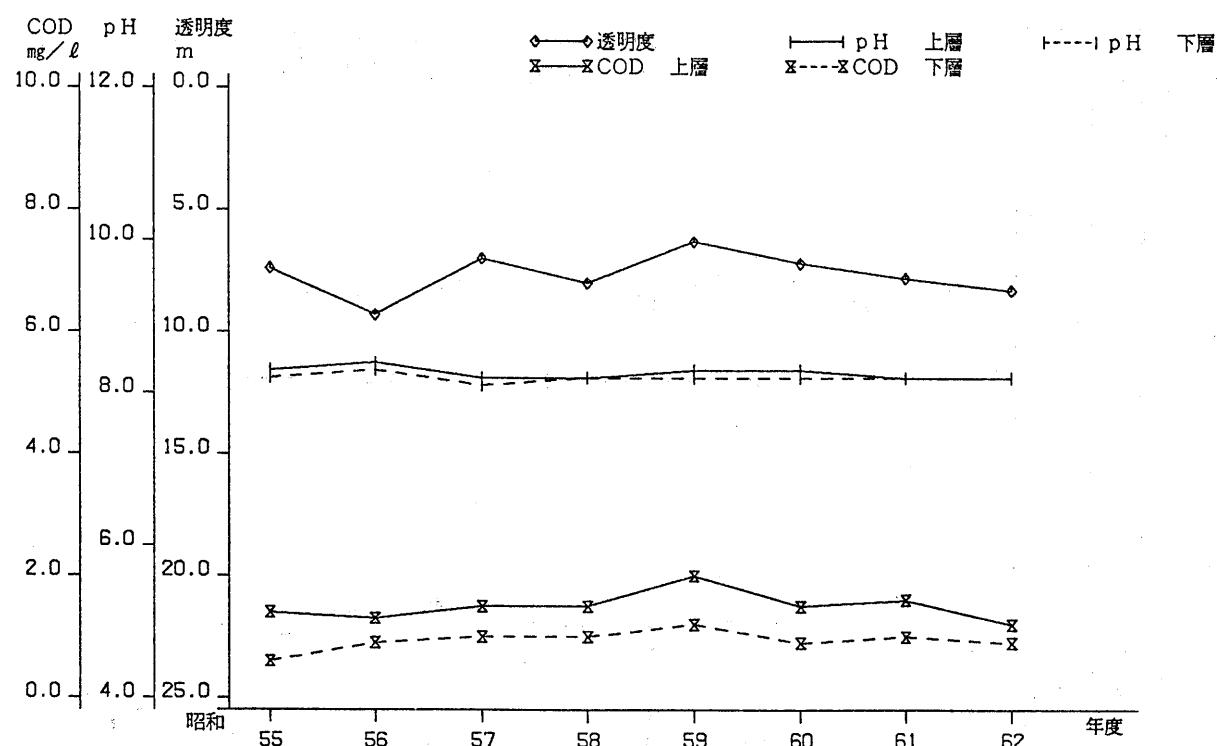


図 11-5 湾 央

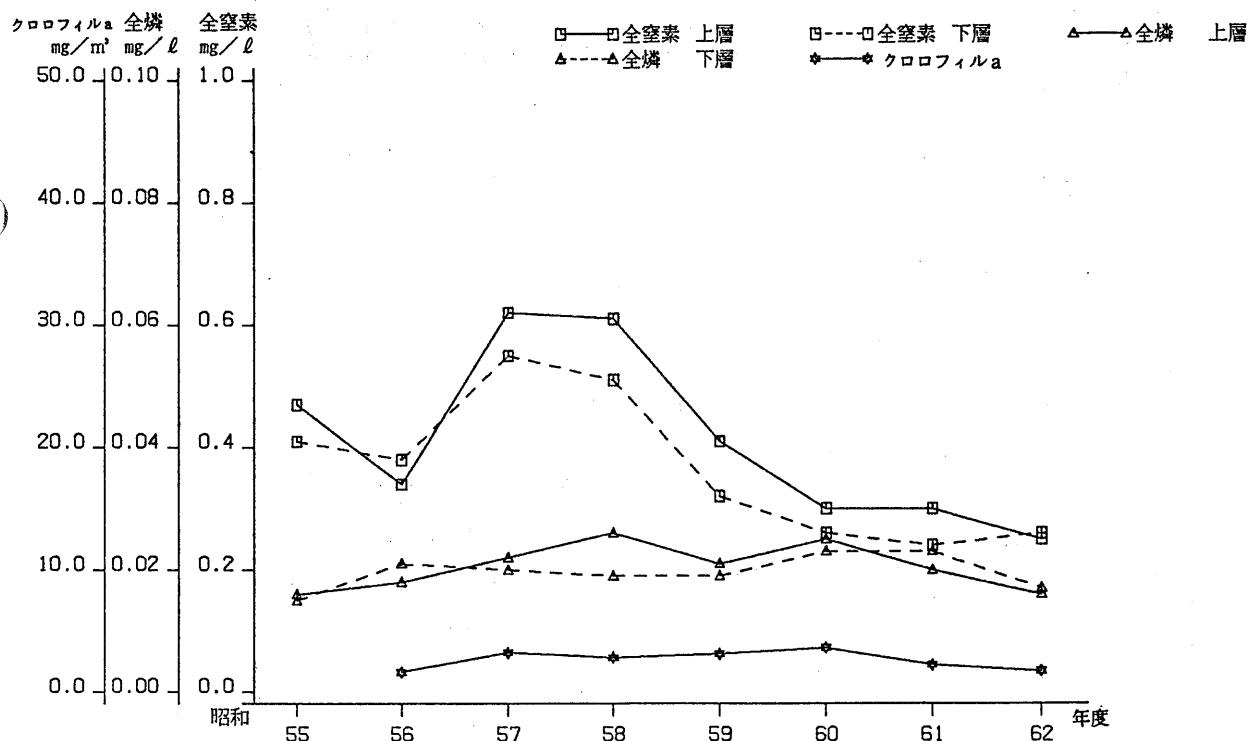
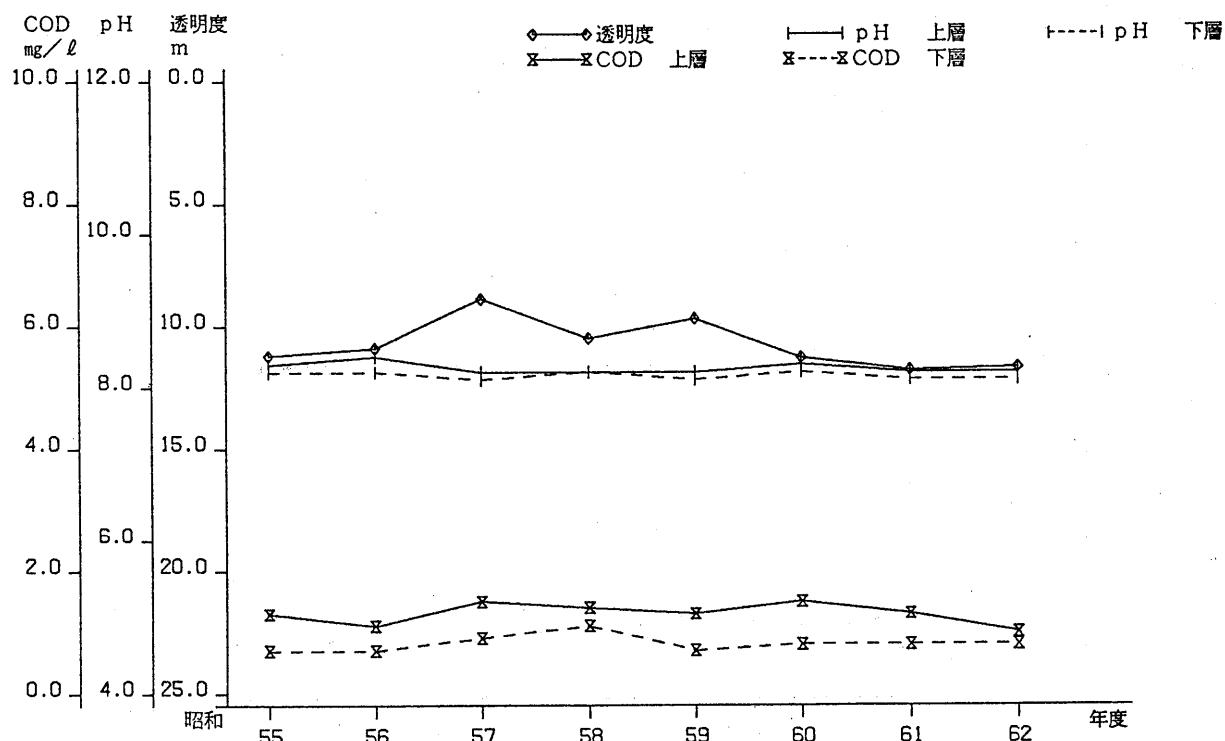
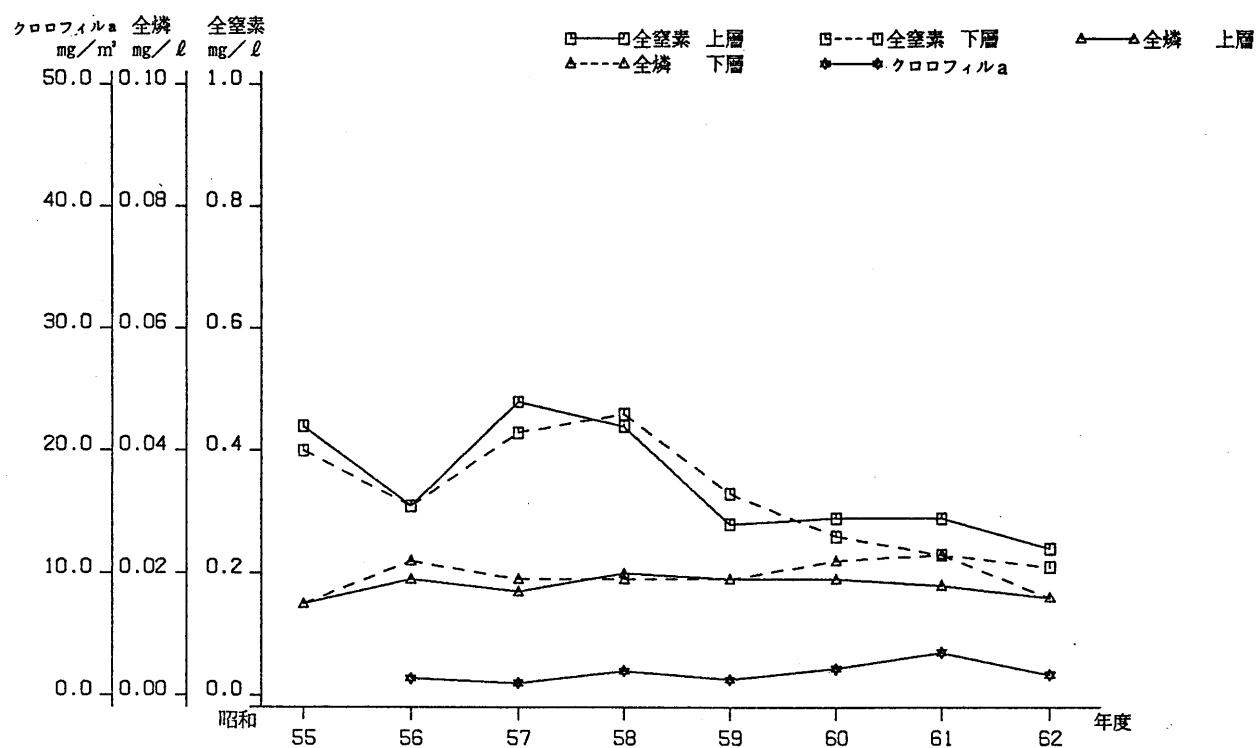
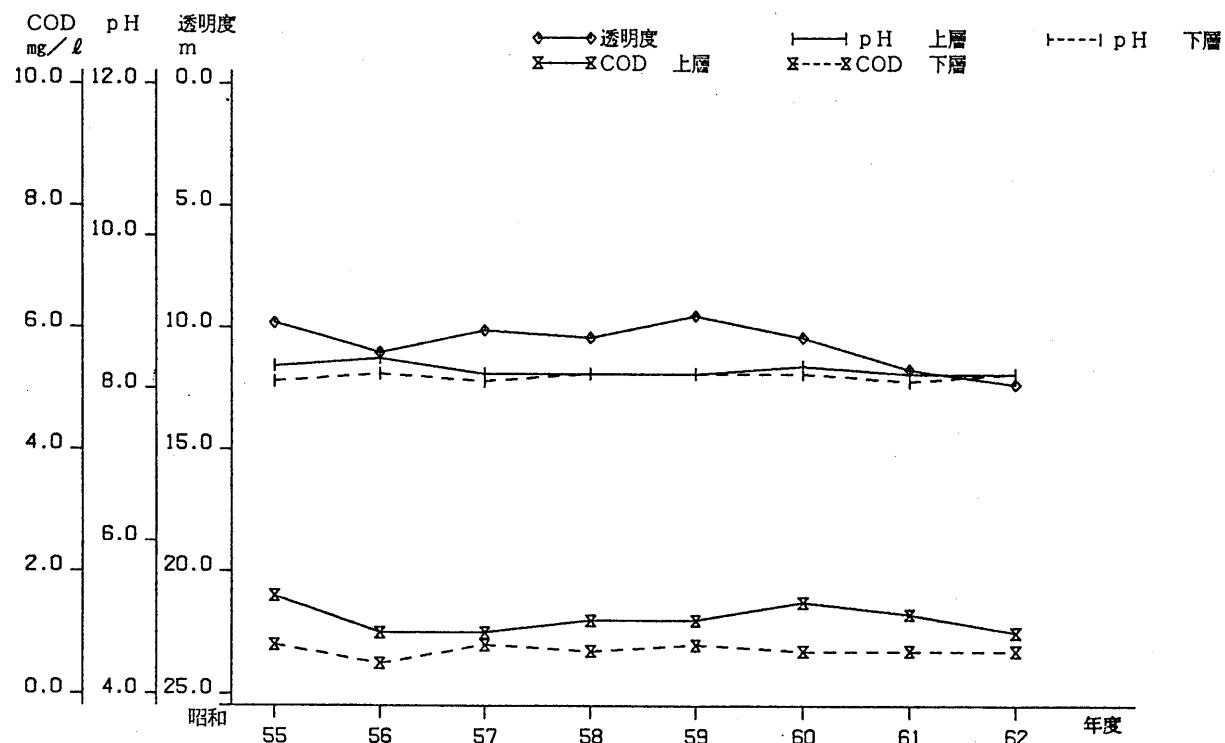


図11-6 根府川沖



相模湾の主要地点における月別推移  
(透明度・pH・COD・全窒素・全燐・クロロフィルa)

図12-1 辻堂沖

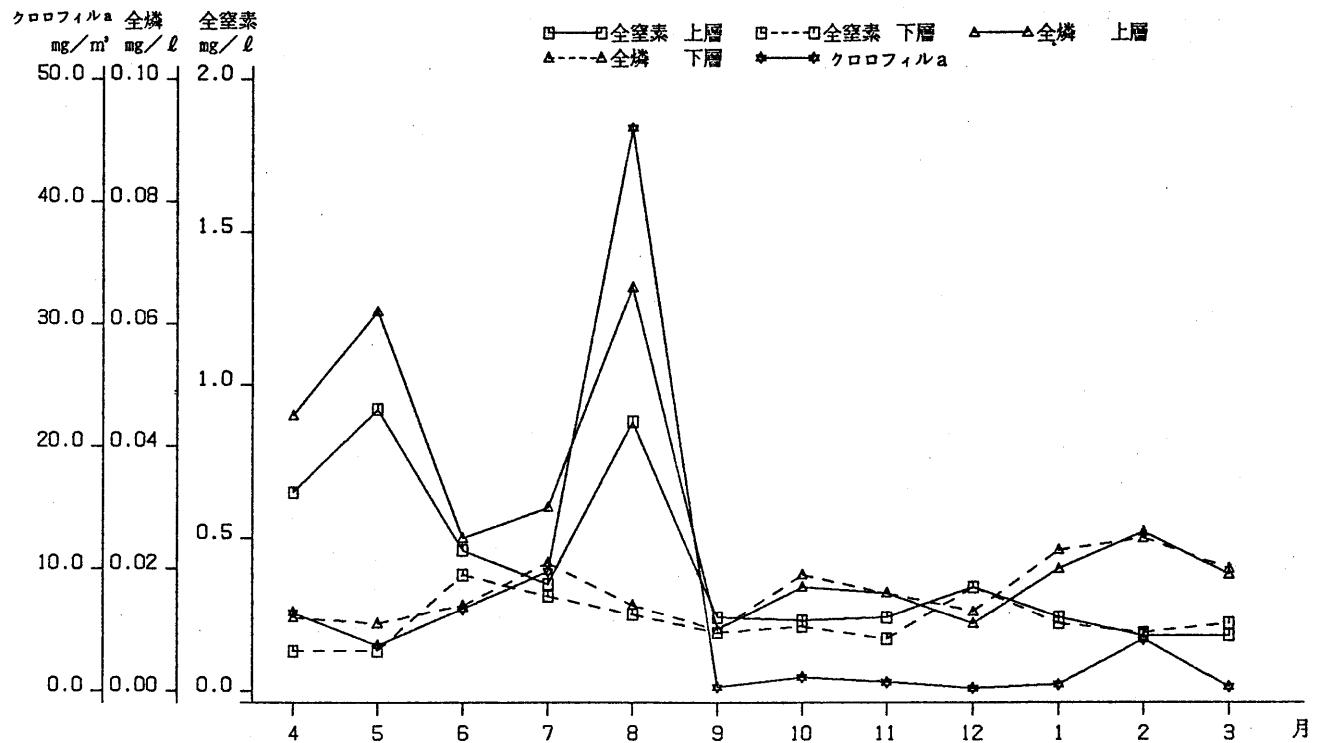
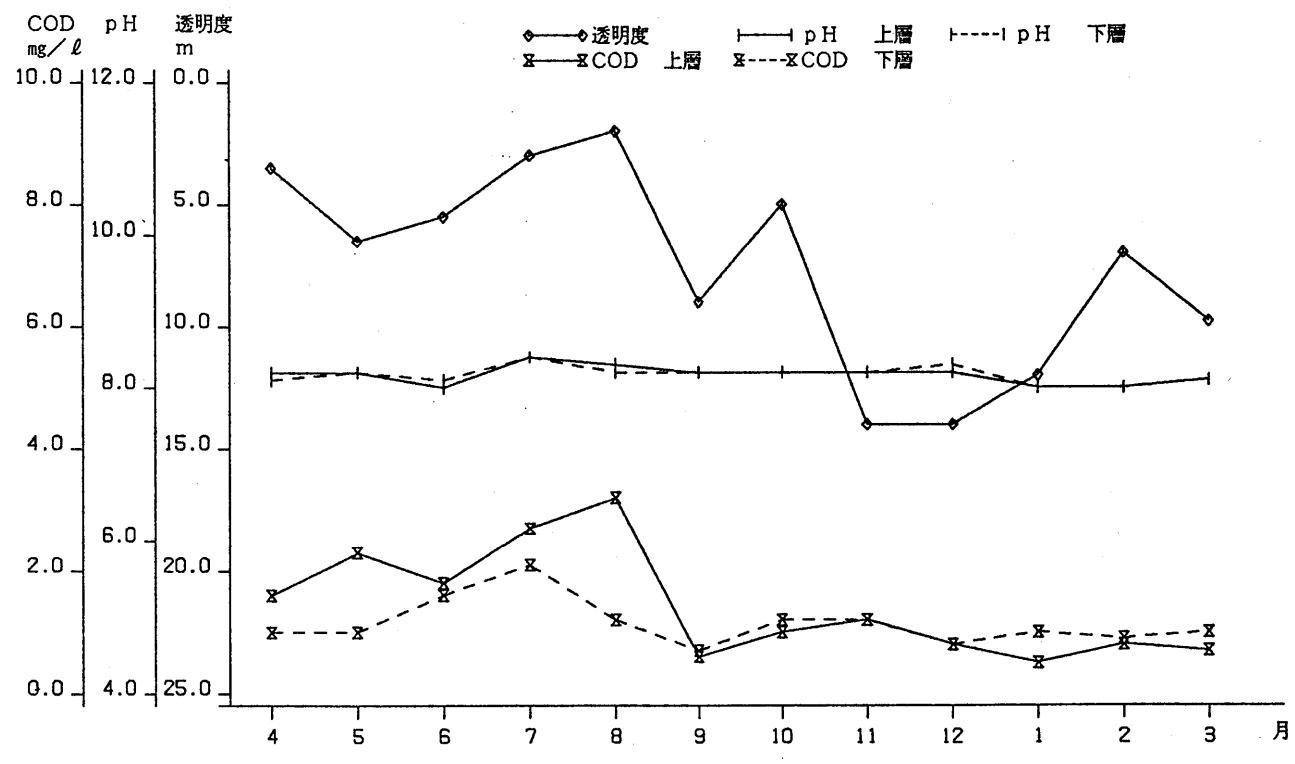


図12-2 城ヶ島西

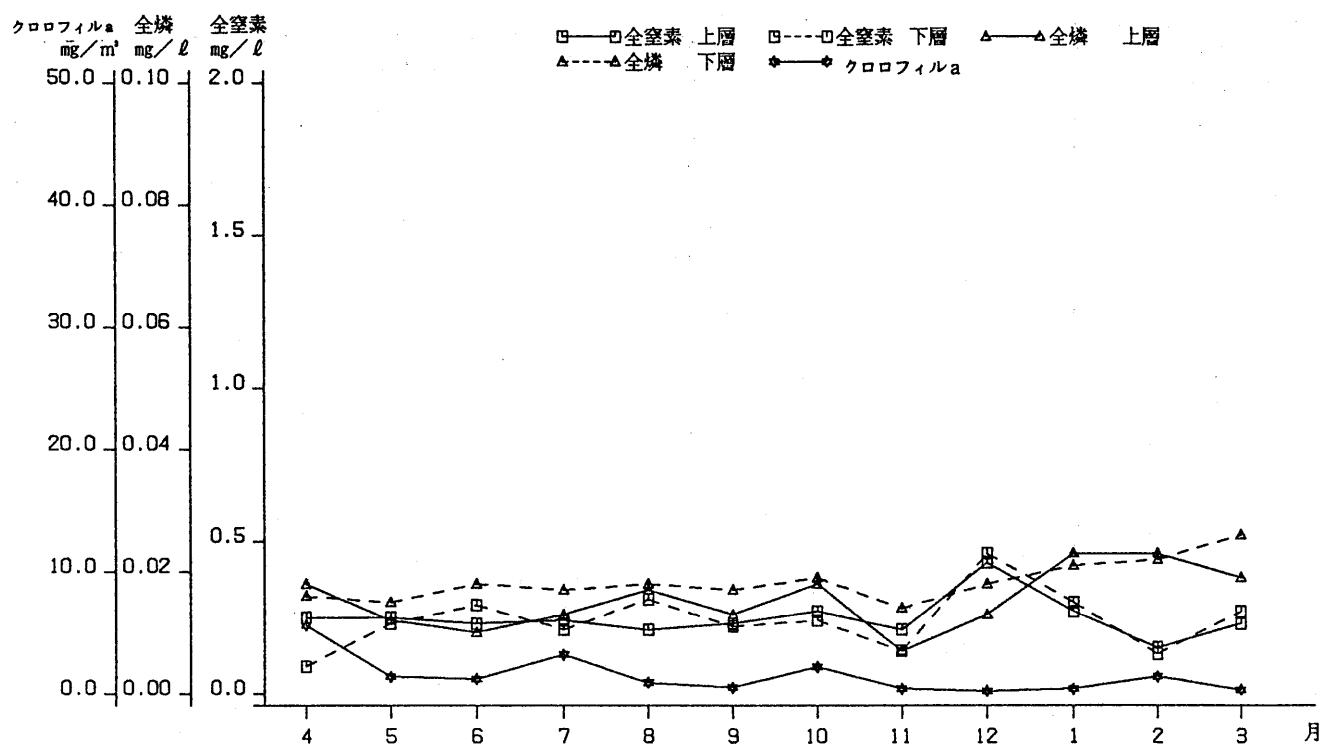
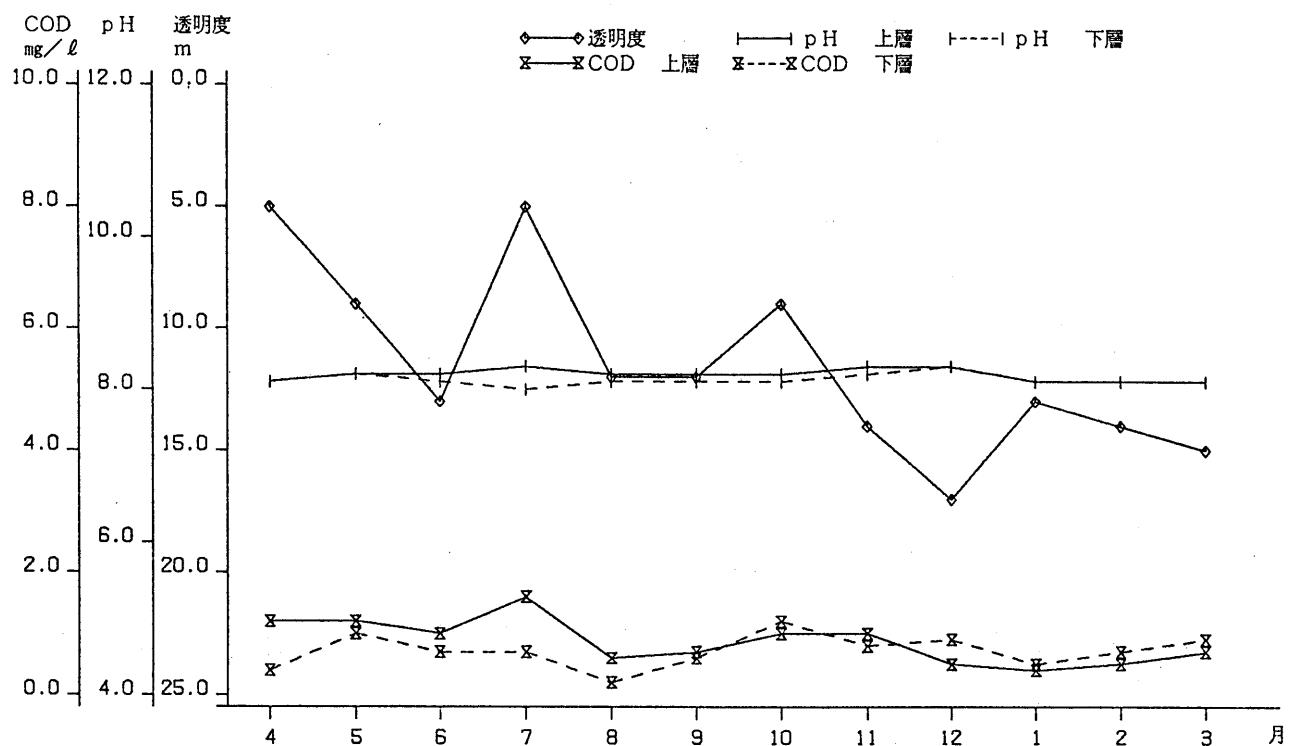


図 1 2 - 3 由比ヶ浜沖

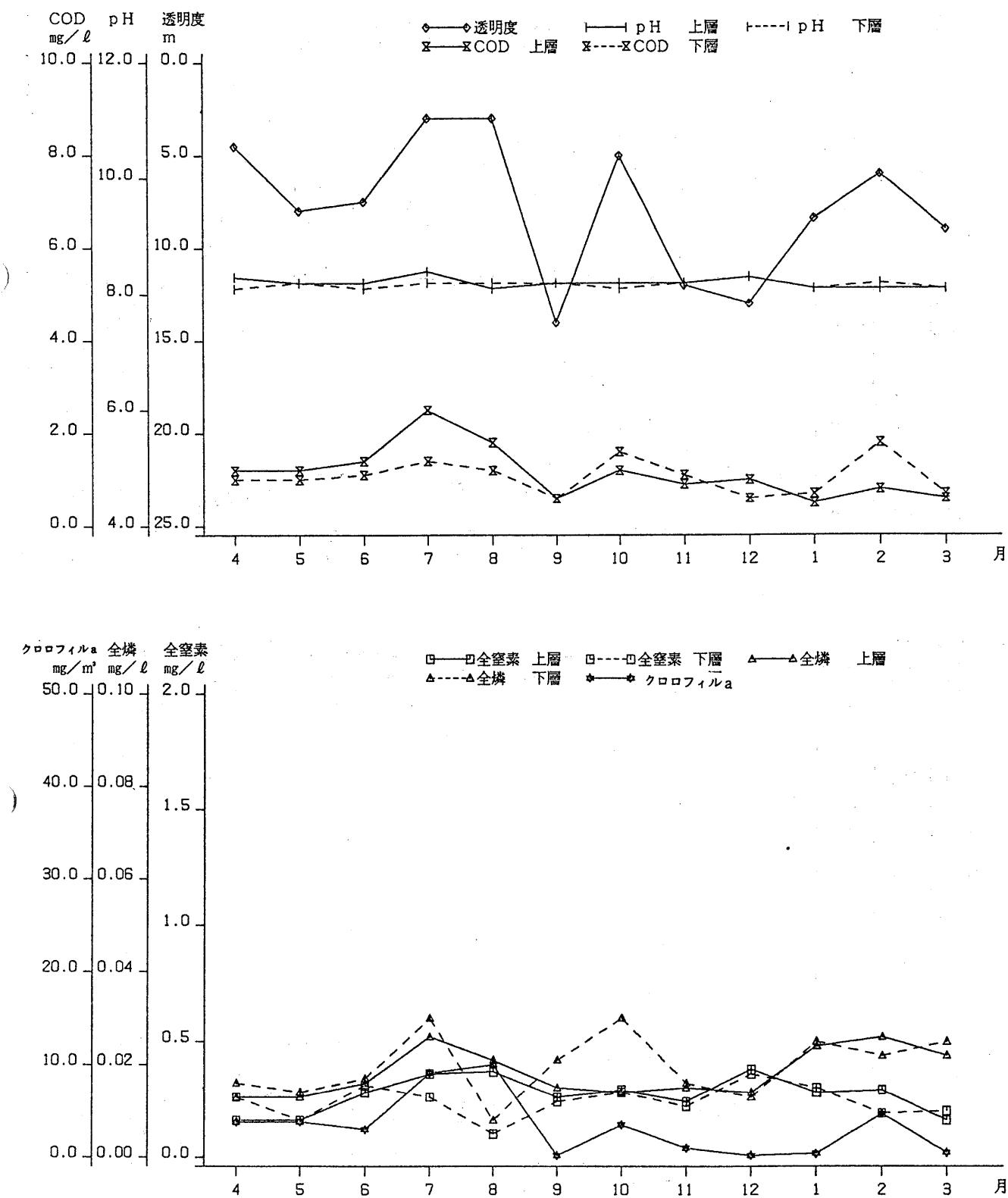


図12-4 大磯沖

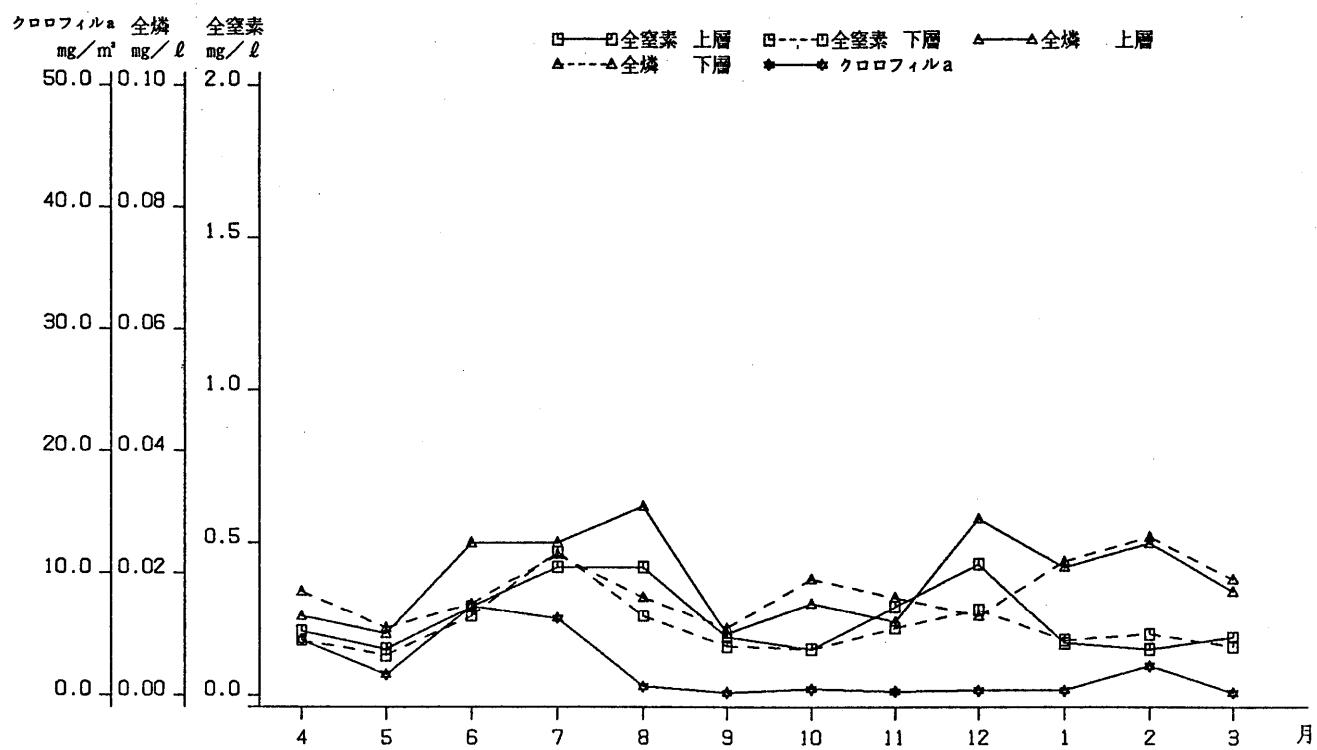
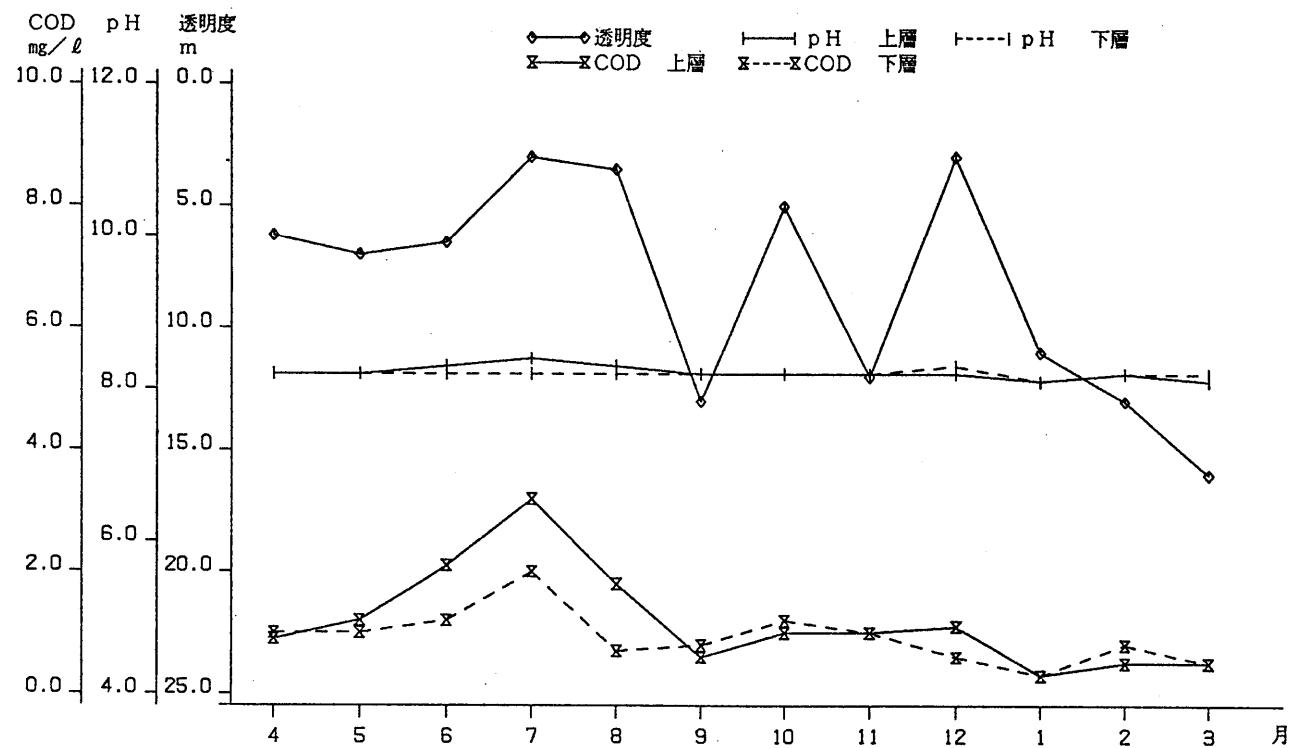


図 12-5 湾 央

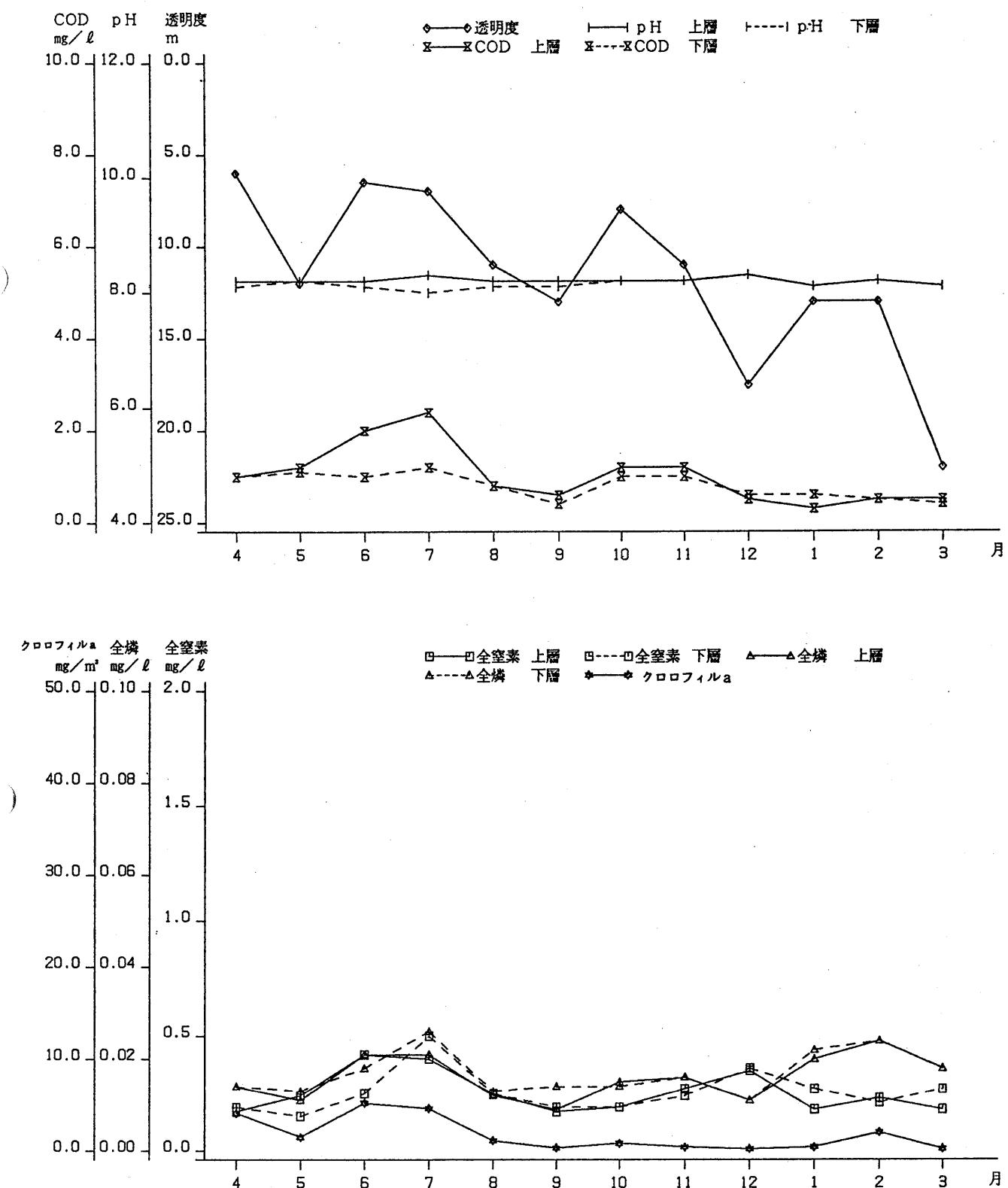
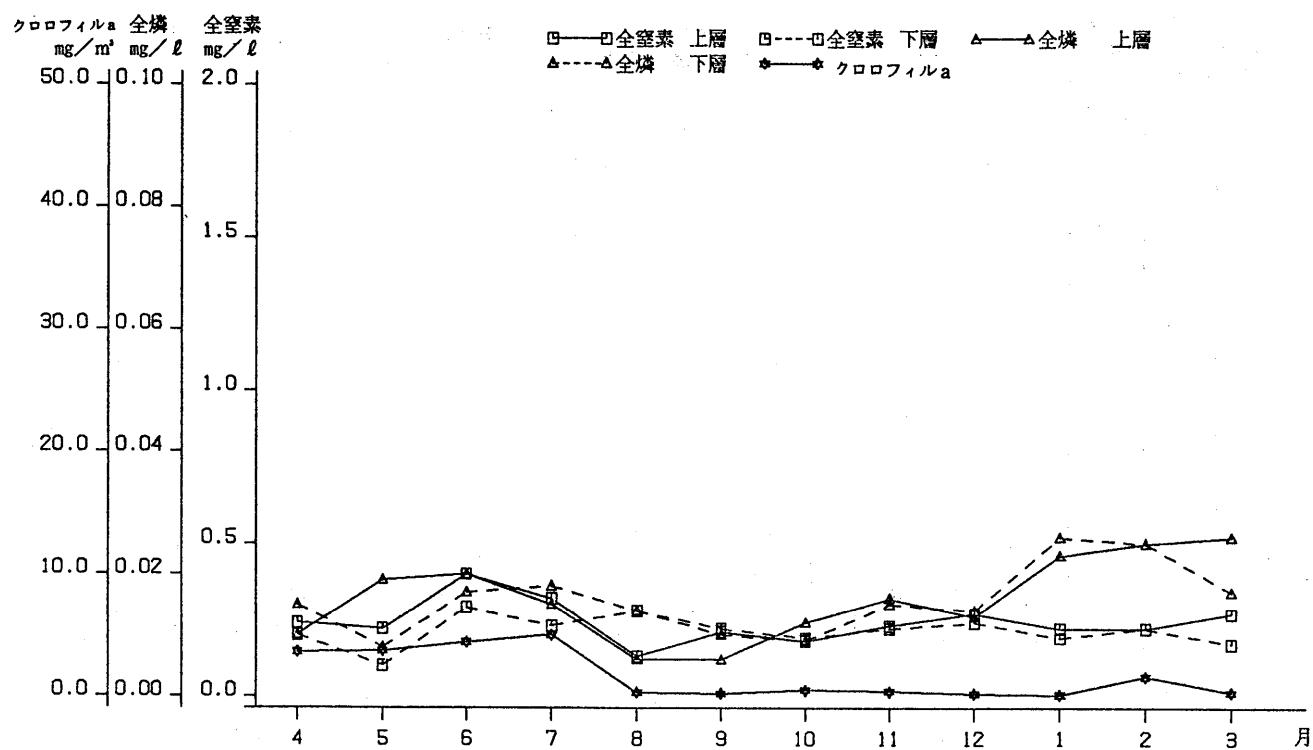
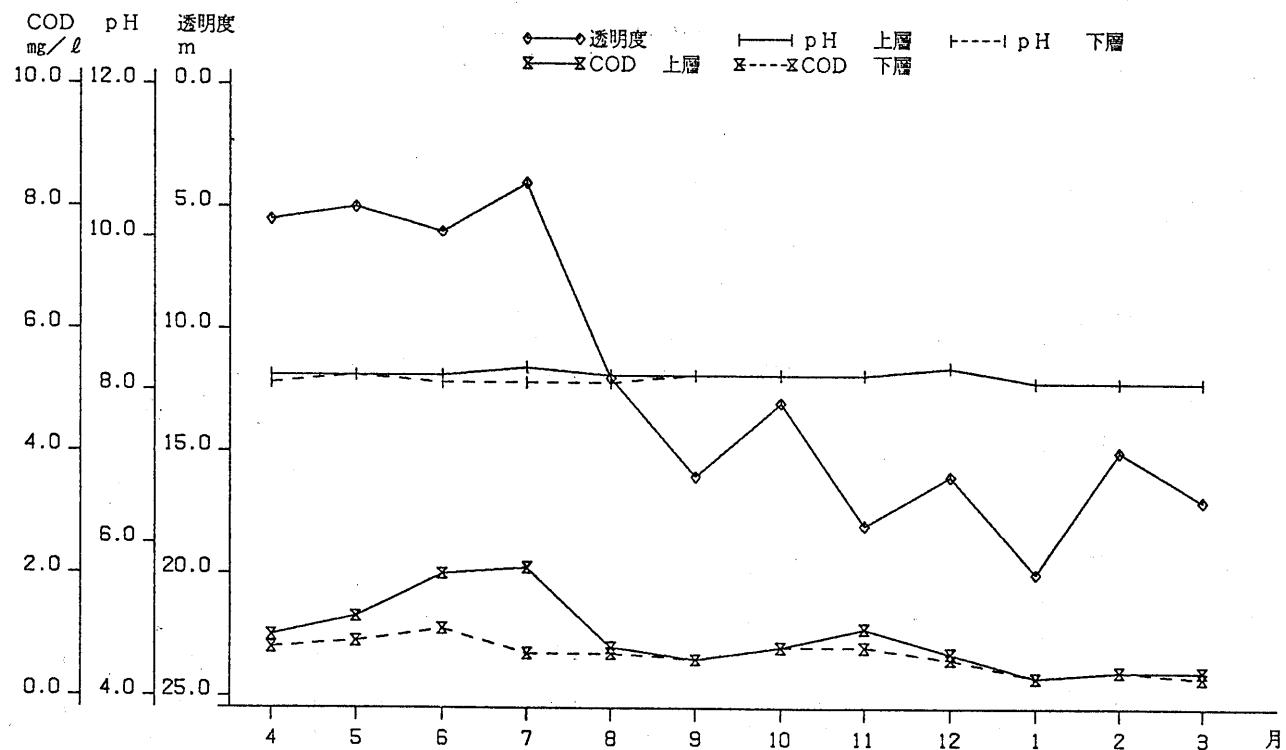


図 12-6 根府川沖



## IV 表

※ 1日に複数の測定を行っている項目については、昭和57年度から日間平均値を求め、これによって年平均値を算出する方法に改めた。  
これに伴い56年度以前の年平均値についても同様の方法により表示した。

表-1 各測定地点におけるBOD(COD)年平均値の推移

## 1. 河川(BOD)年平均値の推移

(単位: mg/l)

水域(支川)	類型	番号	測定地点	47~57年度 平均	58年度	59年度	60年度	61年度	62年度
多摩川	C	①	多摩川原橋	7.7	5.3	6.9	7.3	5.9	7.6
		2	多摩水道橋	5.9	4.3	5.2	5.2	4.5	5.7
		3	二子橋	10	5.9	7.4	5.8	6.0	7.2
		④	田園調布 取水堰(上)	* <sup>3</sup> 7.4	5.1	6.8	4.7	5.6	6.7
	D	5	ガス橋	6.7	5.3	5.2	5.2	4.1	5.1
		6	六郷橋	4.5	3.2	3.9	3.2	3.3	4.4
		⑦	大師橋	3.8	2.7	3.4	2.4	3.0	3.7
(三沢川)	C	8	一の橋	* <sup>4</sup> 20	22	19	23	23	22
(平瀬川)		9	平瀬橋	15	18	14	16	15	15
鶴見川	D	10	千代橋	13	9.6	13	7.6	9.5	8.7
		⑪	亀の子橋	13	9.7	10	9.9	10	11
	E	⑫	大綱橋	14	9.8	9.7	9.4	9.5	10
		13	末吉橋	15	7.0	8.0	7.1	7.9	8.3
		⑭	臨港鶴見川橋	7.2	3.5	4.3	4.2	4.3	4.9
(恩田川)	D	15	都橋	* <sup>3</sup> 17	11	15	9.9	11	11
(早淵川)	E	16	峯大橋	22	15	17	11	13	12
(矢上川)		17	一本橋	40	30	35	33	28	33
入江川	E	⑯	入江橋	47	20	25	23	15	18
帷子川	E	⑯	水道橋	19	16	20	12	10	9.8
大岡川	E	⑰	清水橋	15	8.1	11	7.3	6.1	5.0
宮川	E	⑱	瀬戸橋	15	12	12	10	7.1	6.5
侍従川	E	⑲	平瀬橋	12	8.3	8.1	9.5	6.0	4.2
鷹取川	E	⑳	追浜橋	22	19	21	17	14	14
平作川	E	㉑	夫婦橋	16	8.6	7.1	4.8	5.7	5.1
松越川	E	㉒	竹川合流後	* <sup>4</sup> 14	16	19	13	13	14

水域(支川)	類型	番号	測定地點	47~57年度 平均	58年度	59年度	60年度	61年度	62年度
下山川	E	㉖	下山橋	6.5	8.4	13	6.6	9.4	7.9
森戸川 ※葉山町内	E	㉗	森戸橋	9.6	11	11	9.3	11	9.2
田越川	E	㉘	渚橋	4.9	2.9	2.3	2.2	2.9	1.9
滑川	E	㉙	滑川橋	11	3.2	4.2	2.4	3.0	2.5
神戸川	E	㉚	神戸橋	17	19	17	14	17	13
境川	D	31	境橋	* <sup>2</sup> 11	12	14	12	12	12
		32	鶴間橋	27	17	19	24	22	20
		33	新道大橋	* <sup>3</sup> 22	15	14	20	17	16
		34	高鎌橋	19	18	20	16	14	17
		35	大道橋	14	11	12	11	11	12
		㉞	境川橋	13	10	11	10	9.5	10
(柏尾川)	D	37	吉倉橋	* <sup>3</sup> 19	19	18	12	11	11
		38	鷹匠橋	* <sup>4</sup> 12	14	13	11	12	12
		39	川名橋	12	9.6	8.6	10	9.0	9.8
		40	独川橋	—	—	—	—	9.7	8.3
引地川	D	41	下土棚大橋	* <sup>3</sup> 8.9	10	11	9.9	9.7	13
		42	石川橋	9.4	9.3	9.0	11	10	11
		㉞	富士見橋	8.9	8.3	7.2	7.4	8.3	8.0
相模川	A	44	小倉橋	1.2	1.0	1.0	0.9	1.0	1.0
		45	昭和橋	1.5	2.1	2.5	2.2	1.3	1.5
		46	相模大橋	1.5	1.4	1.8	1.6	1.7	1.8
		㉞	寒川取水堰(上)	1.7	1.4	1.8	1.5	1.6	1.6
(鳩川)	C	㉞	馬入橋	2.7	1.9	2.9	1.5	2.6	2.8
		49	まぶね橋	9.2	7.1	6.3	8.9	7.8	9.1
(中津川)		50	第1鮎津橋	1.2	1.5	1.8	1.5	1.1	1.2
(小鮎川)	A	51	第2鮎津橋	5.7	4.6	4.3	4.9	4.6	4.2
(玉川)		52	相川水位観測所	7.3	4.3	3.9	4.3	4.6	4.6
(永池川)		53	本川合流前	* <sup>3</sup> 7.4	8.6	6.9	8.4	13	10

水 域(支川)	類型	番号	測 定 地 点	47~57年度 平 均	58年度	59年度	60年度	61年度	62年度
(目久尻川)	C	54	河 原 橋	11	6.8	6.8	8.0	10	9.9
(小出川)		55	宮 の 下 橋	* <sup>1</sup> 11	10	10	16	17	13
金 目 川	A	⑥6	小田急鉄橋	6.1	5.5	6.4	6.5	4.8	5.9
	C	⑤7	花 水 橋	11	9.6	9.3	11	8.0	11
(鈴 川)	C	58	渋田川合流前	* <sup>3</sup> 5.8	5.4	7.6	7.6	7.0	10
		59	鈴川合流前	* <sup>3</sup> 7.1	9.0	13	11	11	13
葛 川	C	⑥0	吉 田 橋	10	8.8	11	13	11	13
中 村 川	C	⑥1	押 切 橋	5.1	3.5	4.2	4.8	4.9	5.3
森 戸 川	D	62	万 石 橋	2.3	2.2	2.5	2.7	2.5	2.7
*小田原市内		⑥3	親 木 橋	9.2	7.6	10	7.4	6.4	6.3
酒 匂 川	A	64	十 文 字 橋	1.3	0.7	0.8	0.7	0.8	0.9
		65	報 德 橋	1.3	1.3	1.1	1.1	0.9	1.4
		⑥6	飯泉取水堰(上)	1.5	1.6	2.1	1.6	2.1	2.4
	B	⑥7	酒 匂 橋	* <sup>4</sup> 1.3	1.5	1.4	1.6	1.6	2.2
(鮎沢川)	A	68	峰 下 橋	* <sup>3</sup> 1.1	0.8	0.9	1.0	0.8	1.0
(川音川)		69	文 久 橋	* <sup>3</sup> 0.9	0.6	0.8	0.7	0.6	0.8
(狩 川)		70	狩 川 橋	1.8	2.0	1.9	1.9	2.2	2.8
山 王 川	E	71	足柄小学校前	2.3	1.3	2.1	2.4	2.0	2.7
		⑦2	山 王 橋	4.0	3.0	3.5	2.8	3.0	2.9
早 川	A	73	觀 光 会 館 前	* <sup>3</sup> 1.4	1.0	1.3	1.3	1.5	1.5
		⑦4	早 川 橋	1.6	1.5	1.9	1.7	1.7	1.9
新 崎 川	B	⑦5	吉 浜 橋	1.5	1.3	1.9	1.6	1.5	1.5
千 歳 川	B	⑦6	千 歳 橋	2.9	2.2	2.2	2.1	2.1	2.1
(玄倉川) (河内川) (世附川)	A	77	落 合 発 電 所	* <sup>4</sup> 0.8	0.5	0.4	0.6	0.5	0.4
		78	玄倉水位観測所	* <sup>4</sup> 0.7	0.5	0.7	0.4	0.5	0.5
		79	湖 流 入 前	* <sup>4</sup> 0.8	0.6	0.6	0.4	0.6	0.6
		80	湖 流 入 前	* <sup>4</sup> 0.6	0.4	0.5	0.5	0.6	0.5

注 1. 番号が○でかこまれている測定地点は、環境基準点である。(以下同じ。)

2. \* 1 : 48年度から57年度までの各年度の年平均値の平均値

\* 2 : 49年度から57年度までの各年度の年平均値の平均値

\* 3 : 51年度から57年度までの各年度の年平均値の平均値

\* 4 : 55年度から57年度までの各年度の年平均値の平均値

2. 相模湖( BOD ), 津久井湖( BOD ), 芦ノ湖( COD ), 及び丹沢湖( COD )年平均値の推移

水域	類型	番号	測定地點	層	47~57年度 平均	58年度	59年度	60年度	61年度	62年度
相模湖	河川	①	境川橋	上	1.7	1.1	2.2	1.6	1.1	1.5
				下	1.8	1.4	1.8	1.6	1.1	1.7
				全	1.7	1.2	2.1	1.6	1.2	1.6
		2	日連大橋	上	2.3	0.8	1.6	1.5	1.2	1.2
				下	1.5	1.1	1.8	1.4	1.0	1.3
				全	1.9	1.0	1.7	1.5	1.2	1.3
	A	3	湖央西部	上	2.3	1.9	1.6	1.9	1.4	1.8
				下	1.2	1.0	1.3	1.4	0.9	1.2
				全	1.7	1.5	1.5	1.7	1.2	1.5
		4	湖央東部	上	2.3	1.5	1.6	2.2	1.4	1.7
				下	1.2	0.8	1.3	1.2	0.9	1.5
				全	1.6	1.2	1.5	1.7	1.2	1.6
	5	相模湖大橋	相模湖大橋	上	2.5	1.8	2.2	1.9	1.2	2.0
				下	1.4	0.7	1.4	1.1	0.8	1.9
				全	1.8	1.3	1.8	1.5	1.0	1.9
津久井湖	河川	①	沼本ダム	上	1.5	1.2	1.5	1.3	1.3	1.5
				下	1.4	1.2	1.5	1.4	1.0	1.5
				全	1.5	1.2	1.5	1.4	1.1	1.6
	A	2	名手橋	上	2.5	2.5	1.9	1.8	2.3	2.0
				下	1.3	1.2	1.3	1.2	1.1	1.5
				全	1.8	1.9	1.6	1.5	1.7	1.8
		3	湖央部	上	1.6	1.8	1.4	1.4	1.6	1.5
				下	1.3	1.1	1.2	0.9	1.0	1.4
				全	1.5	1.5	1.3	1.2	1.3	1.5
	4	道志橋	道志橋	上	3.0	2.8	4.5	1.5	2.4	3.2
				下	2.2	2.4	3.6	1.8	2.0	2.7
				全	2.6	2.7	4.1	1.7	2.2	3.0
芦ノ湖	湖沼	①	湖北中央部	上	1.9	1.8	1.6	1.4	1.7	1.7
				下	1.6	1.2	1.2	1.3	1.6	1.3
				全	1.8	1.6	1.4	1.3	1.7	1.5
		②	湖央部	上	1.7	1.7	1.8	1.5	1.8	1.8
				下	1.3	1.2	1.1	1.1	1.4	1.2
				全	1.6	1.4	1.5	1.3	1.6	1.5
	AA	③	湖西部	上	1.9	1.7	1.8	1.5	1.8	1.5
				下	1.3	0.9	1.2	1.0	1.3	1.1
				全	1.7	1.4	1.5	1.3	1.6	1.3
		④	湖東部	上	1.9	1.6	1.8	1.5	1.9	1.4
				下	1.3	1.2	1.3	1.2	1.5	1.1
				全	1.7	1.4	1.6	1.4	1.7	1.3

水域	類型	番号	測定地點	層	55~57年度 平均	58年度	59年度	60年度	61年度	62年度
丹沢湖	湖沼	①	湖央部	上	1.4	1.3	1.6	1.4	2.1	2.2
				下	0.9	0.8	0.9	1.0	0.9	1.0
				全	1.2	1.1	1.3	1.2	1.5	1.6
		2	大仏大橋	上	1.6	1.6	1.5	1.9	2.3	2.9
				下	1.1	1.0	1.1	1.6	1.2	1.4
				全	1.4	1.3	1.4	1.8	1.7	2.2
		A	湖東部	上	1.5	1.4	1.5	1.5	1.7	1.9
				下	1.0	1.0	1.0	1.5	1.0	1.4
				全	1.3	1.2	1.2	1.5	1.4	1.7
		4	湖西部	上	2.2	2.0	1.9	2.1	4.3	4.4
				下	1.0	1.1	0.9	1.3	1.1	1.4
				全	1.6	1.6	1.4	1.7	2.7	2.9

## 3. 東京湾(COD)年平均値の推移

83 84 85 86 87

番号	測定地点	類型	層	47~57年度 平均	58年度	59年度	60年度	61年度	62年度
1	多摩川河口先 N 35°32'06" E 139°46'23"	C	上	*2 5.6	6.1	6.2	5.6	5.6	6.0
			下	*2 4.6	5.2	4.9	4.7	5.0	5.1
			全	*2 5.1	5.7	5.6	5.2	5.3	5.6
2	川崎航路 N 35°30'13" E 139°46'52"	C	上	*2 4.1	4.8	5.4	5.0	4.4	4.9
			下	*2 2.2	3.0	3.3	3.3	2.9	3.1
			全	*2 3.2	3.9	4.4	4.1	3.6	4.0
③	京浜運河千鳥町 N 35°30'04" E 139°45'24"	C	上	3.5	4.4	5.1	5.5	4.3	4.6
			下	2.1	2.5	2.8	2.5	2.2	2.5
			全	2.8	3.5	4.0	4.1	3.3	3.6
④	川崎港防波堤沖 N 35°28'33" E 139°44'57"	C	上	3.6	5.1	5.2	7.2	4.4	4.5
			下	1.8	2.6	2.6	2.9	2.0	2.4
			全	2.7	3.9	3.9	5.1	3.2	3.5
⑤	京浜運河扇町 N 35°29'19" E 139°43'28"	C	上	3.6	4.5	5.4	5.7	4.3	4.9
			下	2.2	2.7	3.1	2.7	2.3	2.7
			全	3.0	3.6	4.3	4.2	3.3	3.8
⑥	鶴見川河口先 N 35°28'22" E 139°41'19"	C	上	5.6	4.5	5.6	5.5	5.2	4.4
			下	3.5	2.8	3.3	3.4	2.8	2.6
			全	4.5	3.7	4.5	4.4	4.0	3.5
⑦	横浜港内 N 35°27'25" E 139°39'01"	C	上	4.5	3.6	4.5	4.8	4.1	4.3
			下	2.9	2.1	2.3	2.3	2.2	2.2
			全	3.7	2.9	3.4	3.6	3.2	3.2
⑧	磯子沖 N 35°23'28" E 139°39'04"	C	上	4.3	4.1	3.7	3.7	3.3	3.3
			下	2.6	2.1	2.6	2.0	2.3	2.0
			全	3.4	3.1	3.2	2.9	2.8	2.7
⑨	夏島沖 N 35°18'44" E 139°39'06"	C	上	3.6	2.7	2.8	3.5	2.7	2.6
			下	2.6	2.0	2.0	2.1	2.1	1.9
			全	3.1	2.4	2.4	2.8	2.5	2.3
⑩	浮島沖 N 35°30'04" E 139°48'42"	B	上	3.6	5.8	5.7	5.4	4.8	4.8
			下	1.6	2.3	2.7	2.6	2.3	2.4
			全	2.6	(4.1)	(4.2)	(4.0)	3.6	3.6
⑪	平潟湾内 N 35°19'28" E 139°37'48"	B	上	5.7	5.5	5.4	5.6	4.7	4.9
			下	4.1	3.5	4.1	3.7	3.9	3.9
			全	4.8	(4.5)	(4.8)	(4.7)	(4.3)	(4.4)
⑫	千鳥町沖 N 35°28'50" E 139°47'56"	B	上	3.3	4.7	5.4	4.4	4.3	4.8
			下	1.4	2.2	2.2	2.3	2.0	2.1
			全	2.4	3.5	(3.8)	3.4	3.2	3.4
⑬	扇島沖 N 35°27'27" E 139°45'05"	B	上	3.2	6.0	5.7	6.4	4.5	4.5
			下	1.5	2.2	2.5	2.4	1.9	2.2
			全	2.4	(4.2)	(4.1)	(4.5)	3.2	3.4

番号	測定地点	類型	層	47~57年度 平均	58年度	59年度	60年度	61年度	62年度
⑭	本牧沖 N 35°24'00" E139°41'28"	B	上	4.0	3.3	3.6	7.4	3.6	3.4
			下	2.3	1.1	1.3	1.8	1.3	1.3
			全	3.2	2.2	2.5	4.6	2.5	2.4
⑮	富岡沖 N 35°22'00" E139°45'40"	B	上	3.9	2.9	3.4	6.2	3.5	3.2
			下	2.7	1.6	1.7	2.0	1.8	1.9
			全	3.3	2.3	2.6	4.1	2.7	2.6
16	平潟湾沖 N 35°20'00" E139°39'42"	B	上	* <sup>1</sup> 4.0	2.8	3.4	6.9	3.2	3.1
			下	* <sup>1</sup> 2.4	1.6	1.8	2.1	1.9	1.8
			全	* <sup>1</sup> 3.1	2.2	2.6	4.5	2.6	2.5
⑯	大津湾 N 35°16'32" E139°42'12"	B	上	3.3	2.5	3.1	4.4	2.7	2.6
			下	1.9	1.2	1.4	1.5	1.3	1.5
			全	2.6	1.9	2.3	3.0	2.0	2.0
⑰	浦賀港内 N 35°14'04" E139°43'40"	B	上	2.5	1.8	2.1	2.7	2.0	2.2
			下	2.0	1.2	1.6	1.8	1.5	1.7
			全	2.2	1.6	1.9	2.3	1.8	2.0
⑲	久里浜港内 N 35°13'13" E139°43'20"	B	上	2.9	1.7	2.1	3.0	2.0	2.0
			下	2.1	1.4	1.8	1.9	1.7	1.8
			全	2.4	1.6	2.0	2.5	1.9	1.9
⑳	中の瀬北 N 35°25'04" E139°44'56"	A	上	4.0	3.5	3.6	4.8	3.4	3.2
			下	2.0	1.8	1.5	2.0	1.5	1.8
			全	3.0	2.7	2.6	3.4	2.4	2.5
㉑	中の瀬南 N 35°20'50" E139°43'30"	A	上	3.3	2.5	2.9	3.1	2.8	2.5
			下	2.0	1.2	1.4	1.5	1.3	1.6
			全	2.7	1.9	2.1	2.3	2.1	2.1
㉒	第三海堡東 N 35°16'56" E139°45'40"	A	上	2.7	1.9	2.0	2.4	2.1	1.8
			下	1.7	1.0	0.8	1.2	1.3	1.0
			全	2.2	1.5	1.5	1.9	1.7	1.4
㉓	浦賀沖 N 35°13'28" E139°46'00"	A	上	2.4	1.8	2.3	2.4	2.1	1.8
			下	1.5	0.8	0.8	1.0	0.8	0.8
			全	2.0	1.3	1.6	1.7	1.4	1.3

注1 \* 1 : 49年度から57年度までの各年度の年平均値の平均値

\* 2 : 55年度から57年度までの各年度の年平均値の平均値

4. 相模湾( COD )年平均値の推移

番号	測定地点	類型	層	55~57年度 平均	58年度	59年度	60年度	61年度	62年度
1	江ノ島西 N 35°17'54" E139°28'33"	A	上	3.6	2.6	2.8	2.8	2.4	3.5
			下	1.1	1.4	1.5	1.7	1.2	1.3
			全	2.4	2.0	2.2	2.3	1.9	2.4
②	辻堂沖 N 35°18'12" E137°27'04"	A	上	1.6	1.4	2.1	1.8	1.5	1.4
			下	0.9	1.2	1.1	1.3	1.1	1.1
			全	1.2	1.3	1.7	1.6	1.3	1.3
③	城ヶ島沖 N 35°06'48" E139°37'48"	A	上	1.7	1.5	1.4	1.5	1.6	1.3
			下	0.8	0.9	0.8	0.8	1.0	0.9
			全	1.2	1.2	1.1	1.2	1.3	1.1
4	城ヶ島西 N 35°07'50" E139°36'00"	A	上	1.4	1.4	1.3	1.6	1.6	0.9
			下	0.8	0.8	0.7	0.7	0.9	0.7
			全	1.2	1.1	1.1	1.2	1.3	0.8
⑤	小網代湾 N 35°10'00" E139°36'00"	A	上	1.3	1.3	1.2	1.4	1.5	0.9
			下	0.6	0.8	0.7	0.8	0.7	0.7
			全	1.0	1.1	1.0	1.1	1.1	0.8
6	小田和湾 N 35°12'45" E139°36'35"	A	上	1.5	1.2	1.7	1.7	1.8	1.2
			下	1.1	1.1	1.1	1.4	1.2	1.1
			全	1.3	1.2	1.4	1.6	1.5	1.2
7	葉山沖 N 35°15'18" E139°33'48"	A	上	1.4	1.3	1.1	1.5	1.4	1.1
			下	0.8	0.9	0.8	0.9	0.9	0.9
			全	1.1	1.1	1.0	1.2	1.2	1.0
⑧	由比ヶ浜沖 N 35°17'00" E139°32'48"	A	上	1.3	1.2	1.2	1.6	1.4	1.1
			下	1.0	0.9	0.9	1.0	1.0	1.1
			全	1.2	1.1	1.1	1.3	1.2	1.1
9	七里ヶ浜沖 N 35°17'24" E139°30'24"	A	上	1.3	1.5	1.8	1.6	1.3	1.1
			下	0.9	1.1	1.1	1.0	1.2	1.1
			全	1.1	1.3	1.5	1.3	1.3	1.2
10	茅ヶ崎沖 N 35°17'54" E139°24'00"	A	上	1.7	1.3	1.8	1.4	1.8	1.2
			下	0.9	0.9	0.8	0.7	1.0	0.9
			全	1.3	1.1	1.3	1.1	1.4	1.1
11	平塚沖 N 35°18'12" E139°21'12"	A	上	1.8	1.3	2.1	1.8	1.8	1.5
			下	1.0	1.1	1.2	1.0	1.1	1.0
			全	1.5	1.2	1.7	1.4	1.5	1.3
⑫	大磯沖 N 35°17'24" E139°17'24"	A	上	1.4	1.5	2.0	1.5	1.6	1.2
			下	0.8	1.0	1.2	0.9	1.0	0.9
			全	1.1	1.3	1.6	1.2	1.3	1.1
13	湾央東 N 35°14'36" E139°28'33"	A	上	1.3	1.3	1.4	1.4	1.3	1.1
			下	0.8	0.8	0.7	0.8	0.9	0.9
			全	1.1	1.1	1.1	1.2	1.1	1.0

番号	測定地点	類型	層	55~57年度 平均	58年度	59年度	60年度	61年度	62年度
⑯	湾 央 N 35°14' 36" E139°22' 36"	A	上	1.3	1.4	1.3	1.5	1.3	1.0
			下	0.8	1.1	0.7	0.8	0.8	0.8
			全	1.0	1.3	1.1	1.2	1.1	0.9
15	湾 央 西 N 35°14' 36" E139°16' 36"	A	上	1.4	1.1	1.2	1.3	1.2	0.8
			下	0.8	0.6	0.6	0.6	0.7	0.6
			全	1.1	0.9	0.9	1.0	1.0	0.7
16	国 府 津 沖 N 35°16' 08" E139°13' 44"	A	上	1.2	1.2	1.5	1.2	1.5	1.0
			下	0.6	0.7	0.6	0.5	0.8	0.7
			全	0.9	1.0	1.1	0.9	1.1	0.8
17	小 田 原 沖 N 35°14' 36" E139°11' 24"	A	上	1.2	1.1	1.3	1.5	1.3	0.8
			下	0.7	0.6	0.6	0.6	0.7	0.6
			全	0.9	0.9	0.9	1.1	1.0	0.7
⑰	根 府 川 沖 N 35°12' 24" E139°09' 48"	A	上	1.2	1.2	1.2	1.5	1.3	1.0
			下	0.7	0.7	0.8	0.7	0.7	0.7
			全	1.0	1.0	1.0	1.1	1.0	0.8
19	真 鶴 沖 N 35°09' 31" E139°09' 48"	A	上	1.4	1.4	1.6	1.4	1.4	0.8
			下	0.6	0.9	0.9	0.7	0.7	0.6
			全	1.0	1.2	1.3	1.1	1.1	0.7
⑳	吉 浜 沖 N 35°08' 26" E139°07' 56"	A	上	1.2	1.2	1.6	1.3	1.2	0.8
			下	0.9	0.9	0.8	0.8	1.0	0.8
			全	1.1	1.1	1.3	1.1	1.1	0.9

表-2 各測定地点におけるBOD(COD)75%値の推移

## 1 河川(BOD)年平均値の推移

(単位: mg/l)

水域(支川)	類型	番号	測定地点	47~57年度 平均	58年度	59年度	60年度	61年度	62年度
多摩川	C	①	多摩川原橋	9.8	7.1	7.5	7.5	6.7	9.0
		2	多摩水道橋	7.1	5.0	5.4	6.3	4.7	6.7
		3	二子橋	12	8.2	7.8	7.0	7.4	8.9
		④	田園調布 取水堰(上)	* <sup>3</sup> 8.7	5.9	7.3	5.5	6.8	8.0
	D	5	ガス橋	8.0	6.2	6.1	6.2	4.2	5.8
		6	六郷橋	5.2	3.8	4.0	3.8	3.5	5.4
		⑦	大師橋	4.5	3.1	3.5	3.0	3.3	3.9
(三沢川)	C	8	一の橋	* <sup>4</sup> 24	19	23	34	37	24
(平瀬川)		9	平瀬橋	17	27	16	14	19	19
鶴見川	D	10	千代橋	15	12	14	11	9.3	11
		⑪	亀の子橋	15	11	12	14	12	11
	E	⑫	大綱橋	16	12	10	11	9.8	12
		13	末吉橋	17	8.0	8.7	7.6	8.4	8.5
	D	⑭	臨港鶴見川橋	8.0	3.7	4.2	5.3	4.2	5.7
		15	都橋	* <sup>3</sup> 20	12	17	14	10	11
(早淵川)	E	16	峯大橋	25	19	17	13	14	13
(矢上川)		17	一本橋	50	43	43	44	38	40
入江川	E	⑯	入江橋	57	23	26	29	18	17
帷子川	E	⑯	水道橋	18	23	24	11	13	12
大岡川	E	⑰	清水橋	14	12	13	8.6	7.3	4.9
宮川	E	⑱	瀬戸橋	17	13	14	13	6.5	7.8
侍従川	E	⑲	平潟橋	14	8.2	9.1	8.7	6.2	5.1
鷹取川	E	⑳	追浜橋	26	21	27	19	18	19
平作川	E	㉑	夫婦橋	19	9.1	8.1	6.3	6.8	5.0
松越川	E	㉒	竹川合流後	* <sup>4</sup> 15	18	19	12	16	16

水域(支川)	類型	番号	測定地点	47~57年度 平均	58年度	59年度	60年度	61年度	62年度
下山川	E	㉖	下山橋	7.0	8.2	15	6.5	10	10
森戸川 ※葉山町内	E	㉗	森戸橋	12	11	11	10	16	12
田越川	E	㉘	渚橋	5.9	3.8	2.8	2.5	3.7	2.1
滑川	E	㉙	滑川橋	13	3.9	3.4	2.5	3.8	3.0
神戸川	E	㉚	神戸橋	19	19	18	15	22	16
境川	D	31	境橋	* <sup>2</sup> 18	13	16	15	14	15
		32	鶴間橋	32	20	21	28	22	21
		33	新道大橋	* <sup>3</sup> 24	18	15	19	18	20
		34	高鎌橋	22	16	23	21	15	18
		35	大道橋	16	15	14	11	13	14
		㉖	境川橋	16	12	13	10	10	11
(柏尾川)	D	37	吉倉橋	* <sup>3</sup> 22	18	18	15	12	14
		38	鷹匠橋	* <sup>4</sup> 14	12	11	11	14	15
		39	川名橋	15	11	9.3	12	12	13
(独川)		40	独川橋	-	-	-	-	12	9.4
引地川	D	41	下土棚大橋	* <sup>3</sup> 10	12	14	12	9.9	17
		42	石川橋	11	11	10	13	13	14
		㉓	富士見橋	9.5	9.5	7.8	7.9	11	8.8
相模川	A	44	小倉橋	1.4	1.0	1.1	1.1	1.1	1.3
		45	昭和橋	1.8	2.5	2.4	2.4	1.7	1.7
		46	相模大橋	1.7	1.8	2.0	2.0	1.9	2.2
		㉗	寒川取水堰(上)	2.1	1.5	1.9	1.8	1.8	2.0
(鳩川)	C	㉘	馬入橋	3.2	2.2	3.2	1.7	2.8	3.3
(中津川)		49	まぶね橋	10	9.2	7.3	11	8.3	13
(小鮎川)	A	50	第1鮎津橋	1.4	1.8	1.7	1.7	1.5	1.5
(玉川)		51	第2鮎津橋	6.9	6.1	4.3	6.2	5.2	5.2
(永池川)		52	相川水位観測所	9.3	5.8	4.5	5.1	6.3	6.0
		53	本川合流前	* <sup>3</sup> 92	8.9	7.2	9.1	17	13

水域(支川)	類型	番号	測定地点	47~57年度 平均	58年度	59年度	60年度	61年度	62年度
(目久尻川)	C	54	河原橋	13	7.2	7.4	8.6	10	12
(小出川)	C	55	宮の下橋	* <sup>1</sup> 14	12	13	15	24	16
金目川	A	56	小田急鉄橋	7.3	6.5	7.2	6.4	6.3	7.2
	C	57	花水橋	13	12	12	12	9.7	13
(鈴川)	C	58	渋田川合流前	* <sup>3</sup> 7.1	7.2	9.3	9.6	8.1	12
(渋田川)	C	59	鈴川合流前	* <sup>3</sup> 8.4	9.5	18	12	17	20
葛川	C	60	吉田橋	12	12	12	11	12	15
中村川	C	61	押切橋	5.7	3.8	4.9	5.4	5.7	6.5
森戸川	D	62	万石橋	2.8	3.1	3.3	3.3	3.1	2.4
※小田原市内	D	63	親木橋	11	10	9.4	9.6	10	7.5
酒匂川	A	64	十文字橋	1.5	0.7	0.9	1.0	0.8	1.2
		65	報徳橋	1.5	1.5	1.5	1.4	1.3	1.7
		66	飯泉取水堰(上)	1.9	2.2	3.1	2.2	3.4	3.2
	B	67	酒匂橋	* <sup>4</sup> 1.7	2.4	1.7	2.2	1.9	2.7
(鮎沢川)	A	68	峰下橋	* <sup>3</sup> 1.2	0.7	1.0	1.3	0.8	1.2
(川音川)	A	69	文久橋	* <sup>3</sup> 1.1	0.8	0.8	1.0	0.6	0.8
(狩川)		70	狩川橋	2.2	3.0	2.4	2.2	2.4	3.1
山王川	E	71	足柄小学校前	2.7	1.6	2.4	3.1	2.8	3.3
		72	山王橋	4.6	3.7	4.4	3.0	3.6	3.6
早川	A	73	観光会館前	* <sup>3</sup> 1.6	1.1	1.5	1.4	1.7	1.5
		74	早川橋	1.9	1.9	2.2	1.9	1.9	2.2
新崎川	B	75	吉浜橋	1.8	1.3	2.1	1.8	1.6	1.9
千歳川	B	76	千歳橋	3.4	2.8	2.2	2.6	2.4	2.8
丹沢湖流入河川 (落合発電所放流水)	A	77	落合発電所	* <sup>4</sup> 0.9	0.6	0.5	0.7	0.6	0.4
(玄倉川)		78	玄倉水位観測所	* <sup>4</sup> 0.8	0.5	0.6	0.4	0.5	0.8
(河内川)		79	湖流入前	* <sup>4</sup> 0.9	0.8	0.8	0.5	0.7	0.7
(世附川)		80	湖流入前	* <sup>4</sup> 0.7	0.6	0.6	0.5	0.6	0.4

注 1 番号が○でかこまれている測定地点は、環境基準点である。(以下同じ。)

2 75%値とは、年間の日間平均値の全データをその値の小さいものから順に並べたときの  $0.75 \times n$  番目 ( $n$  は日間平均値のデータ数) のデータ値である。

3 \* 1 : 48年度から57年度までの75%値の平均値

\* 2 : 49年度から57年度までの75%値の平均値

\* 3 : 51年度から57年度までの75%値の平均値

\* 4 : 55年度から57年度までの75%値の平均値

2 相模湖( BOD )、津久井湖( BOD )、芦ノ湖( COD )、及び丹沢湖( COD ) 75%値の推移

水域	類型	番号	測定地点	層	47~57年度 平均	58年度	59年度	60年度	61年度	62年度
相 模 湖	河川 A	①	境川橋	上	1.8	1.2	3.5	2.0	1.3	1.6
				下	1.9	1.6	2.5	1.9	1.6	2.3
				全	2.0	1.4	2.7	1.8	1.3	2.0
		2	日連大橋	上	2.6	1.1	1.8	1.7	1.6	1.3
				下	1.6	1.4	2.1	1.4	1.3	1.6
				全	2.0	1.4	1.9	1.7	1.3	1.4
		3	湖央西部	上	2.9	2.5	1.9	2.6	1.9	2.0
				下	1.4	1.2	1.4	1.3	1.2	1.4
				全	2.1	1.7	1.7	2.3	1.4	1.5
		4	湖央東部	上	2.6	1.8	2.1	3.2	1.5	2.1
				下	1.4	1.0	1.6	1.6	1.1	1.9
				全	1.9	1.1	1.7	2.1	1.2	2.0
		5	相模湖大橋	上	3.3	1.8	2.9	2.2	1.2	2.0
				下	1.5	0.8	1.3	1.4	1.0	2.0
				全	2.2	1.3	2.3	1.8	1.1	3.2
津 久 井 湖	河川 A	①	沼本ダム	上	1.5	1.5	1.5	1.6	1.3	1.3
				下	1.7	1.3	1.7	1.4	1.1	1.5
				全	1.6	1.3	1.5	1.5	1.4	1.4
		2	名手橋	上	2.7	3.1	1.8	2.1	3.1	2.0
				下	1.5	1.3	1.4	1.4	1.2	1.9
				全	2.0	2.1	1.6	2.0	2.0	2.1
		3	湖央部	上	2.0	2.2	1.3	1.7	1.9	1.6
				下	1.6	1.2	1.5	1.1	1.1	1.5
				全	1.6	2.0	1.3	1.3	1.7	1.4
		4	道志橋	上	3.8	4.6	5.7	1.8	2.7	5.2
				下	2.6	3.2	3.2	2.0	2.2	3.5
				全	3.0	4.1	3.7	1.9	2.2	4.5
芦 ノ 湖	湖沼 AA	①	湖北中央部	上	2.1	1.7	1.8	1.5	2.0	1.7
				下	1.8	1.4	1.5	1.5	1.8	1.4
				全	2.0	1.9	1.6	1.4	1.9	1.5
		②	湖央部	上	2.0	1.7	2.0	1.5	2.1	2.3
				下	1.5	1.3	1.3	1.2	1.4	1.2
				全	1.8	1.5	1.6	1.3	1.8	1.6
		③	湖西部	上	2.2	1.9	2.0	1.6	2.0	1.6
				下	1.4	0.8	1.4	1.1	1.3	1.2
				全	1.9	1.5	1.6	1.3	1.8	1.5
		④	湖東部	上	2.2	1.9	2.1	1.7	2.1	1.5
				下	1.5	1.5	1.5	1.3	1.6	1.2
				全	2.0	1.7	1.8	1.5	1.9	1.4

水域	類型	番号	測定地点	層	55~57年度 平均	58年度	59年度	60年度	61年度	62年度
丹沢湖	湖沼	①	湖央部	上	1.5	1.4	1.8	1.6	1.8	2.8
				下	1.0	0.8	1.2	1.2	1.0	1.2
				全	1.3	1.3	1.5	1.3	1.4	1.9
		2	大仏大橋	上	2.0	1.8	1.4	2.0	2.3	2.7
				下	1.1	0.9	1.0	1.6	1.3	1.7
				全	1.6	1.7	1.2	2.0	1.9	2.2
		A	湖東部	上	1.6	1.3	1.5	1.7	2.0	2.2
				下	1.0	1.0	1.0	1.6	1.0	1.5
				全	1.3	1.7	1.2	1.7	1.7	1.9
		4	湖西部	上	2.3	2.7	2.0	2.1	4.8	6.7
				下	1.0	1.3	1.1	1.4	1.2	1.5
				全	1.7	1.6	1.4	1.8	3.0	4.1

)

## 3 東京湾 (C O D) 75%値の推移

番号	測定地点	類型	層	47~57年度 平均	58年度	59年度	60年度	61年度	62年度
1	多摩川河口先 N 35°32' 06" E 139°46' 23"	C (5)	上	* <sup>2</sup> 6.7	6.5	6.5	7.0	6.3	7.2
			下	* <sup>2</sup> 6.1	6.3	5.5	5.6	5.5	6.1
			全	* <sup>2</sup> 6.4	6.7	6.0	6.5	5.9	6.8
2	川崎航路 N 35°30' 13" E 139°46' 52"	C (6)	上	* <sup>2</sup> 4.9	5.8	5.5	5.3	5.7	5.9
			下	* <sup>2</sup> 2.3	3.3	3.6	3.8	3.5	3.5
			全	* <sup>2</sup> 3.7	4.6	4.9	4.1	4.6	4.9
③	京浜運河千鳥町 N 35°30' 04" E 139°45' 24"	C (6)	上	3.9	5.4	5.7	5.8	5.4	5.5
			下	3.4	2.6	3.2	2.8	2.5	2.7
			全	3.2	3.9	4.3	4.1	3.7	3.8
④	川崎港防波堤沖 N 35°28' 33" E 139°44' 57"	C (6)	上	3.9	5.5	5.7	5.2	6.1	5.6
			下	2.1	2.8	2.9	3.5	2.1	2.8
			全	2.8	4.0	4.0	4.4	4.1	3.8
⑤	京浜運河扇町 N 35°29' 19" E 139°43' 28"	C (6)	上	4.0	5.8	6.1	4.5	5.4	5.6
			下	2.6	2.9	3.5	3.0	2.4	2.7
			全	3.3	4.2	4.5	4.2	3.8	4.5
⑥	鶴見川河口先 N 35°28' 22" E 139°41' 19"	C (6)	上	6.4	5.3	6.6	6.4	6.0	5.4
			下	4.3	3.3	3.3	3.2	3.1	2.8
			全	5.4	3.9	4.8	4.4	4.7	4.1
⑦	横浜港内 N 35°27' 25" E 139°39' 01"	C (6)	上	5.2	4.6	4.9	4.7	5.1	5.6
			下	3.5	2.5	2.6	2.7	2.4	2.3
			全	4.2	3.6	3.7	3.7	3.7	4.1
⑧	磯子沖 N 35°23' 28" E 139°39' 04"	C (7)	上	4.3	4.5	4.4	4.1	4.3	3.8
			下	2.9	2.4	3.1	2.4	2.7	2.1
			全	3.5	3.1	3.7	3.4	3.6	2.9
⑨	夏島沖 N 35°18' 44" E 139°39' 06"	C (8)	上	4.4	2.6	3.3	3.6	3.7	3.2
			下	2.9	2.0	2.3	2.3	2.1	2.2
			全	3.6	2.7	2.7	3.0	2.9	2.5
⑩	浮島沖 N 35°30' 04" E 139°48' 42"	B (9)	上	4.2	6.8	5.7	5.9	6.7	5.5
			下	1.9	2.6	2.9	2.7	2.6	2.5
			全	3.0	4.5	4.3	4.0	4.5	4.0
⑪	平潟湾内 N 35°19' 28" E 139°37' 48"	B (10)	上	6.6	5.4	6.2	7.0	5.3	6.1
			下	4.6	3.8	4.8	4.5	4.8	5.1
			全	5.6	4.4	5.2	5.2	5.1	5.3
⑫	千鳥町沖 N 35°28' 50" E 139°47' 56"	B (12)	上	3.9	6.0	5.8	5.1	5.5	5.6
			下	1.8	2.7	2.4	2.4	2.3	2.4
			全	2.7	3.9	4.2	3.9	3.7	4.0
⑬	扇島沖 N 35°27' 27" E 139°45' 05"	B (12)	上	3.7	5.3	6.3	5.7	5.4	5.5
			下	1.8	2.5	2.9	2.5	2.3	2.5
			全	2.7	3.9	4.2	4.1	4.0	3.9

番号	測定地點	類型	層	47~57年度 平均	58年度	59年度	60年度	61年度	62年度
⑭	本牧沖 N 35° 24' 00" E 139° 41' 28"	B (12)	上	4.8	3.5	4.0	4.5	4.7	4.2
			下	2.8	1.2	1.6	1.8	1.4	1.6
			全	3.6	2.4	2.8	3.5	3.0	2.7
⑮	富岡沖 N 35° 22' 00" E 139° 45' 40"	B (12)	上	4.6	3.9	4.4	3.5	4.3	3.9
			下	3.1	1.5	1.9	2.0	1.9	2.0
			全	3.7	2.8	3.1	2.7	3.4	3.0
⑯	平潟湾沖 N 35° 20' 00" E 139° 39' 42"	B (12)	上	*1 3.9	3.6	3.8	3.7	4.1	3.8
			下	*1 2.9	2.2	2.4	2.1	2.0	1.8
			全	*1 3.4	2.7	3.0	2.6	3.3	2.8
⑰	大津湾 N 35° 16' 32" E 139° 42' 12"	B (13)	上	3.9	2.8	3.6	3.3	4.0	3.6
			下	2.4	1.2	1.6	1.6	1.5	1.7
			全	3.0	2.0	2.5	2.7	2.5	2.7
⑱	浦賀港内 N 35° 14' 04" E 139° 43' 40"	B (14)	上	3.1	2.5	2.3	2.8	2.5	2.4
			下	2.4	1.6	1.8	2.0	2.0	1.8
			全	2.7	2.0	2.1	2.5	2.3	2.0
⑲	久里浜港内 N 35° 13' 13" E 139° 43' 20"	B (15)	上	3.6	2.1	2.3	4.0	2.7	2.5
			下	2.3	1.7	2.0	2.4	2.1	2.2
			全	2.9	1.9	2.3	3.0	2.5	2.3
⑳	中の瀬北 N 35° 25' 04" E 139° 44' 56"	A (16)	上	4.7	3.9	4.0	4.1	4.4	4.2
			下	2.6	2.0	1.7	2.2	1.5	1.9
			全	3.5	2.9	2.9	3.6	2.9	2.9
㉑	中の瀬南 N 35° 20' 50" E 139° 43' 30"	A (16)	上	4.1	3.4	3.0	3.3	4.0	3.4
			下	2.2	1.4	1.7	1.6	1.4	1.3
			全	3.2	2.3	2.4	2.7	2.6	2.3
㉒	第三海堡東 N 35° 16' 56" E 139° 45' 40"	A (17)	上	3.2	1.9	2.1	3.3	2.8	2.6
			下	2.0	1.2	0.9	1.2	1.1	1.1
			全	2.6	1.6	1.6	2.4	1.9	1.9
㉓	浦賀沖 N 35° 13' 28" E 139° 46' 00"	A (17)	上	2.9	2.0	2.4	2.8	3.3	2.4
			下	1.8	0.9	0.9	1.0	0.9	0.9
			全	2.2	1.6	1.7	1.9	2.0	1.6

注1 \*1 : 49年度から57年度までの各年度の75%値の平均値

\*2 : 55年度から57年度までの各年度の75%値の平均値

注2 類型欄の( )内の数字は、あてはめ水域の番号を示す。(以下同じ)

4. 相模湾( COD ) 75%値の推移

番号	測定地点	類型	層	55~57年度 平均	58年度	59年度	60年度	61年度	62年度
1	江ノ島西 N 35°17' 54" E139°28' 33"	A (1)	上	4.6	3.4	4.6	3.8	2.8	4.2
			下	1.4	1.5	1.5	2.0	1.2	1.4
			全	3.1	2.4	3.0	2.7	2.2	2.9
②	辻堂沖 N 35°18' 12" E137°27' 04"	A (1)	上	2.1	1.4	2.6	2.6	1.9	1.8
			下	1.0	1.2	1.5	1.9	1.4	1.2
			全	1.6	1.4	2.0	2.2	1.7	1.7
③	城ヶ島沖 N 35°06' 48" E139°37' 48"	A (2)	上	1.9	2.0	1.8	1.6	1.8	1.3
			下	1.0	0.9	1.1	0.9	1.0	1.0
			全	1.4	1.4	1.3	1.4	1.5	1.1
4	城ヶ島西 N 35°07' 50" E139°36' 00"	A (2)	上	1.6	1.9	1.5	1.7	2.2	1.0
			下	0.9	1.1	0.9	0.9	1.0	0.9
			全	1.3	1.3	1.1	1.6	1.5	0.9
⑤	小網代湾 N 35°10' 00" E139°36' 00"	A (2)	上	1.5	1.3	1.7	1.9	2.0	1.0
			下	0.8	0.9	0.9	0.8	0.9	0.8
			全	1.1	1.2	1.2	1.5	1.3	0.9
6	小田和湾 N 35°12' 45" E139°36' 35"	A (2)	上	1.7	1.4	2.0	2.2	2.5	1.7
			下	1.3	1.4	1.5	1.8	1.4	1.3
			全	1.6	1.3	1.8	1.9	1.7	1.5
7	葉山沖 N 35°15' 18" E139°33' 48"	A (2)	上	1.7	1.3	1.5	2.0	2.2	1.2
			下	0.9	1.1	1.0	1.0	1.0	1.1
			全	1.3	1.1	1.1	1.5	1.5	1.2
⑧	由比ヶ浜沖 N 35°17' 00" E139°32' 48"	A (2)	上	1.5	1.1	1.8	2.0	1.7	1.2
			下	1.2	1.1	1.0	1.1	1.2	1.2
			全	1.3	1.1	1.3	1.7	1.5	1.3
9	七里ヶ浜沖 N 35°17' 24" E139°30' 24"	A (2)	上	1.6	1.5	2.4	2.5	1.6	1.4
			下	1.0	1.3	1.1	1.3	1.3	1.4
			全	1.3	1.4	2.0	1.9	1.5	1.4
10	茅ヶ崎沖 N 35°17' 54" E139°24' 00"	A (2)	上	2.3	1.6	1.8	1.7	2.3	1.6
			下	1.1	1.1	0.8	0.9	1.0	0.9
			全	1.8	1.4	1.3	1.5	1.8	1.3
11	平塚沖 N 35°18' 12" E139°21' 12"	A (2)	上	2.3	1.5	2.1	2.1	2.5	2.0
			下	1.3	1.4	1.5	1.2	1.3	1.1
			全	1.8	1.5	1.8	1.8	2.0	1.7
⑫	大磯沖 N 35°17' 24" E139°17' 24"	A (2)	上	1.8	2.1	2.5	1.5	1.8	1.2
			下	1.0	1.1	1.4	1.0	1.0	1.0
			全	1.3	1.7	1.9	1.2	1.3	1.1
13	湾央東 N 35°14' 36" E139°28' 33"	A (2)	上	1.8	1.4	1.0	1.7	1.8	1.2
			下	1.0	0.9	0.8	0.9	1.0	1.0
			全	1.3	1.1	0.9	1.3	1.5	1.3

番号	測定地点	類型	層	47~57年度 平均	58年度	59年度	60年度	61年度	62年度
⑯	湾 央 N 35°14' 36" E139°22' 36"	A (2)	上	1.5	1.5	1.6	1.8	1.6	1.2
			下	0.9	0.9	0.8	1.0	0.8	1.0
			全	1.2	1.3	1.2	1.6	1.2	1.1
15	湾 央 西 N 35°14' 36" E139°16' 36"	A (2)	上	1.8	1.2	1.4	1.4	1.4	1.0
			下	1.0	0.7	0.8	0.6	0.8	0.9
			全	1.4	0.9	1.2	1.2	1.1	0.9
16	国 府 津 沖 N 35°16' 08" E139°13' 44"	A (2)	上	1.5	1.4	1.6	1.1	1.7	1.0
			下	0.8	0.8	0.9	0.7	0.9	0.8
			全	1.1	1.3	1.1	1.0	1.3	0.8
17	小 田 原 沖 N 35°14' 36" E139°11' 24"	A (2)	上	1.6	1.4	1.4	1.5	1.6	1.0
			下	0.8	0.8	0.9	0.8	0.8	0.8
			全	1.2	1.1	1.1	1.1	1.1	0.9
⑰	根 府 川 沖 N 35°12' 24" E139°09' 48"	A (2)	上	1.6	1.4	1.2	1.9	1.5	1.1
			下	0.9	1.0	1.1	0.9	0.8	0.8
			全	1.2	1.1	1.1	1.4	1.2	1.0
19	真 鶴 沖 N 35°09' 31" E139°09' 48"	A (2)	上	1.7	1.8	1.8	1.6	1.7	1.0
			下	0.7	1.0	1.1	0.7	0.9	0.7
			全	1.3	1.3	1.4	1.5	1.2	1.0
⑳	吉 浜 沖 N 35°08' 26" E139°07' 56"	A (2)	上	1.6	1.4	2.1	2.1	1.4	1.0
			下	1.1	1.0	1.0	1.0	1.1	1.0
			全	1.4	1.2	1.3	1.3	1.3	0.9

表-3 生活環境項目類型別総括表（62年度）

水 域 類 型	項目			水素イオン濃度 (pH)			生物化学的 酸素要求量 (BOD)			化 学 的 酸 素 要 求 量 (COD)			浮遊物質量 (SS)		
	n	m	$\frac{m}{n} \times 100$	n	m	$\frac{m}{n} \times 100$	n	m	$\frac{m}{n} \times 100$	n	m	$\frac{m}{n} \times 100$	n	m	$\frac{m}{n} \times 100$
河 川	A	905	18	2.0	905	356	39.3	(905)	-	-	905	56	6.2		
	B	144	1	0.7	144	18	12.5	(144)	-	-	144	4	2.8		
	C	679	1	0.1	679	526	77.5	(679)	-	-	679	31	4.6		
	D	980	3	0.3	980	538	54.9	(980)	-	-	980	41	4.2		
	E	960	5	0.5	960	264	27.5	(960)	-	-	960	0	0		
	計	3,668	28	0.8	3,668	1,702	46.4	(3,668)	-	-	3,668	132	3.6		
湖 沼	AA (芦ノ湖)	48	0	0	(48)	-	-	48	38	79.2	48	21	43.8		
	A (丹沢湖)	48	0	0	(48)	-	-	48	7	14.6	48	6	1.2.5		
	河川A (相模湖)	60	2	3.3	60	11	18.3	(60)	-	-	60	5	8.3		
	河川A (津久井湖)	48	12	25.0	48	13	27.1	(48)	-	-	48	2	4.2		
	計	204	14	6.9	108 (96)	24	22.2	96 (108)	45	46.9	204	34	16.7		
海 域	A (相模湾)	240	3	1.3	-	-	-	240	16	6.7	-	-	-		
	A (東京湾)	48	0	0	-	-	-	48	17	35.4	-	-	-		
	B (東京湾)	120	2	1.7	-	-	-	120	42	35.0	-	-	-		
	C (東京湾)	108	2	1.9	-	-	-	108	1	0.9	-	-	-		
	小計 (東京湾)	276	4	1.4	-	-	-	276	60	21.7	-	-	-		
	計	516	7	1.4	-	-	-	516	76	14.7	-	-	-		
合 計		4,388	49	1.1	3,776 (3,872)	1,726	45.7	612 (4,388)	121	19.8	3,872	166	4.3		

注 1. n : 調査検体数 m : 環境基準値を超えた検体数  $\frac{m}{n} \times 100$  : 環境基準値不適合率(%)  
 2. ( )内の数字は、環境基準は定められていないが測定した検体数を示す。ただし、合計欄の( )内の数字は、環境基準が定められている検体を含む総計である。

溶存酸素量 (D O)			大腸菌群数			n-ヘキサン抽出物質(油分等)			全窒素 (T-N)	全磷 (T-P)	合計		
n	m	$\frac{m}{n} \times 100$	n	m	$\frac{m}{n} \times 100$	n	m	$\frac{m}{n} \times 100$	n	n	n	m	$\frac{m}{n} \times 100$
905	170	18.8	797	697	87.5	(80)	-	-	(476)	(476)	4,417 (6,354)	1,297	294
144	0	0	72	63	87.5	(12)	-	-	(72)	(72)	648 (948)	86	13.3
679	179	264	(180)	-	-	(36)	-	-	(276)	(276)	2,716 (4,168)	737	27.1
980	48	4.9	(212)	-	-	(69)	-	-	(457)	(457)	3,920 (6,095)	630	16.1
960	111	116	(204)	-	-	(68)	-	-	(444)	(444)	3,840 (5,960)	380	9.9
3,668	508	13.8	869 (596)	760	87.5	(265)	-	-	(1,725)	(1,725)	15,541 (23,520)	3130	20.1
48	22	45.8	48	19	39.6	(48)	-	-	(48)	(48)	240 (432)	100	41.7
48	14	29.2	48	0	0	(48)	-	-	(48)	(48)	240 (432)	27	11.3
60	12	20.0	60	41	68.3	(60)	-	-	(60)	(60)	300 (540)	71	23.7
48	9	18.8	48	15	31.3	(48)	-	-	(48)	(48)	240 (432)	51	21.3
204	57	27.9	204	75	36.8	(204)	-	-	(204)	(204)	1,020 (1,836)	249	24.4
240	126	52.5	240	18	7.5	240	0	0	(240)	(240)	1,200 (1,680)	163	13.6
48	16	33.3	48	0	0	48	0	0	(48)	(48)	240 (336)	33	13.8
120	0	0	(120)	-	-	120	0	0	(120)	(120)	480 (840)	44	9.2
108	0	0	(108)	-	-	(108)	-	-	(108)	(108)	324 (756)	3	0.9
276	16	5.8	48 (228)	0	0	168 (108)	0	0	(276)	(276)	1,044 (1,932)	80	7.7
516	142	27.5	288 (228)	18	6.3	408 (108)	0	0	(516)	(516)	2,244 (3,612)	243	10.8
4,388	707	16.1	1,361 (2,185)	853	6.27	408 (985)	0	0	(2,445)	(2,445)	18,805 (28,968)	3,622	19.3

表-4 生活環境項目の環境基準値を超えた割合

水域	項目	年 度				
		58	59	60	61	62
河 川	水素イオン濃度 (pH)	3,656	3,642	3,628	3,679	3,668
	生物化学的酸素要求量 (BOD)	3,656	3,642	3,628	3,679	3,668
	浮遊物質量 (SS)	3,656	3,642	3,628	3,671	3,668
	溶存酸素量 (DO)	3,653	3,642	3,628	3,679	3,668
	大腸菌群数	876	862	866	876	869
相 模 湖	水素イオン濃度 (pH)	60	60	60	60	60
	生物化学的酸素要求量 (BOD)	60	60	60	60	60
	浮遊物質量 (SS)	60	60	60	60	60
	溶存酸素量 (DO)	60	60	60	60	60
	大腸菌群数	60	60	60	60	60
津久井湖	水素イオン濃度 (pH)	47	48	48	48	48
	生物化学的酸素要求量 (BOD)	47	48	48	48	48
	浮遊物質量 (SS)	47	48	48	48	48
	溶存酸素量 (DO)	47	48	48	48	48
	大腸菌群数	47	48	48	48	48
芦 ノ 湖	水素イオン濃度 (pH)	48	48	48	48	48
	化学的酸素要求量 (COD)	48	48	48	48	48
	浮遊物質量 (SS)	48	48	48	48	48
	溶存酸素量 (DO)	48	48	48	48	48
	大腸菌群数	48	48	48	48	48
丹 沢 湖	水素イオン濃度 (pH)	48	48	48	48	48
	化学的酸素要求量 (COD)	48	48	48	48	48
	浮遊物質量 (SS)	48	48	48	48	48
	溶存酸素量 (DO)	48	48	48	48	48
	大腸菌群数	48	48	48	48	48
東 京 湾	水素イオン濃度 (pH)	276	276	276	276	276
	化学的酸素要求量 (COD)	276	276	276	276	276
	溶存酸素量 (DO)	276	276	276	276	276
	大腸菌群数	48	48	48	48	48
	n - ヘキサン抽出物質	168	168	168	168	168
相 模 湾	水素イオン濃度 (pH)	240	240	240	240	240
	化学的酸素要求量 (COD)	240	240	240	240	240
	溶存酸素量 (DO)	240	240	240	240	240
	大腸菌群数	240	240	240	240	240
	n - ヘキサン抽出物質	240	240	240	240	240

注 n : 調査検体数 m : 環境基準値を超えた検体数

m / n × 100 : 環境基準値不適合率 (%)

m					m/n × 100				
58	59	60	61	62	58	59	60	61	62
20	47	44	57	28	0.5	1.3	1.2	1.5	0.8
1,637	1,842	1,510	1,571	1,702	44.8	50.6	41.6	42.7	46.4
143	72	144	135	132	3.9	2.0	4.0	3.7	3.2
341	545	425	384	508	9.3	15.0	11.7	10.4	13.8
741	739	742	769	760	84.6	85.7	85.7	87.8	87.5
2	4	8	0	2	3.3	6.7	13.3	0	3.3
7	14	15	1	11	11.7	23.3	25.0	1.7	18.3
4	4	4	9	5	6.7	6.7	6.7	15.0	8.3
2	8	4	2	12	3.3	13.3	6.7	3.3	20.0
46	37	30	36	41	76.7	61.7	50.0	60.0	68.3
10	3	2	9	12	21.3	6.3	4.2	18.8	25.0
15	12	7	10	13	31.9	25.0	14.6	20.8	27.1
2	1	0	3	2	4.3	2.1	0	6.3	4.2
1	9	6	1	9	2.1	18.8	12.5	2.1	18.8
14	8	8	17	15	29.8	16.7	16.7	35.4	3.1.3
3	0	0	1	0	6.3	0	0	2.1	0
40	46	42	48	38	83.3	95.8	87.5	100	79.2
29	21	21	14	21	60.4	43.8	43.8	29.2	43.8
17	14	17	22	22	35.4	29.2	35.4	45.8	45.8
15	13	30	21	19	31.3	27.1	62.5	43.8	39.6
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1	4	1	6	7	2.1	8.3	2.1	12.5	14.6
15	0	11	7	6	31.3	0	22.9	14.6	12.5
3	13	13	14	14	6.3	27.1	27.1	29.2	29.2
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15	17	29	5	4	5.4	6.2	10.5	1.8	14
56	76	77	62	60	20.3	27.5	27.9	22.5	21.7
27	25	28	24	16	9.8	9.1	10.1	8.7	5.8
1	0	3	3	0	2.1	0	6.3	6.3	0
1	2	3	0	0	0.6	1.2	1.8	0	0
28	11	17	3	3	11.7	4.6	7.1	1.3	1.3
19	29	30	21	16	7.9	12.1	12.5	8.8	6.7
132	83	92	99	126	55.0	34.6	38.3	41.3	52.5
30	36	21	24	18	12.5	15.0	8.8	10.0	7.5
2	0	0	0	0	0.8	0	0	0	0

表-5 健康項目の環境基準値を超えた割合

水域	項目	年 度				
		58	59	60	61	n
河川	カドミウム	1,807	1,670	1,669	1,683	1,685
	シアソン	1,807	1,670	1,669	1,683	1,685
	有機燐	76	75	76	76	76
	鉛	1,807	1,670	1,669	1,683	1,685
	クロム(6価)	1,807	1,670	1,669	1,683	1,685
	ヒ素	1,807	1,670	1,669	1,683	1,685
	総水銀	1,847	1,710	1,709	1,723	1,725
	アルキル水銀	62	61	62	62	62
	P C B	76	75	76	76	76
	計	11,096	10,271	10,268	10,352	10,364
(芦相ノ模湖湖..丹沢久湖井湖)	カドミウム	33	34	34	34	34
	シアソン	33	34	34	34	34
	有機燐	33	34	34	34	34
	鉛	33	34	34	34	34
	クロム(6価)	33	34	34	34	34
	ヒ素	33	34	34	34	34
	総水銀	203	204	204	204	204
	アルキル水銀	33	34	34	34	34
	P C B	33	34	34	34	34
	計	467	476	476	476	476
(東京相模湾)	カドミウム	516	516	516	516	516
	シアソン	516	516	516	516	516
	有機燐	86	86	86	86	86
	鉛	516	516	516	516	516
	クロム(6価)	516	516	516	516	516
	ヒ素	516	516	516	516	516
	総水銀	516	516	516	516	516
	アルキル水銀	86	86	86	86	86
	P C B	86	86	86	86	86
	計	3,354	3,354	3,354	3,354	3,354

注 1. n : 調査検体数 m : 環境基準値を超えた検体数  $m/n \times 100$  : 環境基準値不適合率(%)  
 2. 総水銀欄の( )内の数字は、 $0.0005mg/\ell$ を超えた検体数を示す。

m					m/n × 100				
58	59	60	61	62	58	59	60	61	62
0	1	1	0	0	0	0.1	0.1	0	0
2	1	0	0	0	0.1	0.1	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	(1)	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	2	1	0	(1)	0.1 以下	0.1 以下	0.1 以下	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	(1)	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	(1)	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

表-6 特殊項目の判定値を超えた割合

水域	項目	年 度				
		58	59	60	61	62
河川	フェノール	908	881	883	892	890
	銅	908	881	883	892	890
	亜鉛	908	881	883	892	890
	溶解性鉄	908	881	883	892	890
	溶解性マンガン	908	881	883	892	890
	総クロム	75	76	76	76	76
	フッ素	908	881	883	892	890
	ニッケル	458	456	457	462	464
	計	5,981	5,818	5,831	5,890	5,880
(芦相ノ模湖・津久井湖)	フェノール	33	34	34	34	34
	銅	33	34	34	34	34
	亜鉛	33	34	34	34	34
	溶解性鉄	33	34	34	34	34
	溶解性マンガン	33	34	34	34	34
	総クロム	33	34	34	34	34
	フッ素	33	34	34	34	34
	ニッケル	33	34	34	34	34
	計	264	272	272	272	272
(東相模湾)	フェノール	86	86	86	86	86
	銅	86	86	86	86	86
	亜鉛	86	86	86	86	86
	溶解性鉄	86	86	86	86	86
	溶解性マンガン	86	86	86	86	86
	フッ素	86	86	86	86	86
	ニッケル	86	86	86	86	86
	計	602	602	602	602	602

注1. n : 調査検体数 m : 判定値を超えた検体数  $m/n \times 100$  : 判定値を超えた割合(%)

m					m/n × 100					
58	59	60	61	62	58	59	60	61	62	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
0	1	0	0	0	0	0.1	0	0	0	
0	0	0	1	0	0	0	0	0.1	0	
3	1	0	5	1	0.3	0.1	0	0.6	0.1	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
0	0	0	1	4	0	0	0	0.1	4.5	
)	1	0	0	1	0	0.2	0	0.2	0	
)	4	2	0	8	5	0.1	0.1 以下	0	0.1	0.1
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

表-7 BOD(COD)の環境基準達成状況の推移

## (1) 河 川

番号	環境基準類型 あてはめ 水 域 名	類型	達成 期間	指定 年度	環 境 基 準 地 点 数	達 成 状 況					
						57年度	58年度	59年度	60年度	61年度	62年度
1	※多摩川下流	D	ハ	45	1	○	○	○	○	○	○
2	※〃中流	C	ハ	45	2	× <sub>2</sub>					
3	鶴見川下流	E	ハ	45	2	× <sub>1</sub>	× <sub>1</sub>	○	× <sub>1</sub>	○	× <sub>1</sub>
4	※〃上流	D	ハ	45	1	× <sub>1</sub>					
5	相模川中流	A	口	45	1	× <sub>1</sub>	○	○	○	○	○
6	下山川	E	口	46	1	○	○	× <sub>1</sub>	○	○	○
7	田越川	E	ハ	46	1	○	○	○	○	○	○
8	滑川	E	ハ	46	1	○	○	○	○	○	○
9	神戸川	E	ハ	46	1	× <sub>1</sub>					
10	※境川	D	ハ	46	1	× <sub>1</sub>					
11	引地川	D	ハ	46	1	× <sub>1</sub>	× <sub>1</sub>	○	○	× <sub>1</sub>	× <sub>1</sub>
12	金目川下流	C	ハ	46	1	× <sub>1</sub>					
13	〃上流	A	ハ	46	1	× <sub>1</sub>					
14	葛川	C	ハ	46	1	× <sub>1</sub>					
15	中村川	C	ハ	46	1	○	○	○	×	○	○
16	森戸川 (小田原市)	D	ハ	46	1	× <sub>1</sub>	○				
17	酒匂川上流	A	口	46	1	○	× <sub>1</sub>				
18	山王川	E	ハ	46	1	○	○	○	○	○	○
19	早川	A	ハ	46	1	○	○	×	○	○	×
20	新崎川	B	ハ	46	1	○	○	○	○	○	○
21	千歳川	B	ハ	46	1	○	○	○	○	○	○

番号	環境基準類型 あてはめ 水 域 名	類型	達成 期間	指定 年度	環 境 基 準 地 点 数	達 成 状 況					
						57年度	58年度	59年度	60年度	61年度	62年度
22	入江川	E	ハ	46	1	×	×	×	×	×	×
23	帷子川	E	ハ	46	1	×	×	×	×	×	×
24	大岡川	E	ハ	46	1	○	×	×	○	○	○
25	宮川	E	ハ	46	1	×	×	×	×	○	○
26	侍従川	E	ハ	46	1	○	○	○	○	○	○
27	鷹取川	E	ハ	46	1	×	×	×	×	×	×
28	平作川	E	ハ	46	1	○	○	○	○	○	○
29	森戸川 (葉山町)	E	ハ	46	1	×	×	×	○	×	×
30	相模川下流	C	イ	47	1	○	○	○	○	○	○
31	※相模川上流(2) (相模湖)	A	ハ	47	1	○	○	×	○	○	○
32	"(3) (津久井湖)	A	イ	47	1	○	○	○	○	○	○
33	松越川	E	ハ	55	1	×	×	×	×	×	×
34	酒匂川下流	B	イ	55	1	○	○	○	○	○	○

## (2) 湖 沼

番号	環境基準類型 あてはめ 水 域 名	類型	達成 期間	指定 年度	環 境 基 準 地 点 数	達 成 状 況					
						57年度	58年度	59年度	60年度	61年度	62年度
1	芦ノ湖	AA	ハ	47	4	×	×	×	×	×	×
2	丹沢湖	A	イ	54	1	○	○	○	○	○	○

(3) 海域

番号	環境基準類型 あてはめ 水 域 名	類型	達成期間	指定年度	環 境 基 準 地 点 数	達 成 状 況					
						57年度	58年度	59年度	60年度	61年度	62年度
1	東京湾(6)	C	イ	46	5	○	○	○	○	○	○
2	" (7)	C	イ	46	1	○	○	○	○	○	○
3	" (8)	C	イ	46	1	○	○	○	○	○	○
4	* " (9)	B	ハ	46	1	× <sub>1</sub>					
5	" (10)	B	ロ	46	1	× <sub>1</sub>					
6	* " (12)	B	イ	46	4	× <sub>1</sub>	× <sub>2</sub>	× <sub>3</sub>	× <sub>3</sub>	× <sub>3</sub>	× <sub>2</sub>
7	" (13)	B	ロ	46	1	○	○	○	○	○	○
8	" (14)	B	ロ	46	1	○	○	○	○	○	○
9	" (15)	B	ロ	46	1	○	○	○	○	○	○
10	* " (16)	A	ロ	46	2	× <sub>2</sub>					
11	* " (17)	A	イ	46	2	× <sub>1</sub>	○	○	× <sub>1</sub>	○	○
12	相模湾(1)	A	ハ	54	1	○	○	○	× <sub>1</sub>	○	○
13	" (2)	A	イ	54	7	○	○	○	○	○	○

注 1. 環境基準の達成水域の判定について

(1) 環境基準が達成されているか否かの判定は、環境基準点における75%値が基準値以下であるものを達成地点とした。

(2) 1水域において複数の環境基準点を有する場合は、全ての環境基準点において基準が達成されている場合のみ達成水域とした。

2. \* : 県際水域

3. 達成状況の記述方法について

○ : 環境基準達成

× : 環境基準未達成

数字 : 基準を満足しない地点数

4. 県際水域についての環境基準達成状況は、本県の環境基準点のみで判定した。

表-8 BOD(COD)の環境基準達成率

## 1 河 川

類型	あてはめ水域数	環境基準達成水域数					
		57年度	58年度	59年度	60年度	61年度	62年度
A	4	(75) <sup>3</sup>	(50) <sup>2</sup>	(25) <sup>1</sup>	(50) <sup>2</sup>	(50) <sup>2</sup>	(25) <sup>1</sup>
B	3	(100) <sup>3</sup>					
C	5	(40) <sup>2</sup>	(40) <sup>2</sup>	(40) <sup>2</sup>	(20) <sup>1</sup>	(20) <sup>1</sup>	(20) <sup>1</sup>
D	5	(20) <sup>1</sup>	(20) <sup>1</sup>	(40) <sup>2</sup>	(40) <sup>2</sup>	(20) <sup>1</sup>	(40) <sup>2</sup>
E	15	(47) <sup>7</sup>	(40) <sup>6</sup>	(40) <sup>6</sup>	(53) <sup>8</sup>	(60) <sup>9</sup>	(53) <sup>8</sup>
計	32	(50) <sup>16</sup>	(44) <sup>14</sup>	(44) <sup>14</sup>	(50) <sup>16</sup>	(50) <sup>16</sup>	(47) <sup>15</sup>

## 2 湖 沼

あてはめ 水域名	類型	あてはめ 水域数	環境基準達成水域数					
			57年度	58年度	59年度	60年度	61年度	62年度
相模湖	河川 A	1	1	1	0	1	1	1
津久井湖	〃 A	1	1	1	1	1	1	1
芦ノ湖	湖沼 AA	1	0	0	0	0	0	0
丹沢湖	〃 A	1	1	1	1	1	1	1
計		4	(75) <sup>3</sup>	(75) <sup>3</sup>	(50) <sup>2</sup>	(75) <sup>3</sup>	(75) <sup>3</sup>	(75) <sup>3</sup>

## 3 海 域

あてはめ 水域名	類型	あてはめ 水域数	環境基準達成水域数					
			57年度	58年度	59年度	60年度	61年度	62年度
東京湾	A	2	0(0)	(50) <sup>1</sup>	(50) <sup>1</sup>	(0) <sup>0</sup>	(50) <sup>1</sup>	(50) <sup>1</sup>
	B	6	(50) <sup>3</sup>					
	C	3	(100) <sup>3</sup>					
小計		11	(55) <sup>6</sup>	(64) <sup>7</sup>	(64) <sup>7</sup>	(55) <sup>6</sup>	(64) <sup>7</sup>	(64) <sup>7</sup>
相模湾	A	2	(100) <sup>2</sup>	(100) <sup>2</sup>	(100) <sup>2</sup>	(50) <sup>1</sup>	(100) <sup>2</sup>	(100) <sup>2</sup>
計		13	(62) <sup>8</sup>	(69) <sup>9</sup>	(69) <sup>9</sup>	(54) <sup>7</sup>	(69) <sup>9</sup>	(69) <sup>9</sup>

注 ( )は環境基準達成率%

